

業 務 年 報

Report of Iwate Industrial Research Institute

平成16年度 (2004)

岩手県工業技術センター

目 次

I. 工業技術編

1 総括

1-1 沿革	5
1-2 規模	7
1-3 組織及び業務	8
1-4 職員	
(1) 職員現員数	9
(2) 職員一覧表	10
(3) 職員の異動	11
1-5 業務実績総括表	12
1-6 歳入歳出決算	13
1-7 表彰	16
1-8 学位取得	18
1-9 職員の研修派遣	19

2 研究業務

2-1 試験研究テーマ一覧	20
2-2 成果の公表	
(1) 口頭発表	22
(2) 誌上発表	24
(3) 知的財産権	25

3 支援業務

3-1 企業訪問	26
3-2 講習会	
(1) 国庫補助事業	27
(2) 県単独事業	28
3-3 派遣	
(1) 講師	30
(2) 委員	33
(3) 審査員	37
(4) その他	40

4 試験・設備利用業務

4-1 依頼試験	43
4-2 設備利用	
(1) 施設使用	44
(2) 機械器具貸付	44

5 人材養成業務

5-1 中小企業開発能力強化推進事業	
(1) 長期共同研究	46
(2) 短期共同研究	48
5-2 アドバンストORT事業	50
5-3 研修生受入	51
5-4 工業技術センター発ベンチャーの支援	52

6 情報提供業務		
6-1 定期刊行物の発行	53
6-2 技術情報のオンライン検索	53
6-3 特許情報等の提供	53
6-4 知的所有権センター	54
6-5 広報活動		
(1) 研究成果発表会	56
(2) 一般公開	57
(3) 外部展示会等での成果発表	59
(4) 成果の新聞等への掲載	60
(5) 所内見学者	63
(6) 来所者	64
7 その他の業務		
7-1 産業技術連携推進会議	65
7-2 試験研究機関関連会議	67
7-3 北東北公設試技術連携推進会議	68
8 他団体支援業務		
8-1 他団体行事への出席等	69
8-2 技能検定	71
8-3 研究会等	72
9 運營業務		
9-1 工業技術研究推進会議		
(1) 工業技術研究推進会議部会	75
(2) 工業技術研究推進会議全体会議	75
(3) 評価結果一覧表	76
(4) 評価結果への所内対応	78
(5) 委員名簿	80
[参考資料]		
1 主要設備機器		
(1) 日本自転車振興会補助事業	81
(2) 国庫補助事業	83
(3) 県単独事業	88
2 知的財産権の取得・出願状況	89

Ⅱ. 計量検定業務編

1 計量検定部の概況

1-1 沿革	93
1-2 施設	93
1-3 主要な設備	94
1-4 資料展示室	96
1-5 所掌業務	97
1-6 組織と事務分掌	97

2 業務実績

2-1 決算額	98
2-2 特定計量器の検定・装置検査	99
2-3 基準器の検査	102
2-4 はかりの定期検査・代検査	102
2-5 立入検査	108
2-6 計量モニター事業の実施	110
2-7 計量指導・普及・啓発	112

3 計量関係事業者等

3-1 製造事業者	114
3-2 修理事業者	115
3-3 販売事業者	117
3-4 計量証明事業者	118
3-5 軽量士	120
3-6 適正計量管理事務所	120
3-7 計量関係事業の登録及び届出等	122

I 工業技術編

1 総括

1-1 沿革

明治 6年	岩手県勸業試験所(その組織は農工両試験場を兼ねた)として創立。
明治 9年	機業場を設置。(伝習生を採用し、各種織物の指導並びに製作業務)
明治 24年	物産陳列所創立。(商品の改良並びに販路拡張等営業者の指導業務)
明治 34年	機業場を染織講習所と改め、試験研究を従とし、生徒の養成を主とする。
大正 4年	染織試験場と改めて、生徒養成の目的を変更し、これを従とし、研究指導本位に復す。
大正 10年	染織試験場を「岩手県工業試験場」と改称し、染織／金工／木工／図案／応用化学の5部制の総合試験場として発足。また、物産陳列所を商品陳列所と改称。(農商務省令商品陳列所規則改正による)
大正 12年	盛岡市内丸に庁舎新築。(本県のコンクリート近代建築第1号の本館と工場2棟)
大正 14年	岩手県工業試験場と岩手県商品陳列所が統合し、岩手県商工館と改称するとともに、図案部及び応用化学部廃止。
昭和 8年	商品陳列所と分離、再び岩手県試験場と称し、図案部を復活。
昭和 10年	応用化学部を復活。
昭和 12年	分場として花巻窯業試験所を設置。
昭和 18年	岩手県工業指導所と改称し、指導部／研究部の2部制とし、研究部に金工科／木工科／資源科を設置。花巻窯業試験所は廃止。
昭和 21年	図案部を復活、庶務／金工／木工／図案／応用化学／工業相談の6部制。
昭和 23年	繊維工業部(旧染織部)を復活。また、図案部を企劃部にする。農村工業部を新設。
昭和 25年	応用化学部を資源部に、企劃部を経営研究部に改称。工業意匠部を新設。(経営研究部の図案部門を分離)農村工業部廃止。(農村工業指導所新設)
昭和 27年	醸造部を新設し8部制となる。
昭和 36年	金工／木工／資源／工業意匠の各部を、それぞれ機械金属／木材工芸／応用化学／産業意匠の各部に改称。
昭和 41年	醸造部が分離独立し、紫波郡都南村(現盛岡市)津志田の新庁舎に移転し「岩手県醸造試験場」として発足する。
昭和 43年	紫波郡都南村(現盛岡市)津志田の新庁舎に移転し、岩手県工業試験場と改称。また、木材工芸部を木材工業部に、応用化学部を分析化学部にそれぞれ改称し、庶務／機械金属／木材工業／分析化学／繊維工業／産業意匠の6部制となる。
昭和 47年	水沢分室を水沢市羽田町字並柳に新築移転。
昭和 48年	岩手県醸造試験場を「岩手県醸造食品試験場」と改称。庶務部、醸造部、醗酵食品部の3部制となる。

岩手県工業技術センター業務年報(H16)

昭和 49年	醸造食品試験場に保存食品部を新設し、4部制となる。隣接地に新館完成、岩手県工業試験場の特許相談係を廃止し、庶務係と改称。また企画情報係を新設。
昭和 50年	岩手県醸造食品試験場に、流通技術部を新設し、5部制となる。
昭和 51年	岩手県工業試験場の庶務部を管理部に、分析化学部を建築材料部と改称。また、繊維工業部と産業意匠部を統合し、特産工業部を新設、5部制となる。
昭和 54年	岩手県工業試験場の建築材料部を化学部と改称。
昭和 59年	岩手県醸造食品試験場の、保存食品部と流通技術部を統合し、保存流通部を新設し、4部制となる。
昭和 63年	岩手県工業技術センター基本計画策定。
平成 5年	岩手県工業試験場、岩手県醸造食品試験場が、盛岡市飯岡新田の新庁舎(現 岩手県工業技術センター)に移転する。
平成 6年	岩手県工業試験場、岩手県醸造食品試験場の両試験場が統合し、「岩手県工業技術センター」として発足する。総務／企画情報／電子機械／木工特産／金属材料／化学／応用生物／醸造技術／食品開発の9部制となる。岩手県立産業デザインセンターが併設され、総務部及び木工特産部の全職員が兼務発令される。
平成 8年	知的所有権センター設置。
平成 13年	岩手県立産業デザインセンターの運営を岩手県工業技術センターで行うこととし、職員の兼務発令を解く。木工特産部を特産開発デザイン部と改称。
平成 14年	岩手県工業技術センター水沢分室廃止。(3月31日)
平成 15年	金属材料部と化学部を統合し材料技術部に、応用生物部と食品開発部を統合し食品技術部に改組。電子機械部を電子機械技術部、工業材料実験棟を材料実験棟と改称。新たにプロジェクト研究推進監、連携研究主幹を設置。技術相談ホットライン(TEL 019-635-1119)を開設。岩手県立産業デザインセンター廃止。(3月31日)
平成16年	組織改編に伴い、計量検定所を廃止し、計量検定部を新設し、8部制となる。

以上

1-2 規 模

岩手県工業技術センター

(盛岡市飯岡新田3-35-2 〒020-0852 TEL 019-635-1115、FAX 019-635-0311)

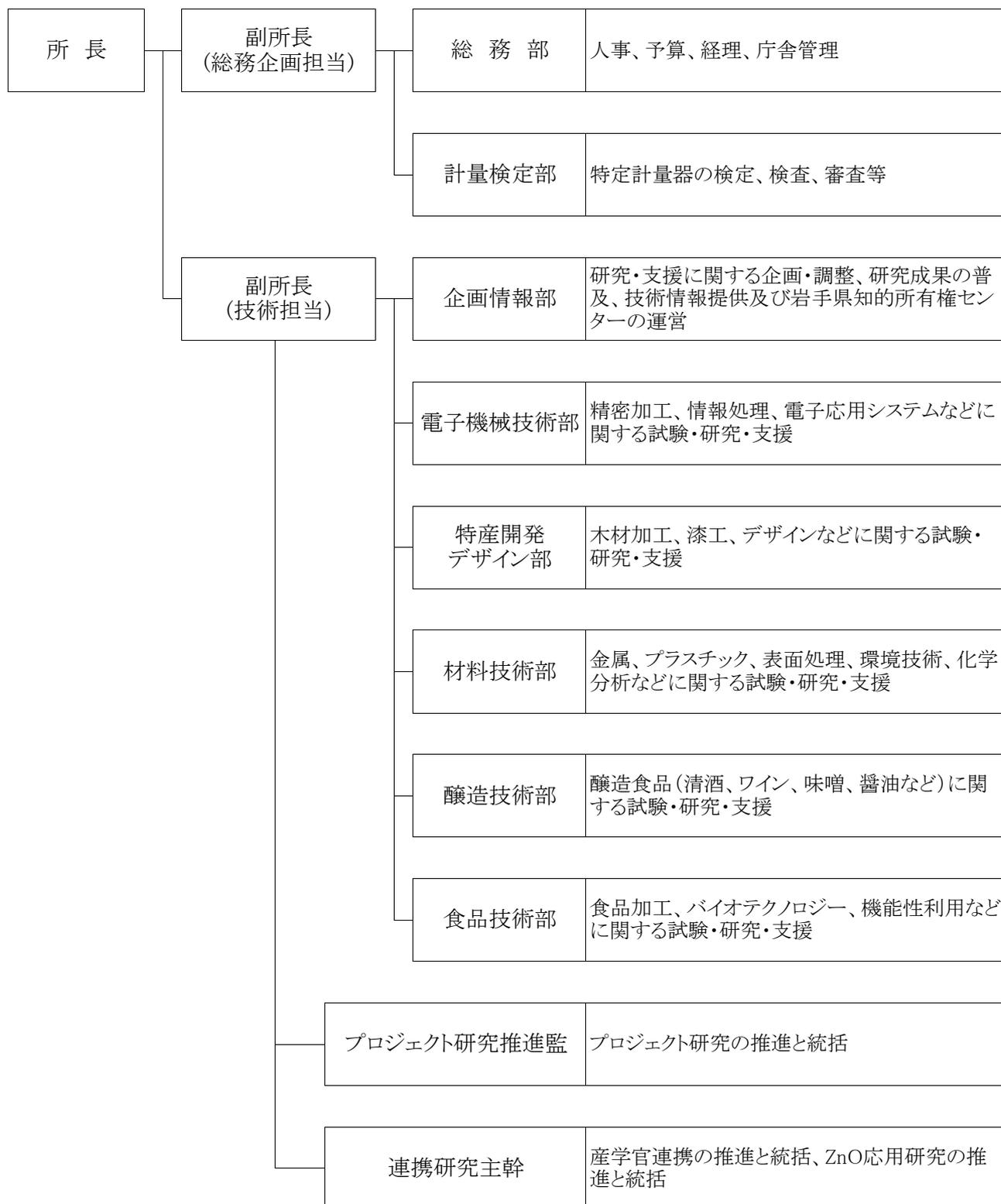
敷地面積 81,736m²

延床面積 15,866m²

(単位：m²)

建 物 名	建築 面積	床 面 積						備考
		地下1階	1階	2階	3階	塔屋	計	
本 館 棟	4,537	524	3,824	2,994	2,629	64	10,036	鉄筋 コンクリート造
接続廊下 A		—	143	—	—	—	143	〃
接続廊下 B		—	146	—	—	—	146	〃
醸造・食品加工 実 験 棟	1,560	40	1,430	94	—	—	1,564	〃
特産工業実験棟	1,590	—	1,464	68	—	—	1,532	〃
工業材料実験棟	1,410	—	1,291	53	—	—	1,344	〃
電子機械実験棟	967	—	886	103	—	—	989	〃
車 庫 棟	81	—	81	—	—	—	81	鉄骨造
P C B 保 管 庫	4	—	4	—	—	—	4	〃
ガ ス ボ ン ベ 庫	6	—	6	—	—	—	6	鉄筋 コンクリート造
P H 処 置 槽	21	—	21	—	—	—	21	〃
計	10,177	565	9,296	3,312	2,629	64	15,866	

1-3 組織及び業務



1-4 職員

(1) 職員現員数

区分	行政職								研究職								技能職	計	
	副 所 長	連 携 研 究 主 幹	部 長	副 主 幹 兼 主 査	主 査	主 任	主 事	所 付	所 長	副 所 長	プ ロ ジ エ ク ト 研 究 推 進 監	首 席 専 門 研 究 員 兼 部 長	部 長	上 席 専 門 研 究 員	主 任 専 門 研 究 員	専 門 研 究 員	技 師		主 任 技 能 員
所 長								1											1
副 所 長	1								1										2
プロジェクト研究推進監										1									1
連携研究主幹		1																	1
総 務 部			1		1	4	1											1	8
計 量 検 定 部				1	1	2													4
企 画 情 報 部						1							1	4	2				8
電子機械技術部													1		8	1			10
特産開発デザイン部													1	2	1	2	1		7
材 料 技 術 部													1	4	3	5			13
醸 造 技 術 部												1		1	3				5
食 品 技 術 部												1		2	4	1	1		9
計	1	1	1	1	1	1	7	1	1	1	1	2	4	13	21	9	2	1	69

(2) 職員一覽表

(H17/3/31)

内部組織	職名	氏名
	所長	齋藤 紘一
	副所長(総務)	村木 治彦
	〃 (技術)	南幅 留男
	プロジェクト研究推進監	齊藤 博之
	連携研究主幹	小山 康文
総務部	部長	久保 善嗣
	主任	高館 三四子
	主事	山崎 達也
	〃	平野 真由美
	〃	梅澤 貴次
	〃	佐藤 円香
計量検定部	副主幹兼計量主査	及川 知
	計量主査	高橋 浩幸
	主事	佐藤 慶至
	〃	高杉 大祐
	所付	古館 敏夫
企画情報部	部長	山本 忠
	上席専門研究員	高橋 幾久雄
	〃	藤澤 充
	〃	鎌田 公一
	〃	有賀 康弘
	主任専門研究員	笹島 正彦
	〃	茨島 明
	主事	賢木 祐
電子機械技術部	部長	米倉 勇雄
	主任専門研究員	泉田 福典
	〃	長谷川 辰雄
	〃	堀田 昌宏
	〃	和合 健
	〃	飯村 崇
	〃	齋藤 裕之
	〃	遠藤 治之
	〃	大嶋 江利子
	専門研究員	園田 哲也

内部組織	職名	氏名
特産開発デザイン部	部長	町田 俊一
	上席専門研究員	浪崎 安治
	〃	穴沢 靖
	主任専門研究員	小林 正信
	専門研究員	東矢 恭明
	〃	長嶋 宏之
	技師	八重樫 貴宗
	主任技能員	久慈 省一郎
	部長	佐々木 英幸
	上席専門研究員	三浦 通利
材料技術部	〃	瀬川 晃児
	主任専門研究員	佐々木 秀幸
	〃	鈴木 一孝
	〃	桑嶋 孝幸
	〃	池 浩之
	〃	齋藤 貴
	専門研究員	高川 貫仁
	〃	小野 元
	〃	佐藤 唯史
	〃	平野 高広
醸造技術部	〃	藤原 智徳
	首席専門研究員兼部長	櫻井 廣
	上席専門研究員	中山 繁喜
	主任専門研究員	畑山 誠
	〃	米倉 裕一
食品技術部	〃	高橋 亨
	首席専門研究員兼部長	遠山 良
	上席専門研究員	島津 裕子
	〃	小浜 恵子
	主任専門研究員	武山 進一
	〃	伊藤 良仁
	〃	岸 敦
	〃	菊地 淑子
	専門研究員	及川 和志
	技師	山口 佑子

(3) 職員の異動

区分	内部組織	職名	氏名	発令年月日	旧所属・異動先等
退職		副 所 長	村木治彦	平成17年3月31日	
	総 務 部	主 任	高館三四子	〃	
	企 画 情 報 部	上 席 専 門 研 究 員	高橋幾久雄	〃	
転出	総 務 部	主 任	佐々木博昭	平成16年4月1日	人事課
	〃	主 事	照井康子	〃	盛岡地方振興局土木部
	電子機械技術部	部 長	田中慎造	〃	産業技術短大水沢校
	〃	主任 専 門 研 究 員	菊地利雄	〃	科学技術課
	材料技術部	上 席 専 門 研 究 員	勝負澤善行	〃	(財)いわて産業振興センター
	食品技術部	〃	関村照吉	〃	農業研究センター
転入	総 務 部	部 長	久保善嗣	平成16年4月1日	久慈地方振興局企画総務部
	〃	主 事	山崎達也	〃	県土整備企画室
	〃	〃	佐藤円香	〃	大船渡地方振興局土木部
	〃	所 付	古館敏夫	〃	計量検定所
	計 量 検 定 部	副主幹兼計量主査	及川 知	〃	〃
	〃	計 量 主 査	高橋浩幸	〃	〃
	〃	主 事	佐藤慶至	〃	〃
	〃	〃	高杉大祐	〃	新採用
	電子機械技術部	主任 専 門 研 究 員	大嶋江利子	〃	〃
	特産開発デザイン部	技 師	八重樫貴宗	〃	〃
	材料技術部	専 門 研 究 員	佐藤唯史	〃	産業技術短期大学校
	食品技術部	主任 専 門 研 究 員	菊地淑子	〃	農業研究センター
	〃	専 門 研 究 員	及川和志	〃	新採用

1-5 業務実績総括表

業務 担当部	試験研究業務		支援業務				
	主要研究 (テーマ)	基盤先導研究 (テーマ)	個別支援		集団支援		
			技術相談 (件)	企業訪問 (件)	講習会(回)		研究会 (回)
国庫	県単						
総務部 企画情報部	—	—	233	8	—	—	—
電子機械 技術部	3	1	365	74	2	2	—
特産開発 デザイン部	—	4	568	53	—	3	—
材料技術部	2	1	531	110	3	5	17
醸造技術部	1	4	288	92	—	3	4
食品技術部	6	1	321	56	1	3	2
プロジェクト	10	—	—	—	—	—	2
計 ():前年度実績	22 (18)	11 (11)	2,306 (3,064)	393 (678)	6	16	25 (30)
					22 (41)		

業務 担当部	支援業務				情報提供業務		依頼業務		資質向上
	技術者育成(人)				技術情報誌の発行 (部)	技術情報 オンライン 検索 (件)	依頼 試験 (件)	設備 利用 ^{※1} (件)	職員 研修 (人)
	テクノブリッジ 推進事業		アドバ ンスORT 事業	研修生 の受入					
長期	短期								
総務部 企画情報部	—	—	—	1	3,500 ×1回	JOIS 10	5	—	—
電子機械 技術部	6	4	2	4			90	266	2
特産開発 デザイン部	9	8	—	—			339	291	1
材料技術部	12	4	2	13			2,428	186	4
醸造技術部	3	5	—	—			16	25	—
食品技術部	4	9	—	1			33	42	1
プロジェクト	—	—	—	—			—	—	—
計 ():前年度実績	34 (43)	30 (29)	4 (7)	19 (31)	3,500 (3,500)	10 (17)	2,911 (3,807)	810 (883)	8 (15)

※1 施設利用(電波暗室), 機械器具貸付の合計。

1-6 歳入歳出決算

(歳入)

(単位:千円)

科 目	決 算 額			16 年 度 内 容
	16年度 A	15年度 B	増減 A-B	
8款 使用料及び手数料	26,243	19,108	7,135	電波暗室・行政財産使用料・依頼試験手数料・計量器検定手数料
9款 国庫支出金	46,585	58,881	△ 12,296	国庫補助金・国庫委託金
10款 財産収入	9,369	8,695	674	機械器具貸付収入・生産物売払収入※
14款 諸収入	26,983	27,630	△ 647	自転車振興会補助金・受託事業収入・テクノブリッジ推進事業参加料・計量器所在場所検定ほか
計	109,180	114,314	△ 5,134	

(注)16年度から計量検定所が統合になったことから、手数料(計量器検定)及び諸収入(計量器所在場所検定)が追加。

※ 内訳:清酒1,795ℓ、清酒酵母2,937本/100ml、清酒粕96kg(普通酒)、192kg(吟醸酒)、味噌1,480kg、ビール用酵母46ℓ、雑穀等焼酎103ℓ、ワイン282本/720ml

(歳出)

7款1項6目(工業技術センター費)

(単位:千円)

科 目 (節)	一 般 行 政 経 費 A					主要経費 B	決 算 額		
	管理運営費	試験研究費	指導事務費	計量検定費	(小計)		16年度 (A+B) C	15年度 D	増減 C-D
02 給与	296,519	0	0	0	296,519	0	296,519	299,602	△ 3,083
03 職員手当	173,926	0	0	0	173,926	0	173,926	169,319	4,607
04 共済費	88,217	137	66	208	88,628	507	89,135	90,274	△ 1,139
07 賃金	1,800	1,575	1,639	1,829	6,843	4,053	10,896	11,741	△ 845
08 報償費		179	227	275	681	632	1,313	1,329	△ 16
09 旅費	555	2,890	3,394	1,920	8,759	5,764	14,523	13,985	538
11 需用費	52,261	8,605	9,092	4,158	74,116	18,911	93,027	98,868	△ 5,841
12 役務費	1,989	400	1,723	592	4,704	400	5,104	4,383	721
13 委託料	47,036	18,238	206	10,527	76,007	17,841	93,848	87,881	5,967
14 使用料及び賃借料	16,109	0	400	442	16,951	0	16,951	15,969	982
15 工事請負費	0	0	0	0	0	38,131	38,131	0	38,131
16 原材料費	0	2,849	1,076	0	3,925	3,784	7,709	8,860	△ 1,151
18 備品購入費	170	1,976	0	1,333	3,479	126,195	129,674	140,719	△ 11,045
19 負担金、補助金及び交付金	0	816	142	50	1,008	0	1,008	676	332
27 公課費	80	0	0	66	146	8	154	29	125
計	678,662	37,665	17,965	21,400	755,692	216,226	971,918	943,635	28,283

(注)16年度から計量検定所が統合になったことから、一般行政経費に計量検定費が追加。

事業名		決算額			16年度事業内容
		16年度 A	15年度 B	増減 A-B	
一般行政経費	管理運営費	678,662	679,003	△ 341	職員人件費、光熱水費、庁舎管理業務委託料等
	試験研究費	37,665	37,190	475	基盤的先導的技術研究推進事業、試験機器保守点検料等
	指導事務費	17,965	11,312	6,653	県内中小企業との長期、短期の共同研究及び開放設備講習の実施、中小企業大学校研修等
	計量検定費	21,400	0	21,400	計量器検定
	(小計)	755,692	727,505	28,187	
主要経費	ものづくり基盤技術 ※ (旧 特定産業集積活性化関連支援強化事業)	80,295	93,061	△ 12,766	研究開発、人材育成、交流連携及び設備導入
	高品質鋳鉄製造技術開発 ※	2,250	4,443	△ 2,193	脱マンガン、脱クロム技術を検討し、高品質で安価な鋳鉄製造法の開発
	新ブランド食品創生	6,838	10,322	△ 3,484	県産素材を原料とし、バイオテクノロジーの手法を用いて、健康(機能性)に優れた食品や、地域色が強い特産品(地域ブランド)の開発
	新方式チップボイラー開発	7,176	9,940	△ 2,764	小型で、高含水率チップを完全燃焼できるチップボイラーの研究開発
	素材再利用による新材料製造技術開発事業 ※	10,300	19,994	△ 9,694	現状製品より3倍以上の耐久性が優れる材料の開発
	県産清酒品質向上研究推進事業 ☆	2,400	3,000	△ 600	県産オリジナル原料による吟醸酒の開発、商品化及び酒質の向上
	地域新生コンソーシアム研究開発事業 ☆	295	3,176	△ 2,881	超高精度金型加工技術の研究開発(金型の極細穴加工技術、超高精度金型測定技術)
	高品質パン類開発 ☆	3,000	2,781	219	国産パン用品種を用いた製パン技術の検討、新商品開発の提案等
	生分解プラスチック ☆	573	515	58	生分解性プラスチックの環境分解性に影響を及ぼす諸因子の研究
	設備整備費	32,991	39,690	△ 6,699	試験研究設備購入(自転車振興会補助)
	指導事務費(機器修繕)	2,950	9,003	△ 6,053	試験研究機器の修繕費
	管理運営費	39,849	0	39,849	化学分析室内改修工事及び構内電話設備修繕工事
	100円無酸素センサーチップ ☆	1,800	0	1,800	容器内が無酸素雰囲気か否かを高速、高感度、非破壊で容易に検知できる使い捨てセンサーチップの開発
未利用木材を活用した緑化用環境資材の開発	9,492	0	9,492	透水性コンクリートに対して、未利用木材を活用した従来にない保水機能を付加した製品の開発	
熔融スラグ骨材を利用したコンクリート等製品開発	6,068	0	6,068	熔融スラグをコンクリートやアスファルト合材、路盤材に利用するための最低条件や問題点の把握	

事業名		決算額			16年度事業内容
		16年度 A	15年度 B	増減 A-B	
主 要 経 費	ZnO単結晶基板の開発推進	9,949	0	9,949	ZnO単結晶を利用した応用製品の開発
	中小企業開発能力強化推進事業 (テクノブリッジ推進事業)	0	8,237	△ 8,237	県内中小企業との長期、短期の共同研究及び開放設備講習の実施 (H16から一般行政経費の指導事務費に統合)
	ソフトウェア保守管理	0	11,968	△ 11,968	試験機器ソフトウェアの保守管理 (H16から一般行政経費の試験研究費に統合)
	(小計)	216,226	216,130	96	
合計		971,918	943,635	28,283	

(注)1 ※は国庫補助事業

2 ☆は受託事業

1-7 表彰

表彰区分	職名	氏名	事績の概要	受賞日
岩手県職員表彰 (事績顕著者)	専門研究員	園田哲也	いわて型ペレットストーブを、民間企業と共同で開発し、地域にある自然エネルギーの複合的な利用の実現に貢献した。	平成16年10月20日
	主任専門研究員	堀田昌宏		
	専門研究員	東矢恭明		
	産業技術短大 水沢校教授	田中慎造		
岩手県部局長表彰	上席専門研究員	三浦通利	依頼試験・分析等に専従し企業等の支援に尽力するとともに、依頼試験件数及び手数料収入の増加に貢献した。	平成16年12月1日
	上席専門研究員	瀬川晃児		
	特産開発デザイン部長	町田俊一	地場産業製品へのユニバーサルデザインの導入に関する研究・製品開発を行うとともに、地場企業への技術指導や販路拡大の支援に尽力した。	平成17年3月31日
(社)日本鑄造工学会 「日下賞」	主任専門研究員	池 浩之	複合鑄造材料の高機能化とその応用に関する研究と技術支援に貢献した	平成16年5月24日
(社)プラスチック成型加工学会 「青木固技術賞」	東亜電化、トーノ精密、本田技術研究所、岩手県工業技術センター		トリアジンチオール成形接着技術を用いた電気二重層キャパシタ用高気密ケースカバーの開発	平成16年6月3日
社団法人 日本クラフトデザイン協会 日本クラフト展 「招待審査員賞」 (金子賢治賞)	特産開発デザイン部長	町田俊一	「UD漆器 椀」 選考評： オブジェやアートの作品の現代はよく話題になり、問われもする。しかし器の現代などということは、特にほんとうの実用性を旨とする分野ではなかなかじっくりと考えられることは稀である。過去の感覚的なもの、あるいは様式の「写し」が横行している。その点この漆器群はゆったりとした高と径の比率を形の基本にして落ち着いた視覚的印象を作り出し、よく吟味された少し明るい朱色、変化をもたらす布目、これら全体が融合して、パステルな印象を作り出している。まさに器の現代である。これでお雑煮を食べると、きっとおいしいぞ。 (金子賢治・東京国立近代美術館工芸課課長)	平成17年1月5日
	主任専門研究員	小林正信		
	専門研究員	東矢恭明		
	専門研究員	長嶋宏之		

岩手県工業技術センター業務年報(H16)

表彰区分	職名	氏名	事績の概要	受賞日
<p>財団法人 日本産業デザイン振興会 「2004グッドデザイン賞」</p>	<p>専門研究員</p>	<p>東矢恭明</p>	<p>「いわて型ペレットストーブ」 (家庭用・業務用) 審査員コメント： 木質バイオマスという資源に着目し、資源を無駄にせず利用する新エネルギー導入の取り組みを、インテリアになじむ造形で製品化してことが高く評価された。特に、ストーブの機能性に加えオープンが組み込まれているなど、生活面での配慮への取り組みも評価された。</p>	<p>平成16年10月1日</p>

1-8 学位取得

学位区分	学位取得者		取得大学	取得年月日	学位論文タイトル
	職名	氏名			
博士(工学)	主任専門研究員	桑嶋孝幸	大阪大学大学院	平成16年12月6日	HVOF-YAGレーザーハイブリッド溶射法による炭化物サーメット溶射皮膜の耐摩耗性向上に関する研究

1-9 職員の研修派遣

研修名	期間	派遣場所	所属	役職	氏名
セルフアセッサー研修	12月13日	エスポワールいわて	特産開発デザイン部	部長	町田俊一
	1月16～17日				
	2月20～22日	清温荘			
試験研究機関研究員研修	6月24日	県民会館	材料技術部	専門研究員	佐藤唯史
中堅職員研修	7月20～22日	清温荘	材料技術部	専門研究員	藤原智徳
溶射、接合技術に関する共同研究	7月22日～8月10日 1月16～19日	大阪大学接合科学研究所	材料技術部	主任専門研究員	桑嶋孝幸
大学院後期博士課程	4月1日～3月31日	岩手大学大学院工学研究科	材料技術部	上席専門研究員	佐々木秀幸
中小企業支援担当者研修「研究開発マネジメント」	7月26～30日	中小企業大学校	食品技術部	上席専門研究員	小浜恵子
政策課題海外派遣研修	11月22日～12月5日	ドイツ、スイス、フランス	電子機械技術部	主任専門研究員	飯村 崇
技術支援のための製品開発手法	9月29日～10月27日	中小企業大学校	電子機械技術部	専門研究員	園田哲也

2 研究業務

2-1 試験研究テーマ一覧

No.	テーマ名	事業名	財源	担当部	事業年度	主担当者
1	耐摩耗性に優れるコンポキャストマテリアルの開発とその応用	素材再利用による新材料製造技術開発事業	国庫	プロジェクト(Aプロ)	H14～16	池 浩之
2	新方式木質チップボイラーの開発	新方式木質チップボイラー開発事業	県単	プロジェクト(Bプロ)	H15～16	園田哲也
3	木質バイオマス消融雪システムの開発	木質バイオマス消融雪システム実用化研究事業	県単	プロジェクト(Bプロ)	H15～17	堀田昌宏
4	マイクロマシニングによる高機能製品開発	ものづくり基盤技術集積促進事業	国庫	プロジェクト(Cプロ)	H15～16	和合 健
5	鋳鉄からの脱マンガン・脱クロム技術の開発	高品質鋳鉄製造技術開発事業	国庫	プロジェクト(Cプロ)	H15～17	高川貫仁
6	新素材鋳鉄粉末を活用した高機能軽金属複合材料の開発	夢県土いわて創造研究推進事業	県単	プロジェクト(Cプロ)	H15～17	桑嶋孝幸
7	Co基耐熱合金を用いた耐熱バネの開発	ものづくり基盤技術集積促進事業	国庫	プロジェクト(Cプロ)	H16～17	齋藤 貴
8	溶融・結晶制御技術による産業廃棄物の無害化と有効利用	産業廃棄物再資源化技術開発事業	県単	プロジェクト(Eプロ)	H15～16	佐々木秀幸
9	バイオテクノロジーによる食品機能性解明と加工技術開発	いわて新ブランド食品創生事業	県単	プロジェクト(Fプロ)	H15～17	小浜恵子
10	ZnO単結晶基板の応用に関する研究	戦略的技術開発支援事業	県単	プロジェクト(Zプロ)	H15～17	遠藤治之
11	超高精度金型測定技術の構築	地域新生コンソーシアム研究開発事業	受託	電子機械技術部	H15～16	和合 健
12	画像処理による土壌検査システム	夢県土いわて創造研究推進事業	県単	電子機械技術部	H15～16	長谷川辰雄
13	トリアジンチオール有機ナノ薄膜の高機能発現研究開発	都市エリア産学官連携促進事業	受託	材料技術部	H14～16	鈴木一孝
14	100円無酸素雰囲気センサーチップの開発	産総研地域中小企業支援型研究開発制度	受託	材料技術部	H16	小野 元
15	県産清酒の品質向上に関する研究	県産吟醸酒品質向上研究推進事業	県単	醸造技術部	H14～16	中山繁喜
16	多機能性新規ベリーの産地化技術の確立と新加工品の開発	先端技術を活用した農林水産高度化事業	受託	食品技術部	H16～18	小浜恵子
17	県産大豆加工特性調査	県産大豆生産販売緊急対策事業	受託	食品技術部	H13～16	山口佑子
18	ナンブコムギの特性に応じた製パン加工技術の開発	県産小麦使用加工品開発事業	受託	食品技術部	H14～16	島津裕子
19	生分解性プラスチックの適正使用のための分解菌データベース作成	地球環境保全試験研究事業	受託	食品技術部	H14～16	及川和志

No.	テーマ名	事業名	財源	担当部	事業年度	主担当者
20	東北地域の硬質小麦を用いた高品質パン製品の開発	ブランド・ニッポン創生事業	受託	食品技術部	H14～17	菊地淑子
21	冷害被害米の新用途開発	先端技術を活用した農林水産高度化事業	国庫	食品技術部	H16～18	武山進一
22	Co基合金を使用したNiフリー鉄の開発	夢県土いわて創造研究推進事業	県単	電子機械技術部	H16～17	飯村 崇
23	ドライアイスペレットブラストによるトラフィックペイント剥離技術の開発	基盤的・先導的技術研究開発事業	県単	電子機械技術部	H16	飯村 崇
24	県産漆液の物理特性評価に基づく工業材料化の検討	基盤的・先導的技術研究開発事業	県単	特産開発デザイン部	H16	小林正信
25	未利用材を活用した炭化ボードの実用化	基盤的・先導的技術研究開発事業	県単	特産開発デザイン部	H16	浪崎安治
26	工業技術センター発開発製品の市場化促進	基盤的・先導的技術研究開発事業	県単	特産開発デザイン部	H16	町田俊一
27	「新建築基準法に対応した防火材料(準不燃材料)の塗装適性」	基盤的・先導的技術研究開発事業	県単	特産開発デザイン部	H16	穴沢 靖
28	高温高圧による産業廃棄物の処理	基盤的・先導的技術研究開発事業	県単	材料技術部	H16	平野高広
29	優良醸造微生物の開発	基盤的・先導的技術研究開発事業	県単	醸造技術部・食品技術部	H16	畑山 誠、高橋 亨
30	ワイン用果汁の窒素量による酵母発酵スピードの予測と対処法の確立	基盤的・先導的技術研究開発事業	県単	醸造技術部	H16	米倉裕一
31	岩手に適した赤ワイン品種の選抜	基盤的・先導的技術研究開発事業	県単	醸造技術部	H16	米倉裕一
32	食品の香り成分を酵母でコントロールする技術の可能性	基盤的・先導的技術研究開発事業	県単	食品技術部・醸造技術部	H16	小浜恵子
33	強磁場を利用した食品の熟成促進	基盤的・先導的技術研究開発事業	県単	醸造技術部	H16	中山繁喜

2-2 成果の公表

(1) 口頭発表

◆ 電子機械技術部

No.	発表テーマ	発表者名	発表会名	発表日	場所
1	小径ボールエンドミルの磨耗特性	齋藤裕之、岩渕明、清水友治	日本機械学会第四回機素潤滑設計部門講演会	4月19日	—
2	W.A.ゲージによるCMM性能評価方法	和合健、宮城善一(明治大学)、松田次郎(AIST)	(社)日本設計工学会 春季研究発表講演会	5月22日	東京工業大学大岡山キャンパス
3	Development of CMM Gauge for Performance Evaluation - Examination of Secular Change and Environmental Influence -	Takeshi WAGO, Zenichi MIYAGI(Meiji University) and Jiro MATSUDA(AIST)	第1回位置決め技術国際会議(ICPT 2004: The 1st International Conference on Positioning Technology)	6月10日	浜松アクティビティコンgresセンター
4	高温耐久性材料の機械加工特性	堀田昌宏、池浩之、齋藤裕之、高川貴仁、鈴木宗総	秋季東北・北海道地域部会	10月14日	山形県高度技術研究開発センター
5	画像処理による土壌品質検査	長谷川辰雄、高橋良学、大和田功	情報・電子部会 秋季東北・北海道地域部会	10月14日	ウェルサンピア八戸
6	ボールプレート持ち回り比較結果(岩手県の場合)	和合健	産業技術連携推進会議 知的基盤部会計測分科会第4回形状計測研究会	10月28日	ホテルセントヒル長崎
7	超高精度金型測定技術	和合健	地域新生コンソーシアム研究開発事業に関する第3回「難加工材の微細超精密プレス技術とその応用製品の研究開発」推進委員会	3月17日	北上ワシントンホテル

◆ 特産開発デザイン部

No.	発表テーマ	発表者名	発表会名	発表月日	場所
1	象嵌技術の開発と技術移転	浪崎安治・八重樫貴宗	第54回日本木材学会大会	8月3日	札幌コンベンションセンター
2	食器(漆器、木製品、陶磁器)へのユニバーサルデザインの導入	東矢恭明	産業技術連携推進会議 東北・北海道地域部会 物質工学部門	9月16日	道立・道民活動センター かでの2・7

◆ 材料技術部

No.	発表テーマ	発表者名	発表会名	発表月日	場所
1	炭化物粒子を铸ぐるんだ27Cr白铸铁の組織評価	小堀裕太、麻生節夫、後藤正治、池浩之、勝負沢善行、小西信夫	日本铸造工学会第144回全国講演大会	5月24日	名古屋市中小企業振興会館
2	27Cr白铸铁による廃棄サーメットの铸ぐるみ	麻生節夫、後藤正治、大関茂樹、池浩之、勝負沢善行、小西信夫	日本铸造工学会第144回全国講演大会	5月24日	名古屋市中小企業振興会館
3	廃棄サーメットによる高Cr白铸铁の高機能化	池 浩之	日本铸造工学会第144回全国講演大会	5月25日	名古屋市中小企業振興会館
4	岩手県工業技術センターの表面技術に関する紹介	小野元、桑嶋孝幸、鈴木一孝	表面技術総合展(MTEC 2004)	5月27～29日	東京都流通センター

No.	発表テーマ	発表者名	発表会名	発表月日	場所
5	トリアジンチオール直接成形接着技術を用いた電気二重層キャパシタ用高気密ケースカバーの開発	斎聖一、小林伊智郎、駒月正人、佐々木英幸	プラスチック成形加工学会	6月4日	船堀タワーホール
6	ADIによる農耕爪の開発	池 浩之	日本素材物性学会 年会	6月15日	秋田ビューホテル
7	鑄ぐるみによる応用化事例	池 浩之	日本鑄造工学会第69回東北支部鑄造技術部会	7月26日	水沢鑄物技術交流センター
8	スラグのコンクリート骨材への利用	佐々木秀幸	日本鑄造工学会第69回東北支部鑄造技術部会	7月26日	水沢鑄物技術交流センター
9	The Interaction of Pentacene with Water	R.Ye, M.Baba, 鈴木一孝	The 3rd International Semiconductor Technology Conference	9月15～17日	上海、中国
10	不法投棄物の分析と熔融処理	佐々木秀幸	資源・素材関係学協会合同秋季大会	9月16日	岩手大学
11	不法投棄物の物性と熔融	佐々木秀幸、平野高広、藤原智徳、藤原忠司、小山田哲也	不法投棄、不適正処分場に係る環境修復技術に関するシンポジウム	9月28日	ハーネル仙台
12	酸化法による鑄鉄溶湯からの脱マンガン技術	高川貫仁、池浩之、勝負沢善行、片山博、桃野正	日本鑄造工学会第145回全国講演会	10月13日	北九州国際会議場
13	アスファルト混合物及びコンクリートへの無機汚泥の利用	佐々木秀幸、藤原忠司、小山田哲也	第15回廃棄物学会研究発表会	11月18日	サンポートホール高松
14	軽金属基材へHVOF溶射した鑄鉄溶射皮膜の性状	桑嶋孝幸、斉藤貴、斉藤裕之、堀江弘、大森明	溶射合同講演会(日本溶射協会第80回全国後援大会、高温学会溶射部会第13回溶射討論会)	12月8日	クローバープラザ(福岡県春日市)
15	鑄鉄材料への溶射技術の応用	桑嶋孝幸	大阪大学溶接化学研究所研究集会	3月22日	大阪大学中之島センター
16	高品位電鑄金型の製造技術	佐々木英幸、大道渉	都市エリア産学官連携促進フォーラム	3月29日	ホテルメトロポリタン ニューウイング
17	金型等の離型技術	鈴木一孝、三浦由美子	都市エリア産学官連携促進フォーラム	3月29日	ホテルメトロポリタン ニューウイング

◆ 食品技術部

No.	発表テーマ	発表者名	発表会名	発表月日	場所
1	岩手県産農産物の抗グリケーション活性と抗酸化性	山口佑子	日本食品科学工学会第51回大会	9月3日	岩手大学
2	岩手県産農産物の抗グリケーション活性と抗酸化性	岸 敦	産業技術連携推進会議 生命工学会部会 東北・北海道地域部会	9月30日	福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター
3	麴を利用した新規加工食品の開発ー新しい調味原料「もち米ペースト」と利用製品開発	伊藤良仁	フードフォーラム北東北	11月11日	工業技術センター

(2) 誌上发表

◆ 総務部

No.	掲載テーマ	著者名	掲載雑誌名	発刊号
1	公設試験研究機関における産学官連携人材 (筆者を例として)	小山康文	研究・技術計画学会誌	Vol.18, No.1/2 /2003

◆ 電子機械技術部

No.	掲載テーマ	著者名	掲載雑誌名	発刊号
1	ミニチュアボールエンドミルの磨耗特性とその加工面性状に及ぼす影響	齋藤裕之、岩淵 明、清水友治	トライボロジスト	Vol.50/No.3/ 2005

◆ 特産開発デザイン部

No.	掲載テーマ	著者名	掲載雑誌名	発刊号
1	食器(漆器、木製品、陶磁器)へのユニバーサルデザインの導入	町田俊一、小林正信、東矢恭明、長嶋宏之	産業技術連携推進会議 東北・北海道地域部会 研究論文集	第4号

◆ 材料技術部

No.	掲載テーマ	著者名	掲載雑誌名	発刊号
1	Effect of Simultaneous Laser Irradiation on a Cr ₃ C ₂ -Ni-Cr Coating Produced by High-Velocity Oxy-Fuel Spraying Process	桑嶋孝幸	日本金属学会欧文誌 Material Transaction	Vol.45 No.6 June(2004)
2	The Interaction of Pentacene with Water	R.Ye, M.Baba, 鈴木一孝, K.Mori	Semiconductor Technology	Vol.101 2004- 11
3	Effect of O ₂ and H ₂ O on electrical characteristics of Pentacene thin film transistors	R.Ye, M.Baba, 鈴木一孝, K.Mori	Thin Solid Films	Vol.437 464- 465(2004)
4	Cr ₃ C ₂ -Ni-Cr Coating Properties of HVOF-YAG Hybrid Spraying and It's Strengthening Mechanism	桑嶋孝幸, 高橋幾久雄, T.Tomita, A.Omori	JWRI Transaction	Vol.33 No.2

◆ 食品技術部

No.	掲載テーマ	著者名	掲載雑誌名	発刊号
1	畜産未利用資源からの有用成分の抽出	岸 敦	フードケミカル	2005年 1月号

(3) 知的財産権

(a) 取得

No.	名称	種類	年月日	番号	発明者	
					所属	氏名
1	廃プラスチック担持体及び製造方法	特許	H16.4.23	3547726	特産開発デザイン部	浪崎安治、有賀康弘
2	温風暖房機	意匠	H16.7.16	1215806	特産開発デザイン部	東矢恭明
3	温風暖房機	意匠	H16.7.16	1215866	特産開発デザイン部	東矢恭明
4	いす	意匠	H17.1.21	1232053	特産開発デザイン部 *(現:二戸高等技術専門校)	浪崎安治、有賀康弘、 高橋民雄*
5	近接場光励起スクイド顕微鏡装置	特許	H17.2.18	3647818	電子機械技術部 (現:岩手大学)	大坊真洋
6	速乾性漆液の加工装置	特許	H17.3.4	3653512	特産開発デザイン部	町田俊一、小林正信
7	使用済みコンクリート型枠からの炭化物	特許	H17.3.11	3654644	特産開発デザイン部(現: 環境保健研究センター)	佐々木陽

(b) 出願

No.	名称	種類	年月日	番号	発明者	
					所属	氏名
1	コンクリート用増粘剤及びコンクリート製品	特許	H16.4.23	特願 2004-127666	材料技術部	佐々木秀幸
2	石膏粒状特殊肥料の製造方法	特許	H16.10.26	特願 2004-310382	材料技術部	平野高広、佐々木秀幸、 藤原智徳
3	温風暖房機	意匠	H16.11.9	意願 2004-34097	特産開発デザイン部	東矢恭明
4	空気清浄装置	特許	H16.12.24	特願 2004-374236	企画情報部	山本忠
5	固形燃料燃焼装置	特許	H17.1.25	特願 2005-017454	電子機械技術部	園田哲也、米倉勇雄
6	非加圧方式防腐処理方法による不燃木材の製造方法	特許	H17.2.24	特願 2005-048318	特産開発デザイン部	穴沢靖
7	金属と被着材との接着方法及び電鍍金型の製造方法	特許	H17.3.28	特願 2005-092972	材料技術部	佐々木英幸
8	金属表面の処理方法	特許	H17.3.28	特願 2005-091205	材料技術部	鈴木一孝
9	紫外線センサ素子及びその製造方法	特許	H17.3.28	特願 2005-092223	電子機械技術部	遠藤 治之

3 支援業務

3-1 企業訪問

<実施方針>

平成16年度の企業訪問は過去2年間の「ご用聞き」スタイルによるセンターPRや新規企業開拓の方針から、より中身の濃い支援・連携に重点をおいた活動とする。具体的には目標訪問企業数を300社(うち新規100社)とする。その詳細を以下に記す。

①過去2年間の企業訪問で、約1,000社とネットワークを構築し、ニーズ把握もかなり進んだ。

②企業訪問を機会に共同研究に至るケースは、過去2年とも継続訪問した場合が新規訪問の約3倍多く、継続訪問が共同研究化にとって有効である。

③よって、企業ニーズの共同研究化や大型事業化をさらに推進させるため、訪問先を継続訪問企業に集中させる。つまり、これまで訪問した約1,000社をいわば“重点支援企業”と位置づけ、そのうち200社に訪問する。

④一方、上記以外の企業(約2,000社)や新規に参入した企業のニーズ把握の必要性もあるため、新規企業100社を目途に訪問する。

⑤訪問数300社に対し、研究や人材養成事業の新規テーマとして20件を取り上げることを目標に、企業ニーズへの具体的なアクションとする。

<実績>

訪問企業数:310社 (うち新規企業:86社)

訪問件数:393件

①訪問先を過去に訪問実績のある“重点支援企業”としたことで、年度内再訪問が増加。以下の効果が得られた。

1) 現場支援充実(内容、スピード)

2) センター人材の総合活用の促進、

3) 共同研究へのスピードアップ

②共同研究要望数の増加 (H14:14件、 H15:36件、 H16:77件)

3-2 講習会

(1) 国庫補助事業

① 中小企業技術開発産学官連携促進事業

◆ 材料技術部

(会場:岩手県工業技術センター)

No.	講習会名	開催月日	タイトル(テーマ)	講師		受講者数
				所属	氏名	
1	鑄ぐるみ技術に関する技術普及講習会	8月6日	鑄ぐるみによる鑄鉄の複合化技術	秋田大学	麻生節夫	15
			サーメット及び超硬合金とそのリサイクル	富士ダイス(株)	寺田 修	
			廃棄サーメットを利用した高温耐久性材料の開発	工業技術センター	池 浩之	
			鑄ぐるみ材料の切削加工技術	工業技術センター	堀田昌宏	
			鑄ぐるみ材料の研削加工技術	工業技術センター	飯村 崇	

② 地域産業集積中小企業等活性化事業

◆ 電子機械技術部

(会場:岩手県工業技術センター)

No.	講習会名	開催月日	タイトル(テーマ)	講師		受講者数
				所属	氏名	
1	CNC画像測定顕微鏡に関する講習会	7月21日	CNC画像測定顕微鏡の最新技術及び測定機の日常管理と校正	(株)ミットヨ	笠井新市 佐藤洋治	35
2	マイクロマシニングによる高機能製品開発に関する講習会	1月21日	マイクロマシニングによる高機能製品開発	三菱電機(株)	岡本 浩	5

◆ 材料技術部

(会場:岩手県工業技術センター)

No.	講習会名	開催月日	テーマ	講師		受講者数
				所属	氏名	
1	産業技術集積活性化事業技術講習会	12月10日	環境規制に対応するクエン酸ニッケルめっき技術の紹介	東京都立産業技術研究所	土井 正	27
			ナノインデンテーションによる薄膜評価技術の紹介	(株)エリオニクス	伊藤 拓嗣	
2	産業技術集積活性化事業技術講習会	2月15日	走査型プローブ顕微鏡の原理と応用	セイコーアイテクノロジー(株)	西岡 誠司	14

③ ブランド・ニッポン創生事業

◆ 食品技術部

(会場:岩手県工業技術センター)

No.	講習会名	開催月日	テーマ	講師		受講者数
				所属	氏名	
1	国産小麦の品種特性と加工利用講演会	2月21日	地域の農産物を活かした心と体の健康食品産業(小麦とソバのアロマフードテクノロジー)	(独)食品総合研究所	堀金 彰	45
			ゆきちからブレンドによるナンブコムギパンの品質改善	工業技術センター	島津裕子	
			春よ恋い、ナンブコムギと比較したゆきちからの製パン特性	工業技術センター	菊地淑子	
			ゆきちから研究会試食会結果報告	工業技術センター	遠山 良	

(2) 県単独事業

※ 講習会名が”斜体”のものはテクノブリッジ推進事業による講習会

◆ 電子機械技術部

No.	講習会名	開催月日	テーマ	講師		会場	受講者数
				所属	氏名		
1	オシロスコープ入門講習会	8月24日	オシロスコープの基本的な操作方法について	日本テクトロニクス(株)	菅原順一	工業技術センター	20
2	計測管理セミナー	9月16日	計測における不確かさの算出方法	(社)計量計測技術センター	池田秀和	工業技術センター	12

◆ 特産開発デザイン部

No.	講習会名	開催月日	テーマ	講師		会場	受講者数
				所属	氏名		
1	<i>木材加工技術講習会</i>	7月2日	木製品と今後のVOC規制	コニシ(株)	井上雅雄	工業技術センター	25
2	<i>木材加工技術講習会</i>	12月8日	地方における木工事情と製品化	長野県情報技術試験場	上田友彦	工業技術センター	16
3	<i>ユニバーサルデザイン講習会</i>	2月3日	ユニバーサルデザインの市場化	(株)松屋	山本幸代	工業技術センター	21

◆ 材料技術部

No.	講習会名	開催月日	テーマ	講師		会場	受講者数
				所属	氏名		
1	<i>テクノブリッジ講習会</i>	12月8日	現場改善セミナー	システムエージェンシー	高橋和義	工業技術センター	6
2	<i>テクノブリッジ講習会</i> 産業技術集積活性化事業技術講習会と同時開催	12月10日	ニッケルめっき汚泥からのニッケルの再資源化技術の紹介	(株)東京ワイヤー製作所	佐々木 廣	工業技術センター	27
3	<i>テクノブリッジ講習会</i>	3月22日	ニッケルめっきスラッジの還元処理について	エイ・シー技研	千田昭夫	工業技術センター	1
4	<i>テクノブリッジ講習会</i>	3月22日	FCD650製展圧盤のわれの原因について	エイ・シー技研	千田昭夫	工業技術センター	1
5	<i>テクノブリッジ講習会</i>	3月23日	新工場立ち上げ後の技術課題について	エイ・シー技研	千田昭夫	工業技術センター	1

◆ 醸造技術部

No.	講習会名	開催月日	テーマ	講師		会場	受講者数
				所属	氏名		
1	<i>岩手県酒造講習会</i>	12月3日	酒造技術全般	工業技術センター	中山繁喜	岩手県酒造組合	33
			工業技術センター	桜井 廣			
			盛岡税務署	柴田毅一			
			岩手県酒造組合	小嶋 久			
			仙台国税局鑑定官室	石田謙太郎			
			(財)日本醸造協会	石川雄章			
2	<i>果実酒研究会</i>	1月24日	ヤマブドウの加工適性	工業技術センター	米倉裕一	工業技術センター	18
3	<i>醤油セミナー</i>	2月8日	工場の衛生管理の要点について	日本醤油研究所	田上秀男	ホテルルイズ	18

◆ 食品技術部

No.	講習会名	開催月日	テーマ	講師		会場	受講者数
				所属	役職・氏名		
1	菓子製造技術講習会	5月26日	和洋菓子製菓技術(プチチョコバナナ、純生クリーム大福、ゴマ揚げまんじゅう)	レオン自動機(株)	島田幸雄 他2名	工業技術センター	27
2	製パン技術講習会	7月30日	イムナーフラワーを使った 玄米パンの製パン法	グリーンベル	武山照愿	工業技術センター	58
			衛生管理研修	(株)オリオンベーカリー	菅野健美		
3	菓子製造技術講習会	10月7日	和洋菓子製菓技術(ゆず入り風味もちパイ、栗入りリュフチョコ、きんぴら餅)	レオン自動機(株)	松本 浩 他3名	工業技術センター	28

3-3 派遣

(1) 講師

◆総務部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
大船渡市観光物産協会・三陸町観光協会・三陸町物産振興協会 合併記念講演会	5月19日	大船渡市	大船渡商工会議所	斎藤絃一	大船渡市観光物産協会
企業ネットワークいわて2004東京	7月13日	東京都	東京パレスホテル	斎藤絃一	企業立地推進課
岩手県立産業技術短期大学校職員研修	8月4日	矢巾町	岩手県立産業技術短期大学校	斎藤絃一	岩手県立産業技術短期大学校
RSP事業フォーラム、いわて産学官連携コーディネータセミナー	9月6日	盛岡市	岩手大学	斎藤絃一	(財)いわて産業振興センター
中小企業金融公庫岩手友の会講演会	10月21日	盛岡市	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング	斎藤絃一	中小企業金融公庫岩手友の会
気仙地域異業種グループ交流会	10月21日	大船渡市	大船渡プラザホテル	小山康文	気仙地域異業種グループ
企業ネットワークいわて2004大阪	11月1日	大阪市	ヒルトンホテル大阪	斎藤絃一	企業立地推進課
胆江工業クラブ新春講演会	1月20日	水沢市	水沢グランドホテル	斎藤絃一	胆江工業クラブ
水沢鋳物工業協同組合講演会	2月3日	水沢市	水沢市鋳物交流センター	斎藤絃一	水沢鋳物工業協同組合
第45回産業連携推進会議総会	3月24日	東京都	発明会館ホール	斎藤絃一	産業連携推進会議

◆企画情報部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
岩手県立農業大学校講義	4月27日	金ヶ崎町	岩手県立農業大学校	山本 忠	岩手県立農業大学校
岩手県立農業大学校講義	5月18日	金ヶ崎町	岩手県立農業大学校	山本 忠	岩手県立農業大学校
岩手県立農業大学校講義	6月1日	金ヶ崎町	岩手県立農業大学校	山本 忠	岩手県立農業大学校
岩手県立農業大学校講義	6月3日	金ヶ崎町	岩手県立農業大学校	山本 忠	岩手県立農業大学校
試験研究機関研究員研修	6月24日	盛岡市	県民会館	齊藤博之	科学技術課
岩手県立農業大学校講義	6月24日	金ヶ崎町	岩手県立農業大学校	山本 忠	岩手県立農業大学校
平成16年度ナノテクノロジー推進委員会第3回専門委員会	12月17日	盛岡市	岩手県商工会連合会	鎌田公一	ナノテクノロジー推進委員会

◆電子機械技術部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
県内における木質バイオマスエネルギー活用への取り組み	5月21日	盛岡市	ホテルルイズ	園田哲也	岩手県接合技術研究会
鑄造技術研修講座(鑄型1)	7月13日	水沢市	水沢市鑄物技術交流センター	米倉勇雄	水沢市
鑄造技術研修講座(鑄型2)	7月15日	水沢市	水沢市鑄物技術交流センター	米倉勇雄	水沢市
県内のチップボイラー利用といわて型チップボイラーについて	11月13日	二戸市	二戸シビックセンター	園田哲也	岩手木質バイオマス研究会

◆特産開発デザイン部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
二戸地域障害者作業所等連絡会における製品デザイン等へのアドバイス会	11月10日	二戸市	二戸地方振興局	町田俊一、長嶋宏之	二戸地方振興局保健福祉環境部
象嵌製品・紋様製作研修会議・情報交換会	1月29日	江刺市	森の駅研修所	浪崎安治	ふるさと塾 夢楽人の里
象嵌技法研修会	1月30日	江刺市	大平生活改善センター	浪崎安治、八重樫貴宗	ふるさと塾 夢楽人の里
ミニLL事業【米国ノースカロライナ州一岩手県(伝統家具)】ワークショップ	3月11日	盛岡市	岩手県工業技術センター	浪崎安治	JETRO 盛岡貿易情報センター

◆材料技術部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
循環型社会への環境セミナー「廃棄物とビジネス」	7月16日	北上市	北上オフィスプラザ	佐々木秀幸	岩手県、(株)北上オフィスプラザ
鑄造技術研修講座	7月21日	水沢市	水沢市鑄物技術交流センター	池 浩之	水沢市鑄物技術交流センター
鑄造技術研修講座	7月27日	水沢市	水沢市鑄物技術交流センター	池 浩之	水沢市鑄物技術交流センター
鑄造技術研修講座	7月29日	水沢市	水沢市鑄物技術交流センター	高川貫仁	水沢市鑄物技術交流センター
鑄造技術研修講座	8月3日	水沢市	水沢市鑄物技術交流センター	高川貫仁	水沢市鑄物技術交流センター
岩手県南技術センター産学官交流会	8月30日	一関市	Hサンルート一関	池 浩之	(財)岩手県南技術研究センター
日本電子ユーザーズミーティング	9月16日	東京都	中野サンプラザ	桑嶋孝幸	日本電子(株)
日本電子ユーザーズミーティング	11月16日	仙台市	仙台市戦災復興記念館	桑嶋孝幸	日本電子(株)
岩手県接合技術研究会	2月3日	盛岡市	工業技術センター	桑嶋孝幸	岩手県接合技術研究会
岩手大学大学院工学研究科(連携大学院)	4月1日～3月31日	盛岡市	岩手大学工学部	佐々木英幸	岩手大学

◆醸造技術部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
第93回南部杜氏夏季酒造講習会	7月27～29日	紫波町、石鳥谷町	紫波町農協ホール、石鳥谷町公民館	桜井廣、中山繁喜、畑山誠、高橋亨	(社)南部杜氏協会
石鳥谷町酒造大学	8月27日	盛岡市	工業技術センター	桜井廣、中山繁喜、畑山誠、米倉裕一、高橋亨	(社)南部杜氏協会
雑穀ブレンド焼酎試飲会	9月30日	軽米町	農村環境改善センター	桜井廣、米倉裕一	軽米町
北上市企業誘致説明会	10月15日	東京都	中野サンプラザ	桜井廣	北上市
酒米研究セミナー	10月25日	宇都宮市	栃木県農業試験場	高橋亨	栃木県酒造組合
岩手日報カルチャースクール 味噌・醤油づくり講座	11月8～19日	盛岡市	工業技術センター	桜井廣、畑山誠	岩手日報社
北上市企業誘致説明会	11月17日	大阪市	大阪商工会議所ビル	中山繁喜	北上市
滝沢村睦大学	1月12日	滝沢村	滝沢村公民館	桜井廣	滝沢村
構造改革特区における酒類製造免許取得のための醸造技術研修会	1月25～28日	盛岡市	工業技術センター	桜井廣、中山繁喜、畑山誠、米倉裕一、高橋亨	県農林水産部農業振興課

◆食品技術部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
岩手大学大学院一般ゼミナール実施に伴う講師派遣	8月24日	滝沢村	岩手山青年の家	遠山 良	岩手大学連合大学院
大東町少年少女発明クラブ講演	12月4日	大東町	大東町立農村環境改善センター	伊藤良仁	(社)発明協会岩手県支部
食品加工セミナー	3月17日	釜石市	(財)釜石・大槌産業育成センター	小浜恵子	(財)釜石・大槌産業育成センター
岩手大学大学院工学研究科(連携大学院)	4月1日～3月31日	盛岡市	岩手大学工学部	遠山 良	岩手大学

(2) 委員

◆総務部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
RSP事業ワーキング委員会	6月7日	盛岡市	マリオス	小山康文	(財)いわて産業振興センター
夢県土いわて戦略的研究推進事業研究課題評価委員会	6月21日	盛岡市	岩手県庁	斎藤紘一	科学技術課
地域結集型共同研究事業共同研究推進委員会	8月18日	盛岡市	岩手大学	小山康文	(財)いわて産業振興センター
夢県土いわて戦略的研究推進事業中間評価会議	10月12日	盛岡市	岩手県庁	斎藤紘一	科学技術課
岩手大学インキュベーションルーム評価委員会	10月19日	盛岡市	岩手大学	斎藤紘一	岩手大学
(財)岩手県南技術研究センター運営委員会	10月25日	一関市	(財)岩手県南技術研究センター	小山康文	(財)岩手県南技術研究センター
北東北の地域資源の広域的な有効活用に関する調査」第1回調査部会	11月8日	盛岡市	マリオス	斎藤紘一	—
盛岡南新都市産業用地等構想検討委員会	11月22日	盛岡市	岩手県庁	斎藤紘一	盛岡南新都市産業用地等構想検討委員会
第2回産業クラスター研究会	11月22日	東京都	—	斎藤紘一	経済産業省
第3回産業クラスター研究会	12月16日	東京都	—	斎藤紘一	経済産業省
公設試の経営戦略研究会	12月17日	東京都	—	斎藤紘一	中小企業庁
RSP事業ワーキング委員会	12月17日	盛岡市	マリオス	小山康文	(財)いわて産業振興センター
盛岡南新都市産業用地等構想検討委員会ワーキンググループ	1月12日	盛岡市	盛岡市役所	小山康文	盛岡南新都市産業用地等構想検討委員会
第4回産業クラスター研究会	1月24日	東京都	—	斎藤紘一	経済産業省
第1回公設試の経営戦略研究会	1月31日	東京都	—	斎藤紘一	中小企業庁
北東北の地域資源の広域的な有効活用に関する調査」第3回調査部会	2月17日	盛岡市	マリオス	斎藤紘一	—
第5回産業クラスター研究会	2月21日	東京都	—	斎藤紘一	経済産業省
第2回公設試の経営戦略研究会	2月24日	東京都	—	斎藤紘一	中小企業庁
第6回産業クラスター研究会	2月21日	東京都	—	斎藤紘一	経済産業省
北東北の地域資源の広域的な有効活用に関する調査」第4回調査部会	2月17日	盛岡市	マリオス	斎藤紘一	—
RSP事業推進会議及びワーキング委員会合同会議	3月11日	盛岡市	マリオス	小山康文	(財)いわて産業振興センター

◆企画情報部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
高度技術者企業化支援事業新事業評価委員会	4月14日	盛岡市	マリオス	遠山 良、山本 忠	(財)いわて産業振興センター
北上市基盤技術支援センター運営委員会	6月1日	北上市	北上市基盤技術支援センター	山本 忠	北上市基盤技術支援センター
盛岡市少年少女発明クラブ企画運営委員会	6月2日	盛岡市	盛岡市こども科学館	山本 忠	盛岡市こども科学館
RSP事業ワーキング委員会	9月17日	盛岡市	マリオス	茨島 明	(財)いわて産業振興センター

◆電子機械技術部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
第1回ナノテクノロジー推進委員会	6月30日	盛岡市	岩手県商工会連合会館	泉田福典	岩手県商工会連合会
水沢市鋳物技術交流センター運営委員会	7月16日	水沢市	水沢市鋳物技術交流センター	米倉勇雄	水沢市
第2回ナノテクノロジー推進委員会	11月4日	盛岡市	メトロポリタン盛岡	泉田福典	岩手県商工会連合会
ものづくり・IT融合化推進技術の研究開発加工研削SWG	11月4日	東京都	東京バイ有明ワシントンホテル	飯村 崇	ものづくり先端技術研究センター
(独)日本学術振興会「結晶成長と技術第161委員会」第4回委員総会	12月3日	仙台市	東北大学金属材料研究所	大嶋江利子	(独)日本学術振興会
(独)日本学術振興会「結晶成長と技術第161委員会」第5回委員総会	2月18日	東京都	弘済会館	大嶋江利子	(独)日本学術振興会
第3回ナノテクノロジー推進委員会	3月10日	盛岡市	メトロポリタン盛岡	泉田福典	岩手県商工会連合会

◆特産開発デザイン部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
第2回ミニLL事業打ち合わせ会議	5月22日	盛岡市	農林会館	町田俊一、浪崎安治	JETRO 盛岡貿易情報センター
森からの新ビジネス事業委員会	5月26日	盛岡市	農林会館	町田俊一	県、観光経済交流課
第3回ミニLL事業打ち合わせ会議	7月16日	盛岡市	農林会館	浪崎安治	JETRO 盛岡貿易情報センター
第1回いわて夢住宅推進協議会	10月5日	盛岡市	県庁7F-7D	浪崎安治	農林水産部林業振興課
第5回ミニLL事業打ち合わせ会議	10月8日	盛岡市	農林会館	町田俊一、浪崎安治	JETRO 盛岡貿易情報センター
平成16年度第2回いわて夢住宅推進協議会	12月22日	盛岡市	エスポワールいわて	浪崎安治	農林水産部林業振興課
安代町漆器生産促進協議会	3月8日	安代町	安代町役場	町田俊一	安代町
森からの新ビジネス事業委員会	3月17日	盛岡市	県公会堂	町田俊一	県、観光経済交流課

◆材料技術部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
ものづくり先端技術研究センター情報収集ワーキンググループ(溶射SWG)委員	4月1日～3月31日	—	—	桑嶋孝幸	産業技術総合研究所
ものづくり先端技術研究センター情報収集ワーキンググループ(レーザ溶接SWG)委員	4月1日～3月31日	—	—	桑嶋孝幸	産業技術総合研究所
ものづくり先端技術研究センター情報収集ワーキンググループ(レーザ切断SWG)委員	4月1日～3月31日	—	—	桑嶋孝幸	産業技術総合研究所
いわて鑄造研究会	9月3日	水沢市	水沢鑄物技術交流センター	池 浩之、高川貫仁	水沢鑄物技術交流センター
第1回鑄物産業モノづくり向上委員会	10月20日	水沢市	水沢鑄物技術交流センター	—	水沢鑄物工業協同組合
第2回鑄物産業モノづくり向上委員会	11月15日	水沢市	水沢鑄物技術交流センター	—	水沢鑄物工業協同組合
いわて鑄造研究会(打ち合わせ)	12月9日	水沢市	水沢鑄物技術交流センター	池 浩之、高川貫仁	水沢鑄物技術交流センター
いわて鑄造研究会 第2回技術課題中間報告会	12月21日	水沢市	水沢鑄物技術交流センター	池 浩之、高川貫仁	水沢鑄物技術交流センター
第3回鑄物産業モノづくり向上委員会	1月20日	水沢市	水沢鑄物技術交流センター	高川貫仁	水沢鑄物工業協同組合
第4回鑄物産業モノづくり向上委員会	2月21日	水沢市	水沢鑄物技術交流センター	池 浩之	水沢鑄物工業協同組合
第3回再生資源利用認定製品審査会幹事会	2月25日	盛岡市	盛岡地区合同庁舎	瀬川晃児	環境生活部資源循環推進課
いわて鑄造研究会 技術課題・技術目標成果発表会	3月30日	水沢市	水沢鑄物技術交流センター	池 浩之、高川貫仁	水沢鑄物技術交流センター

◆醸造技術部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
卓越技能者被表彰候補者準備部会	4月28日	盛岡市	岩手県公会堂	中山繁喜	労政能力開発課
岩手県酒造組合酒造技術委員会	6月2日	盛岡市	岩手県酒造組合	桜井廣、中山繁喜、高橋亨	岩手県酒造組合
第1回紫波町自園自醸ワイン開発委員会	6月7日	紫波町	紫波フルーツパーク	桜井廣、米倉裕一	紫波町
第73回南部杜氏資格選考委員会	7月28日	石鳥谷町	南部杜氏研修所	桜井廣	(社)南部杜氏協会
卓越技能者被表彰候補者準備部会	9月10日	盛岡市	岩手県公会堂	中山繁喜	労政能力開発課
卓越技能者被表彰候補者準備部会	2月22日	盛岡市	岩手県公会堂	中山繁喜	労政能力開発課
第2回紫波町自園自醸ワイン開発委員会	2月27日	紫波町	ラ・フランス温泉館	桜井廣、米倉裕一	紫波町

◆食品技術部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
第1回農産物加工指導・研究推進連絡会議	7月7日	北上市	農業研究センター	遠山 良	岩手県農業研究センター
第2回東北米粉利用推進連絡協議会総会	7月8日	仙台市	仙台第2合同庁舎	遠山 良	東北米粉利用推進連絡協議会
地盤産業等活力強化事業第1回特産品開発委員会	7月24日	紫波町	紫波フルーツパーク	遠山 良	紫波町特産品開発委員会
地盤産業等活力強化事業第2回特産品開発委員会	11月5日	紫波町	ラ・フランス温泉館	遠山 良	紫波町特産品開発委員会
地盤産業等活力強化事業第3回特産品開発委員会	1月28日	紫波町	ラ・フランス温泉館	遠山 良	紫波町特産品開発委員会
地盤産業等活力強化事業第4回特産品開発委員会	2月24日	紫波町	ラ・フランス温泉館	遠山 良	紫波町特産品開発委員会
第2回農産物加工指導・研究推進連絡会議	2月14日	北上市	農業研究センター	遠山 良	岩手県農業研究センター

(3) 審査員

◆総務部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
産業地域ゼロエミッション推進事業審査会	5月26日	盛岡市	岩手県庁	斎藤紘一	資源循環推進課
学術振興財団助成対象事業審査会	7月28日	滝沢村	岩手県立大学	斎藤紘一	岩手県立大学
中小企業創造活動事業計画審査委員会	8月26日	盛岡市	水産会館	斎藤紘一	産業振興課
岩手県環境再生資源利用認定審査会	9月21日	盛岡市	岩手県庁	南幅留男	資源循環推進課
中小企業創造活動事業計画審査委員会	11月18日	盛岡市	岩手県庁	斎藤紘一	産業振興課
第2回岩手県再生資源利用認定審査会	3月23日	盛岡市	岩手県庁	南幅留男	資源循環推進課

◆電子機械技術部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
情報端末機器調達審査委員会	4月20日	盛岡市	県庁12階会議室	長谷川辰雄	IT推進課
岩手県立大学学内情報システム情報端末仕様策定委員会	4月22日	滝沢村	県立大本部棟第2会議室	長谷川辰雄	県立大事務局企画課
第2回情報端末機器調達審査委員会	7月6日	盛岡市	県庁8階会議室	長谷川辰雄	IT推進課

◆特産開発デザイン部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
岩手創作工人展	9月21日	盛岡市	盛岡手作り村	町田俊一	岩手創作工人展実行委員会
岩手県観光土産品推奨委員会	11月17日	盛岡市	農林会館	町田俊一	岩手県観光協会
いわて夢住宅コンクール審査会	1月12日	盛岡市	(財)岩手県建築住宅センター	浪崎安治	(財)岩手県建築住宅センター
「第25回水沢鋳物まつり」審査会	7月7日	水沢市	水沢市伝統産業会館	長嶋宏之	水沢鋳物工業協同組合
第48回岩手県統計グラフコンクール第2次審査会	9月16日	盛岡市	岩手県庁	長嶋宏之	岩手県総合政策室調査統計課
地域木材利用木製品コンクール	10月26日	北上市	北上市生涯学習センター	長嶋宏之	北上地方振興局農林部林産課、いわてCNPO-NETサポート

◆材料技術部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
第1回岩手県再生資源利用認定製品審査会幹事会	7月13日	盛岡市	盛岡地区合同庁舎8階	瀬川晃児	資源循環推進課
技能五輪全国大会岩手大会	10月18～24日	花巻市	岩手職業能力開発促進センター	佐藤唯史	中央職業能力開発協会
第3回岩手県再生資源利用認定製品審査会幹事会	2月25日	盛岡市	盛岡地区合同庁舎8階	瀬川晃児	資源循環推進課
岩手県溶接技術競技会	3月5日	花巻市	ポリテクセンター岩手	高橋幾久雄、桑嶋孝幸	(社)日本溶接協会岩手県支部

◆醸造技術部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
第86回南部杜氏自醸清酒鑑評会	4月6～9日	石鳥谷町	南部杜氏協会研修所	桜井廣、中山繁喜、米倉裕一、高橋亨	(社)南部杜氏協会
しょうゆJASきき味	5月28日	盛岡市	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山誠	岩手県味噌醤油工業協同組合
しょうゆJASきき味	6月29日	盛岡市	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山誠	岩手県味噌醤油工業協同組合
南部杜氏資格選考試験	7月26日	石鳥谷町	南部杜氏協会	高橋亨	(社)南部杜氏協会
しょうゆJASきき味	7月28日	盛岡市	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山誠	岩手県味噌醤油工業協同組合
青森県清酒鑑評会	9月13～14日	青森市	アップルハウス青森	畑山誠	青森県酒造組合
宮城県清酒鑑評会	9月15～16日	仙台市	宮城県酒造組合	中山繁喜	宮城県酒造組合
東北清酒鑑評会	10月4～5日	仙台市	仙台国税局鑑定官室	中山繁喜	仙台国税局
東北清酒鑑評会	10月6日	仙台市	仙台国税局鑑定官室	高橋亨	仙台国税局
東北清酒鑑評会	10月8日	仙台市	仙台国税局鑑定官室	桜井廣	仙台国税局
しょうゆJASきき味	10月26日	盛岡市	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山誠	岩手県味噌醤油工業協同組合
しょうゆJASきき味	11月29日	盛岡市	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山誠	岩手県味噌醤油工業協同組合
しょうゆJASきき味	12月21日	盛岡市	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山誠	岩手県味噌醤油工業協同組合
しょうゆJASきき味	1月27日	盛岡市	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山誠	岩手県味噌醤油工業協同組合
山形県新酒鑑評会	3月22～23日	山形市	山形県工業技術センター	中山繁喜	山形県酒造組合
秋田県清酒鑑評会	3/23～25日	秋田市	秋田県酒造組合	高橋亨	秋田県酒造組合
しょうゆJASきき味	3月28日	盛岡市	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山誠	岩手県味噌醤油工業協同組合

◆食品技術部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
第18回岩手県ふるさと食品コンクール	10月20日	盛岡市	工業技術センター	遠山 良	岩手県食品産業協議会
第33回躍進いわての産業まつり「特産品コンクール」	10月21日	遠野市	遠野運動公園	遠山 良	(社)岩手県産業貿易振興協会
陸前高田市特産品コンクール	11月5日	陸前高田市	道の駅高田松原(タピック45)	伊藤良仁	陸前高田市産業まつり実行委員会
第46回岩手県観光みやげ品推奨委員会	11月17日	盛岡市	農林会館	遠山 良	(財)岩手県観光協会

(4) その他

◆総務部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
江刺フロンテアパーク企業誘致促進協議会総会	4月26日	江刺市	—	斎藤絃一	江刺フロンテアパーク企業誘致促進協議会
特許情報活用支援アドバイザー管理者会議	7月26日	東京都	—	斎藤絃一	(社)発明協会
大連商談会	8月22日～27日	大連市	—	小山康文	—
北東北活性化シンクタンク選定会議	10月28日	盛岡市	岩手県庁	斎藤絃一	—

◆企画情報部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
平成16年度特許流通アドバイザー管理者会議	5月13日	東京都	—	笹島正彦	(社)発明協会
日本生活支援工学会岩手大会座長	7月22日	盛岡市	ホテルメトロポリタンニューウイング	鎌田公一	日本生活支援工学会
岩手県溶接技術競技会検討会	8月6日	盛岡市	—	高橋幾久雄	岩手県溶接協会
研究開発推進会議WG会議	9月16日	盛岡市	岩手県庁	山本 忠	科学技術課
農芸化学会東北支部 評議会・大会	9月19日	盛岡市	岩手大学	山本 忠	農芸化学会東北支部
イーハトーブ地域連携フォーラム	11月1日	盛岡市	ホテルメトロポリタンニューウイング	遠山 良、鎌田公一、茨島 明	岩手大学地域共同研究センター
研究開発推進会議WG会議	11月4日	盛岡市	岩手県庁	山本 忠	科学技術課

◆電子機械技術部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
第1回「難加工材の微細超精密プレス技術とその応用製品の研究開発」推進委員会	6月30日	北上市	北上ワシントンホテル	和合 健	(株)北上オフィスプラザ
第2回「難加工材の微細超精密プレス技術とその応用製品の研究開発」推進委員会	12月14日	北上市	北上ワシントンホテル	和合 健	(株)北上オフィスプラザ
中小企業技術開発産学官連携促進事業産学官連携推進委員会	2月22日	盛岡市	工業技術センター	堀田昌宏、飯村 崇	工業技術センター
地域新生コンソーシアム研究開発事業「マイクロ成形機の開発とそれを活用した生産革新技術の研究」第2回研究会	2月23日	長野県上田市	日精樹脂工業(株)	和合 健	(株)北上オフィスプラザ
第3回「難加工材の微細超精密プレス技術とその応用製品の研究開発」推進委員会	3月17日	北上市	北上ワシントンホテル	和合 健	(株)北上オフィスプラザ
第1回「マイクロ成形機の開発とそれを活用した生産革新技術の研究」推進委員会	3月17日	北上市	北上ワシントンホテル	和合 健	(株)北上オフィスプラザ

◆特産開発デザイン部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
いわてユニバーサルデザインフェア	7月22～23日	盛岡市	マリオス	長嶋宏之	岩手県保健福祉企画室
住まいとエネルギーのフェスタ2004	9月3～5日	盛岡市	盛岡市アイスアリーナ	長嶋宏之	岩手県保健福祉企画室
マッチング会議	10月8日	盛岡市	工業技術センター	浪崎安治、八重樫貴宗	岩手県知的所有権センター
技能五輪共催企画	10月24日	盛岡市	いわて産業文化センター	長嶋宏之	岩手県労政能力開発課

◆材料技術部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
県境不法投棄現場の現状回復対策協議会	4月3日	二戸市	二戸地方振興局	佐々木秀幸、平野高広、藤原智徳	岩手県環境生活部
都市エリア産学官連携推進事業第3回発表会	4月3日	盛岡市	岩手大学	佐々木英幸、鈴木一孝	いわて産業振興センター
青森・岩手県境不法投棄現場の土壌汚染調査	5月17～19日	二戸市	県境不法投棄現場	佐々木秀幸、平野高広、藤原智徳	不法投棄緊急特別対策室
不法投棄物溶融スラグのコンクリート骨材への利用に関する研究推進会議	5月28日	盛岡市	岩手大学	佐々木秀幸、平野高広、藤原智徳	工業技術センター
北東北公設試技術連携会議「産業廃棄物処理共同研究可能性検討会」	6月3日	盛岡市	工業技術センター	佐々木秀幸、藤原智徳	工業技術センター
第1回いわて鑄造研究会	6月18日	水沢市	水沢鑄物技術交流センター	池 浩之、高川貫仁	いわて鑄造研究会
第6回都市エリア産学官連携促進事業研究発表会	8月5日	盛岡市	岩手大学	佐々木英幸、鈴木一孝	いわて産業振興センター
技能五輪全国大会岩手大会競技委員・競技補佐員研修会	8月25日	矢巾町	—	佐藤唯史	労政能力開発課
溶融スラグの利用に関する第2回研究推進会議	8月30日	盛岡市	岩手大学	佐々木秀幸	工業技術センター
第3回不法投棄物溶融スラグのコンクリート骨材への利用に関する研究推進会議	2月17日	盛岡市	岩手大学	佐々木秀幸、平野高広、藤原智徳	工業技術センター
地域研究開発促進拠点支援事業新技術フォーラムin盛岡	2月23日	盛岡市	ホテルメトロポリタンニューウイング	佐々木秀幸	いわて産業振興センター
中小企業技術開発産学官連携促進事業産学官連携促進委員会	2月22日	盛岡市	工業技術センター	佐々木英幸、池浩之、高川貫仁、佐藤唯史	東北経済産業局

◆醸造技術部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
東北6県酒造技術指導機関協議会	4月22日	仙台市	仙台国税局	桜井 廣	仙台国税局鑑定官室
東北6県酒造技術指導機関協議会	10月7日	仙台市	仙台国税局	桜井 廣	仙台国税局鑑定官室
全国酒造技術指導機関合同会議	10月14日	東京都	合同庁舎	中山繁喜	国税庁

◆食品技術部

名称	月日	開催地	会場	派遣職員名	依頼機関
岩手県麦・大豆等産地体制確立推進協議会麦部会	5月25日	盛岡市	エスポワールいわて	伊藤良仁、山口佑子、島津裕子	岩手県農産園芸課
東北地域バイオインダストリー振興会議通常総会	6月10日	仙台市	仙台ワシントンホテル	遠山 良	東北地域バイオインダストリー振興会議
岩手県産小麦現地検討会	6月23日	花巻市、北上市	花巻市内小麦圃場、岩手県農業研究センター	島津裕子、菊地淑子	岩手県農産園芸課
第2回東北米粉利用推進連絡協議会総会	7月8日	仙台市	仙台第2合同庁舎	遠山 良	東北米粉利用推進連絡協議会
雑穀大規模モデル実証圃現地検討会	7月13日	花巻市	(株)道奥、石鳥谷町八重畑地区圃場	遠山 良	岩手県流通課
いわての大豆を食べよう生産者と実需者との懇談会	7月14日	花巻市	志戸平温泉	遠山 良	岩手県流通課
大豆展示圃に係る現地中間検討会への参加	8月30日	江刺市、二戸市、東和	各地圃場	及川和志	岩手県農産園芸課
小果実類意見交換会	3月10日	盛岡市	盛岡手づくり村	小浜恵子	盛岡市
大豆試験展示圃に係る実績検討会および麦・大豆担当者会	3月11日	盛岡市	サンセール盛岡	伊藤良仁、山口佑子、島津裕子	岩手県農産園芸課

4 試験・設備利用業務

4-1 依頼試験

(単位:件,円)

試験・分析等項目	16年度 A		15年度 B		増減 A-B	
	件数	手数料額	件数	手数料額	件数	手数料額
燃料試験	162	507,400	131	367,430	31	139,970
窯業試験	31	154,360	57	209,290	△ 26	△ 54,930
非金属材料試験	73	128,800	60	126,600	13	2,200
金属材料試験	535	743,500	566	854,920	△ 31	△ 111,420
精密測定試験	63	257,100	128	475,140	△ 65	△ 218,040
金属組織試験	249	1,628,900	229	1,127,880	20	501,020
金属非破壊試験	61	155,700	1	3,460	60	152,240
鋳物砂試験	0	0	0	0	0	0
非金属総合試験・金属総合試験	110	1,121,350	88	1,001,790	22	119,560
木製材料試験	32	96,000	107	223,600	△ 75	△ 127,600
繊維及び繊維製品の物理試験	0	0	2	1,540	△ 2	△ 1,540
繊維及び繊維製品の化学試験	0	0	0	0	0	0
染色物耐光堅ろう度試験	0	0	0	0	0	0
染色物摩擦堅ろう度試験	0	0	0	0	0	0
染色物洗濯堅ろう度試験	0	0	0	0	0	0
比重測定試験	31	46,900	14	18,580	17	28,320
塗装・塗膜試験	117	872,100	905	1,625,190	△ 788	△ 753,090
電磁波測定試験	0	0	0	0	0	0
食品試験	18	93,360	86	340,490	△ 68	△ 247,130
定性分析	563	4,931,200	382	2,611,410	181	2,319,790
定量分析	765	3,785,200	1,000	3,993,560	△ 235	△ 208,360
加工	6	721,860	3	121,160	3	600,700
商業美術図案	34	611,930	10	235,530	24	376,400
図案および設計	3	133,890	9	998,840	△ 6	△ 864,950
情報検索	0	0	0	0	0	0
副本	26	10,400	29	8,700	△ 3	1,700
その他	32	74,320	29	8,700	3	65,620
合計	2,911	16,074,270	3,836	14,353,810	△ 925	1,720,460

4-2 設備利用

(1)施設使用

(単位:件、時間、円)

担当部	施設名	16年度 A					15年度 B					増減 A-B		
		単位	単価	件数	使用時間	使用料額	単位	単価	件数	使用時間	使用料額	件数	使用時間	使用料額
電子機械	電波暗室	1時間	10,000	73	416	4,160,000	1時間	8,140	100	539	4,387,460	△ 27	△ 123	△ 227,460

(2)機械器具貸付

(単位:件、時間、m、円)

担当部	機械器具名	16年度 A					15年度 B					増減 A-B		
		単位	単価	件数	使用時間等	貸付料額	単位	単価	件数	使用時間等	貸付料額	件数	使用時間等	貸付料額
電子機械技術	マイクロフォーカスX線装置					0		4,660	14	17	79,220	7	4	15,280
			4,500	25	25	112,500		4,500	4	4	18,000			
	CNCパイプバンダー					0		1,400	5	12	16,800	1	5	10,400
			1,600	7	20	32,000		1,600	1	3	4,800			
	高精度ワイヤ放電加工機					0		3,100	1	3	9,300	3	15	42,900
			2,900	7	29	84,100		2,900	3	11	31,900			
	CNC超精密鏡面加工機					0		4,000			0	0	0	0
			3,800					5,300	7	37	196,100			
	走査イオン顕微鏡					0		5,100	1	2	10,200	0	12	53,800
			5,100	8	51	260,100		5,100						
	3次元振動解析装置					0		1,600			0	0	0	0
			1,500					1,700	3	3	5,100	△ 4	△ 11	△ 17,100
	レーザー三次元測定器	1時間				0	1時間				15,000			
			1,500	1	2	3,000		1,500	2	10				
	ウォータージェット加工機										0	7	12	34,800
			2,900	7	12	34,800								
	表面粗さ等測定器							1,500	1	9	13,500	7	19	28,500
			1,500	8	28	42,000					0	2	8	2,400
	3成分動力計										0	2	8	2,400
			300	2	8	2,400					0	2	4	5,600
真円度測定機										0	2	4	5,600	
		1,400	2	4	5,600					0	2	8	6,400	
精密旋盤										0	2	8	6,400	
		800	2	8	6,400					0	33	132	712,800	
設計解析支援システム										0	33	132	712,800	
		5,400	33	132	712,800					0	1	2	3,200	
平坦度測定装置										0	1	2	3,200	
		1,600	1	2	3,200					0	1	1	200	
乾燥機										0	1	1	200	
		200	1	1	200					0				
熱衝撃試験器							1,330	180	1,424	1,893,920	△ 102	319	△ 499,520	
		800	89	1,993	1,594,400		800	11	250	200,000				
特産開発デザイン	仕上機械器具	1時間	3,400	37	138	469,200	m	140	44	4,360	610,260	△ 15	△ 4360	△ 239,660
							1時間	3,400	8	29	98,600		109	
	巾出乾燥機刷毛機械設備	1時間	1,400	1	2	2,800	m	50	5	103	5,125	△ 4	△ 103	△ 2,325
													2	
	乾燥刷毛蒸織設備	1時間	3,100			0	m	120	14	327	39,204	△ 15	△ 327	△ 42,304
							1時間	3,100	1	1	3,100		1	
	カード機		300	9	16	4,800		210	11	23	4,830	△ 2	△ 7	△ 30
			300			0		210	1	1	210	△ 1	△ 1	△ 210
	ホフマンプレス機							210	1	5	1,050	1	2	△ 1,050
	高速度ルーター			2	7	0		320	1	2	640	7	12	3,560
								300	1	1	300			
	ユニークサンダー		300	9	15	4,500		100	1	5	500	3	8	2,100
								200	1	1	200			
	ユニバーサルサンダー		200	5	14	2,800		50	1	3	150	7	20	4,450
			200	8	23	4,600		1,270	1	3	3,810	2	3	5,190
	フリーボール盤		1,500	3	6	9,000		800	8	10	8,000	7	11	8,800
	縦突きスライサー		800	15	21	16,800		2,000	1	6	12,000	△ 1	△ 10	△ 22,400
	スポンジングマシン					0		2,600	1	8	20,800			
	コンブウッド蒸気加熱システム					0		2,100	1	1	2,100	△ 1	△ 1	△ 2,100
			2,600	1	4	10,400		1,800	1	1	1,800			
	コンブウッド圧縮プレスシステム					0		1,500	3	12	18,000	2	10	14,600
			1,800	1	1	1,800		500	15	36	18,000	△ 9	△ 26	△ 12,000
	3次元データ入力装置	1時間				0	1時間				11,400			
			600	13	29	17,400		600	7	19				
	モデル作製支援装置							200	21	500	100,000	85	2000	400,000
			200	106	2,500	500,000		300	10	240	72,000			
	恒温恒湿器		300	50	1,200	360,000		500	34	272	136,000	6	688	152,000
耐候性試験機										0	1	20	20,000	
促進耐候性試験機		1,000	1	20	20,000									
商品性能試験用環境シミュレーション装置		2,700			0		4,540	1	8	36,320	△ 1	△ 8	△ 36,320	
					0		2,300							
製品解析用3次元モデル試作装置					0		(材料費別途加算)	39	249	713,140	△ 27	△ 267	△ 766,035	
		2,200	27				2,200							
		(材料費別途加算)		206	586,338		(材料費別途加算)	15	224	639,233				
恒温恒湿器					0		50	103	824	41,200	△ 103	△ 824	△ 41,200	
					0		210	1	2	420	△ 1	△ 2	△ 420	
高速面とり機					0		100	1	4	400	△ 1	△ 4	△ 400	
倣い木工旋盤					0		100	2	8	800	△ 2	△ 8	△ 800	
スクリーコンプレッサー					0									

岩手県工業技術センター業務年報(H16)

(単位:件、時間、m、円)

担当部	機 械 器 具 名	16 年 度 A					15 年 度 B					増 減 A - B			
		単位	単価	件数	使用時間等	貸付料額	単位	単価	件数	使用時間等	貸付料額	件数	使用時間等	貸付料額	
材料技術	ミグ半自動溶接装置		1,300			0		1,380	2	4	5,520	△ 2	△ 4	△ 5,520	
	プラズマ溶射装置		8,200			0		9,300	1	1	9,300	△ 1	△ 1	△ 9,300	
	熱分析装置					0		500	8	32	16,000	△ 3	△ 21	△ 9,400	
	メッキ膜厚測定装置		600	6	14	8,400		600	1	3	1,800				
	自動エリプソメータ		600	2	4	2,400		500	1	1	500	1	3	1,900	
	恒温槽付き引張試験機					0		500	7	7	3,500		9	9	6,100
	顕微FT-IR		600	19	19	11,400		600	3	3	1,800				
	X線回析装置		500	4	8	4,000		400	13	25	10,000	△ 10	△ 18	△ 6,500	
	走査型電子顕微鏡		1,000	37	83	83,000		1,000	27	60	60,000	10	23	23,000	
	オージェ表面解析装置		1,500	1	4	6,000					0	1	4	6,000	
	原子吸光分光光度計					0		600	12	69	41,400	△ 5	△ 47	△ 23,800	
	デジタル式微小硬度計		800	12	53	42,400		800	5	31	24,800				
	MAG半自動溶接機		4,500	12	68	306,000		4,300	6	17	73,100	6	51	232,900	
	衝撃試験装置(プラスチック)		1,200			0		1,100	3	5	5,500	△ 3	△ 5	△ 5,500	
	原子間力顕微鏡		400	1	2	800		200	3	8	1,600	△ 2	△ 6	△ 800	
	微小部X線回析装置		200			0		200			0	0	0	0	
	高周波プラズマ分析システム		700			0		700	3	5	3,500	△ 3	△ 5	△ 3,500	
	300KN精密材料試験機		2,600			0		1,700	1	2	3,400	△ 1	△ 2	△ 3,400	
	金属用光学顕微鏡		2,100	17	34	71,400		2,400	1	8	19,200	16	26	52,200	
	高せん断レオメーター		2,500	3	18	45,000		2,500	4	9	22,500	△ 1	9	22,500	
	蛍光X線分析装置		1,100	3	3	3,300					0	3	3	3,300	
	全自動接触角測定装置		600			0		500	1	2	1,000	△ 1	△ 2	△ 1,000	
	熱分析システム	1時間	1,200			0		1,300	2	12	15,600	△ 2	△ 12	△ 15,600	
	高速ガス溶射装置		2,300	36	122	280,600		2,400	9	17	40,800	24	99	226,000	
	YAGレーザー装置					0		2,300	3	6	13,800				
	フルエ変換核磁気共鳴装置		200			0		200	12	47	9,400	△ 16	△ 53	△ 11,800	
	高温ビッカース硬さ試験機		400	3	4	1,600		400	7	10	4,000				
	摩擦磨耗試験器					0		2,900	6	12	34,800	1	12	22,800	
	万能材料強度試験システム		2,400	10	37	88,800	1時間	2,400	3	13	31,200				
	超微小硬さ試験機		700	1	1	700		700	1	4	2,800	0	△ 3	△ 2,100	
	工業用X線透過検査装置		3,700			0		3,700	2	4	14,800	△ 2	△ 4	△ 14,800	
	炭素硫黄同時分析装置		5,000	4	22	110,000		5,000	1	3	15,000	3	19	95,000	
	ブリネル硬さ試験機		1,000	1	6	6,000					0	1	6	6,000	
発光分光分析装置		700	1	3	2,100					0	1	3	2,100		
電界放射型電子顕微鏡		1,800	4	4	7,200					0	4	4	7,200		
加圧雰囲気炉		600	2	5	3,000					0	2	5	3,000		
フローテスター		700	1	3	2,100					0	1	3	2,100		
低温恒温器		1,000	1	6	6,000					0	1	6	6,000		
電気熱風乾燥炉		700	1	3	2,100					0	1	3	2,100		
精米試験機		1,800	4	4	7,200					0	4	4	7,200		
GC質量分析装置		600	2	5	3,000					0	2	5	3,000		
ミニ精米機(30kg)		700	1	3	2,100					0	1	3	2,100		
熱風循環式精密高温乾燥機		2,400	1	1	2,400					0	1	1	2,400		
味認識装置		200	2	2	400					0	2	2	400		
自動製麹機(120kg)		1,100	1	2	2,200					0	1	2	2,200		
マッフル炉		4,000	1	2	8,000					0	1	2	8,000		
食品加圧試験装置		1,100	1	3	3,300		2,000			0	1	3	3,300		
蛍光イメージアナライザー					0		200	2	11	2,200	△ 2	△ 11	△ 2,200		
物性試験システム					0		100	3	24	2,400	△ 3	△ 24	△ 2,400		
合計		300			0		210			0	0	0	0		
総計		300	1	4	1,200		300	1	4	1,200	△ 1	△ 4	△ 1,200		
		1,200	1	3	3,600					0	1	3	3,600		
					0		200	2	14	2,800		19	10,400		
		400	5	40	16,000		400	1	7	2,800	2	19	10,400		
		300	5	30	9,000					0	5	30	9,000		
		600	1	6	3,600					0	1	6	3,600		
		1,500	13	120	180,000		900			0	13	120	180,000		
		300			0		300	3	60	18,000	△ 3	△ 60	△ 18,000		
		900	29	30	27,000		900	28	35	31,500	1	△ 5	△ 4,500		
		800	1	4	3,200		800	8	32	25,600	△ 7	△ 28	△ 22,400		
		500	12	52	26,000					0	12	52	26,000		
		計	737		6,292,838			783		5,652,452	△ 46		640,386		
		計	810		10,452,838			883		10,039,912	△ 73		412,926		

注) 平成16年1月5日付けで機器貸付料金を改定したため、一部の同一機器で複数の単価設定となっている。

5 人材養成業務

5-1 中小企業開発能力強化推進事業(略称:テクノブリッジ推進事業)

(1) 長期共同研究

【事業概略】 製品開発・技術革新のために岩手県工業技術センターに約1年間技術者を派遣して、設備機器を利用し研究員のアドバイスを受けながら共同研究を行います。

No.	研修生氏名	所属	担当部	担当者
1	小笠原 裕	盛岡セイコー工業(株)	電子機械技術部	泉田福典
2	中屋敷 利幸	(株)ミクニ盛岡事業所		和合健
3	照井 琢磨	(株)アイカムス・ラボ		齋藤裕之
4	中村 吉信	(株)でん		長谷川辰雄
5	井上 研司	(株)東光舎		飯村 崇
6	熊谷 和彦	(株)東北パワープロジェクト		齋藤裕之
7	工藤 登良	協同組合岩手木工センター	特産開発デザイン部	浪崎安治
8	青木 俊樹	サンポット(株)		東矢恭明
9	松田 隆至	(社)日本塗装工業会岩手県支部		穴沢 靖
10	加藤 明美	(株)サトーライン		穴沢 靖
11	及川 雄	(有)藤里木工所		八重樫貴宗
12	和田 清美	いわて銀河系環境ネットワーク		浪崎安治
13	小田島 勇	浄安森林組合		町田俊一
14	及川 敬一	(株)及精鑄造所		長嶋宏之
15	中家 正一	大野村産業公社	小林正信	
16	升屋 正人	(株)小西鑄造	材料技術部	池 浩之
17	岩崎 隆	横河電子機器(株)盛岡事業所		池 浩之
18	小岩 哲也	(有)三協金属		池 浩之
19	三浦 敬	(株)岩手東京ワイヤー製作所		高川貫仁
20	赤石 晃	ユニカ(株)		桑嶋孝幸
21	鈴木 高弘	岩手ニッカ(株)		桑嶋孝幸
22	及川 幸男	盛岡東京電波(株)久慈工場		鈴木一孝
23	高橋 信一	(株)環境保全サービス		佐々木秀幸
24	藤原 正樹	岩手建工(株)		佐々木秀幸

No.	研修生氏名	所属	担当部	担当者
25	斎 聖一	(株)東亜電化	材料技術部	佐々木英幸
26	太田 利夫	(株)釜石電機製作所		桑嶋孝幸
27	松尾 俊司	盛岡東京電波(株)盛岡工場		鈴木一孝
28	晴山 英子	イーエヌ大塚製薬(株)	醸造技術部	中山 繁喜
29	佐藤 航	世嬉の一酒造(株)		米倉 裕一
30	木村 剛	(有)ベアレン醸造所		米倉 裕一
31	和田 工 山本 恭子	海拓舎(株)	食品技術部	小浜恵子
32	金野 勝久	(株)大和化成研究所 釜石工場		小浜恵子
33	小田島 真弓	北館製麺(株)		遠山良 小浜恵子
34	伊藤 大輔	(株)岩手畜産流通センター		岸敦

(2) 短期共同研究

【事業概略】 技術的な問題解決を目的とします。岩手県工業技術センターに約1ヶ月間技術者を派遣して、設備機器を利用しながら共同研究を行います。

No.	研修生氏名	所属	担当部	担当者
1	鄭 鋼	(株)ニュートン	電子機械技術部	和合 健
2	山越 亘	(株)ミクニ ライフテック事業部		飯村 崇
3	津志田 貴文	美和ロック(株)盛岡工場		和合 健
4	及川 孔壘	(株)松栄工機		飯村 崇 佐藤唯史
5	坂下 勝吾	宮古ボード工業(株)	特産開発デザイン部	東矢恭明
6	花岡 良城	(株)シオン		浪崎安治
7	谷藤 晋一	(株)コーンズ・エージー東北営業所		八重樫貴宗
8	菊池 邦吉	江刺民芸工房		八重樫貴宗
9	里館 尚	里工房		小林正信 東矢恭明
10	高橋 龍三	葛巻林業(株)		浪崎安治
11	安ヶ平 加奈子	滴生舎		八重樫貴宗
12	金野 里美	ありすや		長嶋宏之
13	久田 慶 白川 ゆかり	イーエヌ大塚製菓(株)	材料技術部	三浦利通 藤原智徳
14	工藤 勝機	工藤工房		高川貫仁
15	岩清水 康二	南部鉄器協同組合		高川貫仁
16	谷地 孝	東日本機電開発(株)		平野高広
17	青木 康浩	(株)南部美人	醸造技術部	中山繁喜 桜井 廣
18	関口 真也	(株)岩手川		桜井 廣
19	吉田 貴浩	(有)紫波フルーツパーク		米倉裕一
20	細川 益嗣	廣田酒造店		畑山 誠
21	平野 忠衛	(有)平留商店		桜井 廣
22	栗林 稔	イーエヌ大塚製菓(株)	食品技術部	小浜恵子
23	高橋 昌幸	(株)湯田産業公社		山口佑子 伊藤良仁
24	高橋 昌幸	(株)湯田産業公社		伊藤良仁 山口佑子
25	佐々木 邦彦	晴耕農人舎		武山進一
26	武山 照愿	グリーンベル		島津裕子
27	本間 真彦	(株)菜花堂		武山進一

No.	研修生氏名	所属	担当部	担当者
28	鹿糠 久助 古舘 機智男	味蓄社	食品技術部	遠山 良 小浜恵子
29	吉田 聡	昭産商事(株)盛岡支店		武山進一
30	佐藤 夏史	イーエヌ大塚製菓(株)		岸 敦 小浜恵子

5-2 アドバンストORT事業

【事業概略】 高度技術者育成研修の略称。既に技術者研修の経験のある者を対象に、より高度な技術や最先端の技術に係る研修及び技術開発を工業技術センターと企業現場で行います。

No.	研修生氏名	所属	担当部	担当者	期間
1	伊藤 達也	伊藤工作所	電子機械技術部	園田哲也	6月15日～3月31日
2	大和田 功	(有)イグノス		長谷川辰雄	6月15日～3月31日
3	今野 貴史	日本電炉(株)東北ガルバセンター	材料技術部	桑嶋孝幸	6月15日～3月31日
4	遠藤 俊哉	(株)ティアンドケー		鈴木一孝	6月15日～3月31日

5-3 研修生受入

No.	研修生氏名	所属	研修内容	担当者	期間
1	佐々木 崇	岩手大学工学部	小型2ストローク機関のシリンダ摩耗特性に関する調査	堀田昌宏	6月12日～3月31日
2	齋藤浩美	岩手大学工学部	電子回路製作及び電子材料解析	遠藤治之	8月25日～9月8日
3	菅原 睦	岩手大学工学部	微小穴開けプレスに関する金型成形技術の開発	和合 健	6月1日～3月31日
4	佐藤裕也	岩手大学工学部	鋳鉄粉末を活用した表面改質技術	桑嶋孝幸	5月1日～3月31日
5	稲吉慎一	岩手大学工学部	トリアジンチオールを用いるアルミニウムとPPS樹脂の直接接着	佐々木英幸	5月17日～3月31日
6	佐藤 嘉	岩手大学工学部	放電プラズマ焼結(SPS)法による焼結体の作製	齋藤 貴	4月1日～3月31日
7	馬場由美	岩手大学工学部	多孔質金属焼結体の作製	齋藤 貴	4月1日～3月31日
8	澤山拓海	岩手大学工学部	Co-Cr-Mo合金の磁気測定	齋藤 貴	4月1日～3月31日
9	熊谷和重	岩手大学工学部	高機能高安全性生体用コバルト基合金の創製と評価	小野 元	6月1日～3月31日
10	大畑素子	岩手大学教育学部	酵母の香り成分調節機構解明	小浜恵子	4月1日～12月22日
11	田代淳一	盛岡セイコー工業(株)	技能検定実技試験の射出成型機使用方法及び成型技術の習得	佐々木英幸	7月1日～12日
12	藤戸孝幸				
13	佐藤修二				
14	堀川春男				
15	日當幸雄				
16	谷口真理	岩手大学工学部	誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP)の使用法	藤原智徳	8月2～13日
17	沼宮内勇二	岩手大学	ワイヤ放電加工、機械加工、ウォータージェット加工、研削加工について	米倉勇雄	8月23～27日
18	高松 舞	岩手大学	環境関連技術の習得	佐々木秀幸	8月30日～9月3日
19	熊谷聡子	いわて産業振興センター	高度技術者起業化支援事業の分析、資料作成、データ整理	山本 忠	1月17～31日

5-4 高度技術者起業化支援事業(工業技術センター発ベンチャー)

本事業は、民間経験と高い技術力のある人材を県内外から公募し、市場ニーズに沿った実用化技術と民間企業への技術移転を推進し、研究開発型企业への起業化を育成支援するものです。
今年度から事業を開始し、公募により決定された以下の2テーマについて、H16～17年度の2ヵ年で実施します。

No.	研修生氏名	研修内容	担当者	期間
1	原田善之	硼化物超伝導体を用いた超伝導デバイスの開発	遠藤治之	5月17日～3月31日
2	大宮忠仁	乾式トリアジンチオール皮膜を用いる金型の離型技術	鈴木一孝	5月17日～3月31日

① H16実績

県内で起業を目指す技術者2名を受入、H16.6から事業開始

○ 原田氏: 硼化物超伝導体を用いた超伝導デバイスの開発
SQUID等への応用技術を確立、国際特許出願予定

○ 大宮氏: 乾式トリアジンチオール皮膜によるモールド金型の離型性改善
モールド成形電子部品用金型の長寿命化を目指し成膜研究中

② H17計画

起業パートナーとユーザ確保のための産産連携、制度資金導入による研究と事業化の支援

○ 原田氏: デバイス試作とユーザによる評価、海外展開検討
○ 大宮氏: 実製品による耐久性試験と品質保証技術の確立

※経営面については(財)いわて産業振興センターが支援

6 情報提供業務

6-1 定期刊行物の発行

(1) 研究報告第11号 <2004(平成16)年度版> … 300部

掲載テーマ数:31

平成15年度に工業技術センターで実施した研究の論文集「工業技術センター研究報告第11号」をデジタルデータとしてCD-ROM版で刊行した。(平成16年8月発行)

(2) 平成15年度業務年報 … 300部

平成15年度に実施した工業技術センター業務について取りまとめた。今回からデジタルデータとし、上記研究報告CD-ROMに収録、刊行した。(平成16年8月発行)

(3) 技術情報誌 … 3,500部

年1回発行。No.22(平成16年4月発行)

【内容】

○ご利用ください、県工業技術センターを！ … 岩手県工業技術センター所長 斎藤紘一

○依頼試験等に関わる料金改定のお知らせ

○組織変更のお知らせ

○プロジェクト研究一覧

○研究員紹介 … 特産開発デザイン部 町田俊一、材料技術部 鈴木一孝、池 浩之

○平成15年度導入設備の概要

○研究成果の紹介

○知的所有権センターのお知らせ

○職員名簿・人事異動

6-2 技術情報のオンライン検索

科学技術文献情報(JOIS) … 10件

6-3 特許情報等の提供

工業技術センター内の知的所有権センターでは、「特許電子図書館専用回線端末機器」を設置し、工業所有権情報の閲覧、提供を行っています。

(1) 利用者数

特許電子図書館	CD-ROM公報	紙媒体公報(特許・実用)	紙媒体公報(意匠・商法)	索引・抄録等	合計
580人	0人	0人	0人	0人	580人

(2) 文献閲覧物複写状況

[(社)発明協会岩手県支部委託] … 1,660枚

6-4 知的所有権センター

特許情報の有効活用を促進するため、岩手県知的所有権センターでは、平成16年度において次の事業を実施した。

(1) 相談・指導

(a) 知的所有権アドバイザー相談会(年12回)

開催日	開催場所	件数	開催日	開催場所	件数
16. 4.23	岩手県工業技術センター	3	16.10.14	遠野地方振興局	2
16. 5.13	岩手大学地域連携推進センター	1	16.11.11	(財)釜石・大槌地域産業育成センター	2
16. 6.10	商工会連合会北部広域指導センター	2	16.12. 8	花巻市起業化支援センター	5
16. 7.15	千厩地方振興局	2	17. 1.19	北上市基盤技術支援センター	4
16. 8.11	久慈地方振興局	2	17. 2. 9	水沢市鋳物技術交流センター	3
16. 9. 9	宮古地方振興局	6	17. 3. 3	(財)岩手県南技術研究センター	3
合 計(件)					35

(b) 相談内容

No.	相談内容	件数
1	特許の基本について	5
2	特許出願手順について	13
3	特許の抵触問題について	1
4	特許の調査について	4
5	実用新案の登録について	1
6	商標の基本について	4
7	商標の登録について	6
8	著作権について	1
合 計(件)		35

(2) 情報提供

(a) 特許電子図書館(IPDL)端末機利用実績

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
インターネット端末機	24	20	18	13	21	8	7	15	4	4	7	5	146

(b) 特許電子図書館(IPDL)指導実績

(単位:件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
センター指導	22	18	20	22	13	15	14	23	11	14	19	23	214
訪問指導	5	9	8	9	8	10	12	10	5	9	7	8	100
講演会・説明会	0	3	6	6	3	3	1	2	5	4	4	0	37
普及啓発	10	1	18	9	6	2	2	2	5	5	5	5	70

(3) 流通支援

(a) 実績一覧

(単位:件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特許仲介件数	10	16	9	6	7	7	5	8	7	9	2	1	87
特許流通説明会	回数	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
	人数	83	0	0	0	41	0	0	0	0	0	0	124
企業等訪問件数	5	8	17	5	12	12	12	12	12	16	8	2	121

(b) 特許流通成立案件

実施権許諾契約件数 9件

オプション契約 0件

(c) 岩手県知的所有権センター印刷物

岩手県知的所有権センターだより第8号(平成16年3月) …… 3,000部

6-5 広報活動

(1) 研究成果発表会

【日 時】平成16年4月23日(金) 12:00～17:00

【会 場】岩手県工業技術センター

【参加人数】104名 (内訳:企業等43名, 支援機関18名, 大学等3名, 県市町村37名, マスコミ3名)

【内 容】○ポスターセッション (交流ホール、コミュニケーションプラザ)

◆平成15年度に実施した研究の成果をポスターで発表。

○基調講演

◆「岩手でのものづくり戦略 ～企業が元気になるために！～」

(東京電波(株) 代表取締役社長 熊谷秀男氏)

○口頭発表 (6テーマ, 発表15分, 質疑5分)

◆食器 (漆器、木製品、陶磁器) へのユニバーサルデザインの導入

(特産開発デザイン部 東矢恭明)

◆廃棄サーメットを利用した高温耐久性材料の開発 (材料技術部 池 浩之)

◆高温耐久性材料の機械加工特性 (電子機械技術部 堀田昌宏)

◆産業廃棄物の無害化と有効利用 (材料技術部 佐々木秀幸)

◆ひえ味噌の製造法の確立 (醸造技術部 畑山 誠)

◆麴を利用した新規食品の開発 (食品技術部 伊藤良仁)

○企業発表 (2テーマ, 発表15分, 質疑5分)

◆理美容鋏の切れ味の定量化 ((株)東光舎岩手工場 井上研司氏)

◆サケ白子の有効利用とDNA製品の高品質化

((株)大和化成研究所釜石工場 金野勝久氏)

【その他】○特許等相談会(13:00～17:00、地域融合化センター)

○技術相談会(13:00～17:00)

(2) 一般公開

【日 時】平成16年10月1日(金)～2日(土) 10:00～17:00

【来所者数】851名(1日:263名, 2日:588名)

【内 容】○プロジェクト研究紹介(玄関ロビー周辺に配置)

木質バイオマス、ユニバーサルデザイン、県境産廃、ZnO、食品(もち米ペースト+青まる君)
(以下の1～5として展示、試食)

○展示、実演コーナー(試験研究機器紹介、加工機械等実演、試食試飲等)

No	ジャンル	コーナー
1	見る・さわる	岩手の森のきれいなエネルギー
2	さわる	使いやすさをデザインする
3	見る	県境産業廃棄物を溶かす
4	見る	岩手から世界へ～酸化亜鉛の可能性～
5	食べる	岩手の恵みを食す
6	見る	計る・測る・量る
7	見る	知的所有権センター紹介
8	撮る	一瞬をとらえる
9	食べる	おいしい岩手を食べてみよう
10	つくる	溶かして固めてプラスチック
11	見る・つくる	レーザーで彫る
		木に形をはめ込む
12	つくる	あなたも鋳物職人

○共催行事等

1) 第40回岩手県発明くふう展((社)発明協会岩手県支部共催)

県内の児童・生徒・一般の作品(約150点)を展示

県立盛岡工業高等学校の”ロボット”の展示・実演。

岩手大学教育学部教育技術科の”風車”の展示・実演

2) 盛岡少年刑務所製品の展示販売(協賛:盛岡少年刑務所)

3) 学校法人スコール・スコール事業部製品販売(協賛:学校法人スコール・スコール事業部)

○その他

・スタンプラリーとアンケート回答者には記念品を贈呈(エコポットまたは梟型文鎮)

・手荷物入れとして生分解性プラスチックによるポリ袋を配布

【アンケート結果】(626通回収)

質問事項	選択肢	人	%
あなたは？	幼児	41	6.5
	小学生	160	25.6
	中学生	12	1.9
	高校生	25	4.0
	大学生	16	2.6
	一般	370	59.1
何で知った？	ポスター	139	22.7
	チラシ	51	8.3
	テレビ/ラジオ	40	6.5
	新聞	10	1.6
	HP/メール	39	6.4
	その他	333	54.4
印象？	良い	424	72.0
	やや良い	113	19.2
	普通	51	8.7
	やや悪い	1	0.2
	悪い	0	0.0
何回目？	初めて	413	67.4
	2回目	100	16.3
	3回目以上	100	16.3
どこから？	盛岡市内	396	63.3
	滝沢	30	4.8
	矢巾	16	2.6
	紫波	17	2.7
	他盛岡圏	13	2.1
	岩手中部圏	46	7.3
	胆江圏	73	11.7
	両磐圏	15	2.4
	気仙圏	10	1.6
	釜石圏	3	0.5
	宮古圏	1	0.2
	久慈圏	1	0.2
	二戸圏	0	0.0
	県外	2	0.3
	その他	21	3.4

(3) 外部展示会等での成果発表

・第9回イーハトーブの科学と技術展

- 【日 時】平成16年8月28日(土)～29日(日) 10:00～19:00(29日は17:00)
- 【会 場】イオン盛岡ショッピングセンター 2階イオンホール
- 【主 催】岩手大学地域連携推進センター、岩手大学、岩手ネットワークシステム(
- 【後 援】岩手県、岩手県教育委員会、岩手県工業技術センター、盛岡市他
- 【来場者数】2,543名(28日:996名 29日:1,547名)
- 【内 容】○センター紹介手づくりビデオ上映
 - 研究成果パネル展示
 - ペレット燃料、小型箏「和音(かずね)」の展示
 - 「もち米ペースト入り青まる君寄せ豆腐」の試食

・第39回水沢市産業まつり(工業展)

- 【日 時】平成16年10月23(土)～24日(日) 9:00～16:00
- 【会 場】水沢市体育館
- 【主 催】水沢市
- 【来場者数】40,000人強(主催者側から聴取)
- 【内 容】○業務紹介パネル展示
 - 鋳物あるいは鋳造技術に関する成果パネル展示
 - 家庭用ペレットストーブ(市販予定の実物)展示

(4) 成果の新聞等への掲載

No.	誌名	掲載月日	見出し等
1	岩手日報	平成16年4月4日	県境産廃不法投棄 廃棄物を路盤材に 県工業技術センター 有効活用へ応用実験
2	東京新聞	平成16年4月5日	環境にやさしい みんなでエコ社会 ペレットストーブ家庭に 岩手県が開発、普及
3	東奥日報	平成16年4月25日	県境産廃を建材に 岩手県工技センター、大太平洋金属(八戸)と研究 「安全確保し再利用」
4	盛岡タイムス	平成16年4月27日	岩手が持つ技術を 世界にないものを作ろう 地域ハンディは存在しない 工業技術センター発表会 熊谷社長(東京電波)が講演
5	岩手日報	平成16年5月14日	伝統工芸に実用性 滑りにくい漆器のわん 飲みやすい磁器カップ 県工業技術センターが研究 中小企業の販拡支援へ
6	朝日新聞	平成16年5月27日	いわて自然力 新エネルギー事情 木質バイオマス 安さ魅力、灰回収に課題
7	日本経済新聞	平成16年6月9日	研究者公募 起業で連携 超電導と金型改良 3年で事業化へ 岩手県工業技術センター 設備や蓄積活用 いわて産業振興センター 事業計画を支援
8	岩手日報	平成16年7月4日	「岩手に生まれて良かった」を実感してください。 サンポット「いわて型ペレットストーブ[家庭用]」新発売。
9	日本経済新聞	平成16年7月9日	岩手が一番のものを選ぶ
10	岩手日報	平成16年8月11日	いわて型チップボイラー 開発状況、盛岡で説明会
11	岩手日報	平成16年8月27日	期待膨らむ木製発酵槽 低コスト、林業振興、牛舎暖房 県機関など試作 来秋製品化へ
12	盛岡タイムス	平成16年8月29日	最先端の科学に触れる イオン盛岡SC会場に 岩手大学などブース
13	岩手日報	平成16年9月2日	県境産廃不法投棄 環境再生実現へ相互協力の協定 岩手大と県が締結
14	岩手日報	平成16年9月3日	電子自治体化へ連携
15	岩手日報	平成16年9月8日	「いわて型家庭用ペレットストーブ」 開発チームの技術者 高橋弘美さん
16	岩手日報	平成16年9月9日	県境産廃現場の環境再生 岩手大と県が協定
17	日本経済新聞	平成16年9月9日	県境の産廃 岩手大、県と共同研究 相互協力協定 早期に環境再生
18	盛岡タイムス	平成16年9月11日	産廃撤去へ相互協力 県と岩手大学 土壌浄化など研究
19	盛岡タイムス	平成16年9月17日	冷夏暖冬を乗り越え 県清酒鑑評会で太鼓判
20	盛岡タイムス	平成16年9月19日	工房まつりが開幕 盛岡手づくり村を会場に
21	岩手日報(夕刊)	平成16年9月27日	味噌、醤油の仕込みに挑戦
22	岩手日報	平成16年10月2日	自慢の雑穀 焼酎に変身 軽米で試飲会 本年度内の発売目標 飲みやすい風味が好評

No.	誌名	掲載月日	見出し等
23	盛岡タイムス	平成16年10月5日	県工業技術センターを一般公開
24	読売新聞	平成16年10月5日	県境産廃原状回復へ 県と岩大 研究協力 土壌浄化方法など…「負の遺産をプラスに」
25	盛岡タイムス	平成16年10月6日	いわて型ペレットストーブ グッドデザイン賞 県工業技術センター サンポット共同開発
26	日本経済新聞	平成16年10月7日	グッドデザイン賞 ペレット燃料のストーブが受賞 サンポットなど開発
27	岩手日報	平成16年10月7日	グッドデザイン賞受賞 いわて型ペレットストーブ 関係者、普及へ弾み期待
28	岩手日報	平成16年10月7日	岩手色のメダル 技能五輪推進協 伝統技術用いて作製
29	読売新聞	平成16年10月16日	メダルに南部鉄器 22日から県内初開催 技能五輪全国大会
30	岩手日報(夕刊)	平成16年10月25日	みそ・しょうゆ作りに挑戦 日報カルチャースクール
31	盛岡タイムス	平成16年11月15日	耐久性備えた無機塗料 県工業技術センターが開発 環境に配慮し作業性向上 雫石町で実用試験を開始
32	岩手日報	平成16年11月25日	岩手の冬 すぐ暖かく 盛岡の業者ら 新型チップボイラー開発 着火時間を大幅短縮 小型化で利用手軽に
33	盛岡タイムス	平成16年11月25日	まず人材育成 県工業クラブ 産業振興で県に要望 酒井県部長招き懇談
34	岩手日報	平成17年1月21日	新素材 一戸で量産へ 青色LED 製造コストを半減 県も産業集積支援
35	岩手日報(夕刊)	平成17年1月21日	将来有望な工業用新素材 高分子DNA サケ白子から抽出 安価で提供可能 新産業創出に期待 県と釜石の民間研究所
36	岩手日報	平成17年1月22日	酸化亜鉛素材のLED利点強調 盛岡で東北大川崎氏
37	岩手日報	平成17年1月27日	民宿経営者らどぶろく造り 免許取得へ技術研修会
38	盛岡タイムス	平成17年1月27日	うまいどぶろく作ります 免許取得目指して 観光業者ら研修会
39	岩手日報	平成17年1月29日	藻礁で育て 海の幸 家畜排せつ物+間伐材 アワビ・ウニ生産向上図る 広田湾でNPO実験
40	岩手日報(夕刊)	平成17年2月2日	ユニバーサルデザイン みんなが快適に 漆器開発、商品化へ 県工業技術センター 県内4社と
41	盛岡タイムス	平成17年2月7日	磯焼け解消へ 人口藻礁沈設 広田湾に

No.	誌名	掲載月日	見出し等
42	河北新報	平成17年2月8日	酸化亜鉛で産業創出へ 単結晶の世界的トップ企業立地 LED基板やセンサーに応用期待 産学官、高まる開発熱
43	岩手日報	平成17年2月12日	県お勧め小麦 お味はいかが 盛岡でめん試食会
44	岩手日報	平成17年2月13日	県境産廃活用に道 溶融後の塊、建設資材に 県工業技術センター・岩手大 製品化へ研究
45	岩手日報	平成17年2月23日	表彰状は豪華安比塗 岩手りんごう国体 特産化の工芸PR
46	岩手日報	平成17年2月24日	岩手型チップボイラー完成 県と企業共同開発 4月から全国発売 炉の中で乾燥させ燃焼
47	盛岡タイムス	平成17年2月25日	岩手型ボイラーが完成 木質バイオマスを燃料に 官民で共同開発
48	盛岡タイムス	平成17年3月1日	紫波町産ワインは合格点 開発研究会 山梨大副学長を招く
49	日刊工業新聞	平成17年3月15日	産業の基幹技術として重要な役割を担う溶射技術 循環型社会のモノづくりにおける溶射技術の役割と変遷 大阪大学接合科学研究所教授 大森明
50	岩手日報	平成17年3月17日	卓上コンロ用板状木炭 県産原料で商品化 準備が容易、火力は安定 久慈の西塚商店
51	盛岡タイムス	平成17年3月20日	知事賞には「南部美人」 県新酒鑑評会開く
52	日本経済新聞	平成17年3月24日	木材 防火処理費2割削減 岩手県林業技術センター 県産の需要増狙う
53	盛岡タイムス	平成17年3月24日	県産材で不燃材開発 県林業技術センター 西口複合施設に第1号
54	岩手日報	平成17年3月26日	県工業技術センター 06年度から独立法人化 企業対応、迅速に
55	盛岡タイムス	平成17年3月30日	「調和のとれた香味」 県新酒鑑評会 表彰式でレベルを評価

(5) 所内見学者

団体数 (団体)	県内	24	見学者数 (人)	県内	313
	県外	8		県外	40
	小計	32		小計	353

(見学者一覧)

見学月日	団体等名 (敬称略)	人数
平成16年6月1日	岩手県立大学 総合施策学部	3
平成16年6月18日	いわて銀河系環境ネットワーク	20
平成16年6月23日	岩手町商工会工業部会	4
平成16年7月8日	新任税務職員研修	16
平成16年7月13日	資源循環型地域産業推進事業調査員研修	4
平成16年7月13日	東北経済産業局	2
平成16年7月21日	東北農業研究センター 新採用職員研修	5
平成16年7月29日	全国高等学校林業教育研究協議会	15
平成16年7月29日	兵庫県商工労働局 黒岩局長 兵庫県工技センター次長他	4
平成16年8月3日	コージェネ研究会定例会	21
平成16年8月3日	久慈地区企業見学会(久慈地方振興局主催)	16
平成16年8月4日	岩手大学 インターンシップ学生(科学技術課引率1名)	1
平成16年8月25日	特産品をつくる会(宮古市役所)	16
平成16年9月13日	東京大学工学部教授 金田氏 (独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 金属資源技術研究所 副所長 細井様	2
平成16年9月15日	花巻北高校 生徒	9
平成16年10月8日	みやこ工芸の会	16
平成16年10月18日	青笹町食生活改善推進員	13
平成16年11月4日	西根町 平笠小学校	6
平成16年11月5日	盛岡工業高校 電子機械科	38
平成16年11月11日	一関一高 理数科	31
平成16年11月30日	大連理工大学 林安西教授他 岩手大学 堀江教授他	6
平成16年12月3日	岩手県建築士会盛岡支部 女性委員会	12
平成16年12月3日	産業技術短期大学校 水沢校 生産技術科	8
平成16年12月16日	市町村研修職員視察研修	17
平成17年1月17日	杭州市関係者	9
平成17年1月18日	宮城県広域連携担当職員	2
平成17年1月20日	日本技術士会 東北支部	5
平成17年2月25日	福島県原町市役所及び福島大学教授末吉様	4
平成17年3月2日	青森県内商工会議所所員	10
平成17年3月4日	盛岡工業高校 工業化学科 生徒	38
	合計	353

(注) 上記は文書もしくは口頭にて事前に見学申し込みのあったもの。

(6) 来所者

月別集計表

(単位:人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
586*1	446	718	626	565	687	1481*2	791	732	658	627	482	8,419	H15実績 8,065 (104%)

(注) 前項の所内見学者数を含まず。

*1 研究成果発表会来訪者(104名)を含む。

*2 一般公開の来所者(851名)を含む。

主な来所者(個別企業様は除く)

来所月日	来所者所属氏名等
平成16年4月14日	東北大学 教授 両角和夫氏 他3名
平成16年4月14日	関東自動車工業(株) 代表取締役社長 内川 晋氏 他1名
平成16年4月20日	(財)日本品質保証機構ISO東北事務所長 齋藤一郎氏
平成16年4月23日	東京電波(株) 代表取締役社長 熊谷秀男氏
平成16年4月23日	富士通(株) 岩手工場長 田端 晃氏
平成16年5月12日	陸前高田市産業部長 伊藤氏 他1名
平成16年6月23日	岩手町商工会工業部会長 府金氏 他3名
平成16年7月13日	経済産業局地域経済部産業技術課 特許室長 船越利彦氏 他1名(7/13)
平成16年8月30日	中小企業大学校(中小企業金融公庫 調査役) 清松氏 他1名
平成16年10月13日	岐阜県議会議員「県土整備委員会」様 10名
平成16年11月5日	中小企業金融公庫 盛岡支店長 藤本氏
平成16年11月11日	経済産業省地域経済産業グループ 課長 長谷川氏 他3名
平成16年12月15日	東京都立産業技術研究所 副所長 鈴木氏 他2名
平成16年12月21日	北海道立工業試験場 研究参事 鴨田氏 他2名
平成17年1月11日	水沢鋳物工業協同組合 理事長 及川 敬氏
平成17年1月25日	中国医科大学 教授 金氏 他1名
平成17年2月16日	経済産業省中小企業庁技術課 課長補佐 小松様 他2名
平成17年3月9日	(財)日本経済研究所 副所長 片桐氏
平成17年3月11日	ノースカロライナ州 ラスキン社 (JETRO招聘)

7 その他の業務

7-1 産業技術連携推進会議

◆電子機械技術部

名 称	開催月日	開催地	開催場所	出席職員	開催機関
情報・電子部会 春季東北・北海道地域部会	5月20日	仙台市	東北経済産業局	米倉勇雄、泉田福典	青森県工業総合研究センター
機械金属部会 春季東北・北海道地域部会	6月2日	仙台市	産業技術総合研究所東北センター	堀田昌宏	山形県工業技術センター
情報・電子部会 総会	6月17～18日	滋賀県草津市	クサツエストピアホテル	長谷川辰雄	滋賀県工業技術総合センター
情報・電子部会 秋季東北・北海道地域部会	10月14～15日	八戸市	ウエルサンピア八戸	長谷川辰雄	青森県工業総合研究センター
知的基盤部会 計測分科会	10月28-29日	長崎県	ホテルセントヒル長崎	和合健	独立行政法人産業技術総合研究所

◆特産開発デザイン部

名 称	開催月日	開催地	開催場所	出席職員	開催機関
物質工学連合部会 デザイン分科会	6月24～25日	富山市	ホテルニューオータニ高岡	町田俊一	富山県工業技術センター
東北・北海道地域部会	9月16～17日	札幌市	道立・道民活動センターかでの2・7	東矢恭明	北海道立工業試験場

◆材料技術部

名 称	開催月日	開催地	開催場所	出席職員	開催機関
物質工学会 東北・北海道地域部会	5月13日	仙台市	産業技術総合研究所東北センター	佐々木英幸	北海道工業試験場
機械金属部会 東北北海道地域部会	6月2日	仙台市	産業技術総合研究所東北センター	池 浩之	産業技術総合研究所東北センター
物質工学会 第11回表面技術分科会	6月3～4日	秋田市	アキタパークホテル	鈴木一孝、小野元	秋田県工業技術センター
資源エネルギー環境部会 東北・北海道地域部会	9月16～17日	札幌市	北海道立道民活動センター	平野高広	北海道工業試験場
物質工学会 秋季東北・北海道地域部会	9月16～17日	札幌市	北海道立道民活動センター	小野 元	北海道工業試験場
資源・環境・エネルギー部会 研究発表会	10月14～15日	水戸市	レイクビュー水戸	佐々木秀幸	茨城県工業技術センター
機械・金属部会 材料研究会	10月14～15日	那覇市	沖縄青年会館	佐藤唯史	沖縄県工業技術センター
機械・金属部会 東北・北海道地域部会	10月14～15日	山形市	山形県高度技術研究開発センター	桑島孝幸	山形県工業技術センター
物質工学会 第42回高分子分科会	10月14～15日	高知市	高地城ホール	佐々木英幸	高知県工業技術センター
産総研東北センター第31回分析研究会	11月19日	仙台市	産業技術総合研究所東北センター	藤原智徳	産業技術総合研究所東北センター
知的基盤部会 分析分科会	11月25～26日	徳島市	徳島東急イン	藤原智徳	徳島県立工業技術センター
機械金属部会 第45回素形材技術分科会	11月25～26日	名古屋市	産業技術総合研究所中部センター	池 浩之	産業技術総合研究所中部センター

◆食品技術部

名 称	開催月日	開催地	開催場所	出席職員	開催機関
生命工学会 総会	6月3～4日	仙台市	ホテル法華クラブ仙台	遠山 良	宮城県産業技術総合センター
生命工学会 東北・北海道地域	9月30日～10月1日	福島県	福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター	岸 敦	福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター
物質連合部会 第12回包装分科会	10月14～15日	徳島県	ホテルサンシャイン徳島アネックス	武山進一	徳島県立工業技術センター

7-2 試験研究機関関連会議

名 称	開催月日	開催地	開催場所	出席職員	開催機関
第1回部門別連携会議(醸造用微生物)	5月12日	盛岡市	工業技術センター	桜井 廣、中山繁喜、遠山良、小浜恵子、山本忠	(財)岩手生物工学研究センター
東北地域冬作物技術検討会	9月1日	盛岡市	東北農業研究センター	菊地 淑子	(独)東北農業研究センター
食品関係技術研究会	9月8～9日	つくば市	(独)食品総合研究所	菊地 淑子、山口佑子、島津裕子	(独)食品総合研究所
豆類利用研究会	9月10日	つくば市	(独)食品総合研究所	山口 佑子	(独)食品総合研究所
東北農業試験研究推進会議生物工学推進部会生物工学研究会	9月14日	盛岡市	(独)東北農業研究センター	遠山 良	(独)東北農業研究センター
第2回部門別連携会議(醸造用微生物)	10月19日	盛岡市	工業技術センター	桜井 廣、中山繁喜、畑山誠、遠山良、小浜恵子、山本忠	(財)岩手生物工学研究センター
研究調整会議に係る事前検討会	10月28日	北上市	岩手県生物工学研究所	中山繁喜	(財)岩手生物工学研究センター
第1回生分解性プラスチックの適正使用のための分解菌データベース作成に関する共同研究推進会議	10月27～28日	池田市	(独)産業技術総合研究所関西センター	岸 敦	(独)産業技術総合研究所
第9回岩手県バイオテクノロジー研究調整会議	11月9日	盛岡市	水産会館	斎藤紘一、中山繁喜	農林水産部農業普及技術課
フードフォーラム北東北	11月11日	盛岡市	工業技術センター	齋藤紘一、齋藤博之、遠山良、島津裕子、小浜恵子、武山進一、岸敦、伊藤良仁、菊池淑子、及川和志	工業技術センター
岩手生物工学研究センター第12回研究発表会	12月24日	北上市	岩手県生物工学研究所	中山繁喜	(財)岩手生物工学研究センター
第3回部門別連携会議(醸造用微生物)	1月17日	盛岡市	工業技術センター	桜井 廣、中山繁喜、小林正信、山本忠	(財)岩手生物工学研究センター
東北農業試験研究推進会議「流通・加工」推進部会	1月27日	盛岡市	(独)東北農業研究センター	伊藤 良仁	(独)東北農業研究センター
東北農業試験研究推進会議「流通・加工」推進部会	1月28日	盛岡市	(独)東北農業研究センター	小浜 恵子	(独)東北農業研究センター
東北農業試験研究推進会議、生物工学推進部会	1月31日	盛岡市	こずかた会館	遠山 良	(独)東北農業研究センター
ブランドニッポン 1系麦類 推進会議	2月8～9日	つくば市	技術会議事務局	菊地 淑子	(独)農業・生物系特定産業技術研究機構作物研究所
バイオテクノロジー研究成果検討会	2月16日	盛岡市	岩手県民会館	中山繁喜	農林水産部農業普及技術課
第2回生分解性プラスチックの適正使用のための分解菌データベース作成に関する共同研究推進会議	2月17～18日	つくば市	(独)産業技術総合研究所つくばセンター	及川 和志	(独)産業技術総合研究所
全国食品関係試験研究場所長会	3月3日	つくば市	つくば国際会議場	遠山 良	(独)食品総合研究所
食品研究推進会議	3月4日	つくば市	つくば国際会議場	遠山 良、及川和志	(独)食品総合研究所

7-3 北東北公設試技術連携推進会議

【趣旨】

秋田県、岩手県及び青森県の北東北3県の公設試研究機関が一堂に会して、共通の課題等について意見交換することにより、相互の連携と交流の一層の促進を図り、もって、本地域の発展に資することを目的とする。

名 称	開催月日	開催地	開催場所	出席職員
第8回北東北公設試技術連携推進会議	平成16年6月17日～18日	八戸市	八戸第2ワシントンホテル	斎藤紘一、小山康文、 賢木 祐
第9回北東北公設試技術連携推進会議	平成16年9月2日～3日	大曲市、秋田市	秋田県高度技術研究所	斎藤紘一、小山康文、 賢木 祐
第10回北東北公設試技術連携推進会議	平成16年11月25日	盛岡市	岩手県工業技術センター	斎藤紘一、小山康文、 賢木 祐
第11回北東北公設試技術連携推進会議	平成17年1月28日	青森市	ラ・プラス青い森	斎藤紘一、小山康文、 賢木 祐

8 他団体支援業務

8-1 他団体行事への出席等

◆総務部・企画情報部

業務等	月日	場所	担当者	依頼機関名
岩手県機械金属工業協同組合連合会総会	5月7日	盛岡市	南幅留男	岩手県機械金属工業協同組合連合会
岩手県塗装工業組合総会	5月18日	水沢市	南幅留男	岩手県塗装工業組合
第25回岩手県職業能力開発協会通常総会	5月26日	盛岡市	南幅留男	岩手県職業能力開発協会
日本溶接協会岩手県支部総会及び表彰式	6月3日	盛岡市	南幅留男	日本溶接協会岩手県支部
技能五輪全国大会開会式	10月22日	岩手産業文化センター	斎藤紘一	岩手県職業能力開発協会

◆電子機械技術部

業務等	月日	場所	担当者	依頼機関名
ワカメ処理省力化機器開発(第一回)	6月29日	釜石市	米倉勇雄	岩手県水産技術センター
ワカメ処理省力化機器開発(第二回)	9月2日	釜石市	米倉勇雄	岩手県水産技術センター
講習会講師	9月16日	工業技術センター	和合健	(社)計量計測技術センター
精密加工研究会見学会支援	11月11日	花巻・北上	飯村 崇、園田哲也	精密加工研究会
ワカメ処理省力化機器開発(第三回)	12月2日	釜石市	米倉勇雄	岩手県水産技術センター
ワカメ処理省力化機器開発(第五回)	2月25日	釜石市	米倉勇雄	岩手県水産技術センター

◆特産開発デザイン部

業務等	月日	場所	担当者	依頼機関名
デザイン開発	12月20日	岩手木工センター	町田、小林、東矢、長嶋	協同組合岩手木工センター

岩手県工業技術センター業務年報(H16)

◆醸造技術部

業務等	月日	場所	派遣職員名	依頼機関
岩手県酒造組合総会	4月27日	岩手県酒造組合	桜井廣	岩手県酒造組合
南部杜氏自醸清酒鑑評会表彰式	5月25日	石鳥谷町公民館	桜井廣	(社)南部杜氏協会
岩手県酒造組合酒造技術委員会	6月2日	岩手県酒造組合	桜井廣、中山繁喜、高橋亨	岩手県酒造組合
岩手県酒造組合酒造技術委員会	10月19日	岩手県酒造組合	桜井廣、中山繁喜	岩手県酒造組合
岩手県酒造組合全員協議会	1月12日	ホテルメロポリタン盛岡ニューウイング	桜井廣	岩手県酒造組合
岩手県地ビール技術者会	3月24日	工業技術センター	米倉裕一	岩手県地ビール技術者会
岩手県酒造組合臨時総会	3月28日	サンセール盛岡	桜井廣	岩手県酒造組合

◆食品技術部

業務等	月日	場所	派遣職員名	依頼機関
生めん組合総会	5月12日	愛真館	遠山 良	岩手県生めん協同組合
乾麺組合総会出席	5月19日	志戸平温泉	遠山 良	岩手県乾麺工業協同組合
パン組合総会	5月21日	愛真館	遠山 良	岩手県パン工業組合
(社)日本食品科学工学会第51回大会	9月1～4日	岩手大学	遠山 良	(社)日本食品科学工学会、第51回大会実行委員会
武山照愿氏黄綬褒章受章祝賀会	1月7日	ホテル・メロポリタン・ニューウイング	遠山 良、島津裕子	岩手県パン工業組合
岩手麵青会30周年記念式典	1月27日	ホテル・メロポリタン・ニューウイング	遠山 良	岩手県生めん協同組合

8-2 技能検定

～岩手県職業能力開発協会関係～

技能検定職種	実施月日	実施場所	担当者	担当部
研削加工	7月31日	西根工業(株)	飯村 崇	電子機械技術部
ワイヤ放電加工	8月21日	盛岡セイコー工業(株)	園田 哲也	
ワイヤ放電加工	8月28日	(株)共立精工	堀田 昌宏	
機械検査(事前打ち合わせ)	1月28日	(株)共立	堀田 昌宏	
機械検査	2月5日	(株)共立	堀田 昌宏	
NC型彫り放電, ワイヤ放電, NC旋盤	8月8日	(株)ミクニ盛岡事業所	和合健	
漆工技術	8月31日	安代町漆器センター	町田俊一、小林正信	特産開発デザイン部
基礎2級技能検定	2月22日	(有)日本木材工業	浪崎安治	
プラスチック射出成形作業打ち合わせ会	6月9日	工業技術センター	佐々木英幸	材料技術部
鉄工職種	6月19日	ポリテクセンター岩手	桑嶋孝幸	
コールドチャンバーダイカスト	7月3日	筑波ダイカスト工業(株)	池 浩之	
コールドチャンバーダイカスト	7月4日	筑波ダイカスト工業(株)	佐藤唯史	
プラスチック射出成形	7月10日	工業技術センター	佐々木英幸	
プラスチック射出成形	7月11日	工業技術センター	佐々木英幸	
プラスチック射出成形	7月12日	工業技術センター	佐々木英幸	
コールドチャンバーダイカスト	7月25日	(株)ユニシア厚和	池 浩之	
プラスチック射出成形	7月31日	(株)ミクニエーム	佐々木英幸	
プラスチック射出成形	8月7日	(株)トーノ精密	佐々木英幸	
コールドチャンバーダイカスト	8月8日	(株)ミクニ盛岡事業所	池 浩之	
プラスチック射出成形	8月9日	アイシン東北(株)	佐々木英幸	
コールドチャンバーダイカスト	8月27日	SMC(株)	佐藤唯史	
一般熱処理	8月29日	工業技術センター	斎藤 貴、小野 元	
プラスチック射出成形	8月29日	双伸工業(株)	佐々木英幸	
プラスチック射出成形	9月5日	(株)ニュートン	佐々木英幸	
ハムソーセージベーコン製造	7月14日	岩手プリミート(株)	武山進一	食品技術部

8-3 研究会等

(1) ZnO研究会

名称	開催月日	テーマ	講師		開催場所	受講者数
			所属	氏名		
第4回研究会	10月14日	ZnOプロジェクトの進捗状況について	東京電波(株)	新倉郁生	盛岡グランドホテル アネックス	34
			工業技術センター	遠藤治之		
		ZnO単結晶基板を用いた電子デバイスに関する研究	岩手大学工学部電気電子工学科	柏葉安兵衛		
		ZnO導電性の非接触検査の研究	岩手大学工学部電気電子工学科	大坊真洋		
		反応性マグネトロンスパッタ法によるZnO薄膜の研究	岩手大学工学部電気電子工学科	道上 修		
		ZnO基板上に成長した硼化物超伝導薄膜の研究	岩手大学工学部材料物性工学科	吉澤正人		
第5回研究会	1月21日	酸化亜鉛の価電子制御とpn接合発光ダイオード	東北大学金属材料研究所	川崎雅司	ホテルメトロポリタン盛岡 本館	87
		圧電性結晶ーその基礎と応用	山梨大学大学院医学工学総合研究部電気電子システム工学科	中川恭彦		
		ZnOプロジェクトの進捗状況について	東京電波(株)	小野隆夫		
			工業技術センター	小山康文		

(2) 岩手県非鉄金属加工技術研究会

名称	開催月日	テーマ	講師		開催場所	受講者数
			所属	氏名		
総会及び45回研究会	4月16日	総会 流動長測定装置の紹介	岩手大学工学部	平塚貞人	エスポワールいわて	19
		非鉄鋳物の最新加工技術について	三菱マテリアル(株)	田中祐二		
46回研究会	6月11日	検討会「材料リサイクルと環境負荷低減に向けた取り組みについて」 研究会における取り組み内容の提案	(財)いわて産業振興センター	勝負沢善行	工業技術センター	24
		材料供給・リサイクルネットワークの事例紹介	株大紀アルミニウム工業所	大前真一		
		循環型社会対応産業クラスター計画について	経済産業省東北経済産業局	井元尚充		
		事例発表 「亜鉛ダイカスト金型の改善事例」	美和ロック(株)	北方秀和		
第2回役員会	8月9日	①工場見学会について ②金型関連の視覚教材購入について ③新規入会申し込みについて	-	-	工業技術センター	10

岩手県工業技術センター業務年報(H16)

名称	開催月日	テーマ	講師		開催場所	受講者数
			所属	氏名		
第47回研究会	9月14日	工場見学会	-	-	(株)大紀アルミニウム工業所 白川工場	17
第3回役員会	10月7日	①工場見学会の報告 ②Mg研究会の立ち上げについて ③第48回研究会の内容について、ほか	-	-	工業技術センター	11
第48回研究会	11月9日	アルミ合金鋳造ラインの最適化 (横河電子機器を例として)	東京工業大学	神尾彰彦	横河電子機器 (株)盛岡工場	40
		コスト改善事例	東京都産業技術研究所	佐藤健二		
第4回役員会	12月10日	①東北マグネシウム研究会準備会報告 ②第49回研究会の開催について ③山崎ダイカストの入会について	-	-	工業技術センター	9
第49回研究会	1月18日	加工技術データベース利用講習会	(独)産総研ものづくり先端技術研究センター	岡根利光	工業技術センター	18
		アルミニウム合金鋳造ラインの最適化経過報告	横河電子機器(株)盛岡事業所	本山勝見		
第5回役員会	3月9日	①各種補助制度の説明 ②平成17年度総会について	-	-	工業技術センター	11

(3) 岩手県接合技術研究会

名称	開催月日	テーマ	講師		開催場所	受講者数
			所属	氏名		
総会	5月21日	講演会「ペレットストーブの開発について」	工業技術センター	園田哲也	Hルイズ	20
第57回研究会	7月16～18日	視察研修会 「2004国際ウェルディングショー」	-	-	大阪市 インテックス大阪	10
第58回研究会	9月30日	溶融亜鉛めっき技術	日本電炉(株)	藤村和男	工業技術センター	23
		WES溶接管理技術者資格等の国際化対応	(社)日本溶接協会	大西清悟		
		鋼材の流通・価格の展望		杉森 渉		
第59回研究会	11月25日	岩手大学の溶接研究紹介	岩手大学	中村 満	工業技術センター	12
		突合せ継ぎ手の食い違いと仕口のずれの製作、補修方法	溶接検査(株)	米村武美		
第60回研究会	2月3日	工業技術センターの溶射技術の紹介	工業技術センター	桑島孝幸	工業技術センター	14
		最新溶接機器の紹介と実技指導	ダイヘンメカトロニクス(株)	古賀友博		

(4) 岩手県材料応用技術研究会

名称	開催月日	テーマ	講師		開催場所	受講者数
			所属	氏名		
理事会、総会	6月23日	総会 講演会「いわて銀河系環境ネットワークの挑戦」	いわて環境ネットワーク副会長	遠藤 保仁	Hルイズ	15
第158回研究会	7月29日	ウッデホルムの工具鋼	ウッデホルム(株)	永島 洋	工業技術センター	19
		最新切削工具技術	日立ツール(株)	保坂光一郎		
第159回研究会	9月2日	PBS系生分解性プラスチックの成形加工性と用途	昭和高分子(株)	沖野 義郎	工業技術センター	20
		環境低負荷型プラスチック材料の開発	秋田県工業技術センター	鎌田 悟		
第160回研究会	12月10日	環境規制に対応するクエン酸ニッケルめっき技術の紹介	東京都立産業技術研究所	土井 正	工業技術センター	27
		ニッケルめっき汚泥からのニッケルの再資源化技術の紹介	(株)東京ワイヤー製作所	佐々木 廣		
		ナノインデンテーションによる薄膜評価技術の紹介	(株)エリオニクス	伊藤 拓嗣		

(5) 岩手県清酒鑑評会及び製造技術研究会

名称	開催月日	テーマ	講師		開催場所	受講者数
			所属	氏名		
岩手県清酒鑑評会及び製造技術研究会	9月15～16日	-	仙台国税局鑑定官室、醸造技術部員他	川口鑑定官他15名	工業技術センター	55
東北清酒鑑評会出品予定酒持ち寄り会	9月22日	-	酒造技術委員、醸造技術部員	佐藤智博他5名	工業技術センター	20
岩手県新酒鑑評会及び製造技術研究会	3月17～18日	-	仙台国税局鑑定官室、醸造技術部員他	川口鑑定官他13名	工業技術センター	70
全国新酒鑑評会出品予定酒持ち寄り会	3月31日	-	酒造技術委員、醸造技術部員	佐藤智博他5名	工業技術センター	19

(6) 岩手食品加工研究会

名称	開催月日	テーマ	講師		開催場所	受講者数
			所属	氏名		
総会及び講演会	6月17日	最近の消費者からの苦情等に見られる動向について	県民生活センター	藤原繁夫	工業技術センター	24
講演会	2月27日	「食の安全、安心」について考える	日本食品分析センター	氏家 隆	工業技術センター	25

9 運營業務

9-1 工業技術研究推進会議

試験研究の効果的・効率的な推進を図るため、「岩手県試験研究評価ガイドライン」及び「岩手県工業技術研究推進会議設置要綱」に基づいた外部評価を実施し、もって本県工業の技術水準の向上と産業振興に寄与することをねらいとする。特に以下の観点から評価を受ける。

- 1) 企業ニーズ、委員の意見等を研究テーマに反映
- 2) 研究成果等の企業への技術移転
- 3) 職員の意識向上、組織の活性化

(1) 工業技術研究推進会議部会

- 【日時】 1) 材料技術部会:平成16年10月26日(火) 10:00～16:50 13課題、委員8名
2) 食品技術部会:平成16年10月27日(水) 13:00～17:15 9課題、委員8名
3) 生産技術部会:平成16年10月29日(金) 10:00～16:30 13課題、委員8名

【場所】 岩手県工業技術センター 小ホール

【内容】 各部会毎に平成16年度業務進捗状況及び試験研究評価について説明し、各委員から技術的かつ専門的な助言・評価等を受けた。評価結果及び具体的な対応は(3)及び(4)項に記載。

(2) 工業技術研究推進会議全体会議

【日時】 平成16年3月18日(金) 13:30～17:00

【場所】 エスポワールいわて

【内容】 全部会合同で開催し、上記部会結果報告と平成16年度業務計画について報告・説明し、それに対し各委員会から、業務全体に係る総合的な助言・指導・評価等を受けた。(委員19名出席)

(3) 評価結果一覧表

事業名	テーマ名	区分	所内評価	委員評価	総合判定	
◆生産技術部会						
1	ユニバーサルデザイン開発技術普及推進事業	地場産業製品へのユニバーサルデザインの導入	事後	4	4.1	目的達成 (2へ展開)
2	支援・研究活動活性化事業	工業技術センター発開発技術・製品の市場化支援	事前	4.5	3.6	採択
3	支援・研究活動活性化事業	未利用木材を活用した緑化用環境資材の開発	事前	4	3.3	採択
4	夢県土いわて戦略的研究推進事業	漆液を原料とする簡易塗料と塗装技術の開発	事前	4	4.1	採択 (申請予定)
5	夢県土いわて戦略的研究推進事業	画像処理による土壌検査システムの開発	中間	3.5	3.5	継続 (H16終了)
6	新方式木質チップボイラー開発事業	新方式木質チップボイラーの開発	中間	4	4.0	継続 (H16終了)
7	木質バイオマス消融雪システム実用化研究事業	木質バイオマス消融雪システムの開発	中間	3	3.4	継続
8	ものづくり基盤技術集積促進事業	マイクロマシニングによる高機能製品開発	中間	3	2.9	継続 (H16終了)
9	地域新生コンソーシアム研究開発事業	超高精度金型測定技術の構築	中間	3.5	3.4	継続 (H16終了)
10	戦略的技術開発支援事業	ZnO単結晶基板の応用に関する研究	中間	5	4.5	継続
11	夢県土いわて戦略的研究推進事業	新開発Co合金の産業への応用化技術開発	中間	4	3.6	継続
12	NEDO産業技術研究助成事業	酸化亜鉛を母体としPET用超高速シンチレータ結晶の開発	事前	4.5	3.9	不採択
13	地域新生コンソーシアム研究開発事業	プラスチック製低剛性製品の精密測定技術の構築	事前	4	3.9	採択
◆材料技術部会						
14	高温超電導体試作開発事業	軽希土類系酸化物超電導バルク体の大型化技術の開発	事後	4	3.5	目的不達成
15	地域新生コンソーシアム研究開発事業	フッ化カルシウム汚泥のコンクリート混和剤への利用	事後	4.5	4.3	目的達成
16	素材再利用による新材料製造技術開発事業	耐摩耗性に優れたコンポキャストマテリアルの開発とその応用	中間	4.5	3.9	継続 (24へ展開)
17	都市エリア産学官連携促進事業	トリアジンチオール有機ナノ薄膜の高機能発現研究開発	中間	4	3.6	継続 (26へ展開)
18	産業廃棄物再資源化技術開発事業	溶融・結晶制御技術による産業廃棄物の無害化と有効活用	中間	4	4.2	継続 (25へ展開)
19	高品質鋳鉄製造技術開発事業	鋳鉄からの脱マンガン・脱クロム技術の開発	中間	3	3.4	継続
20	夢県土いわて戦略的研究推進事業	新素材鋳鉄粉末を活用した高機能軽金属複合材料の開発	中間	4	3.9	継続
21	ものづくり基盤技術集積促進事業	Co基耐熱合金を用いた耐熱パネの開発	中間	3	3.6	継続
22	産総研地域中小企業支援型研究開発事業	100円無酸素雰囲気センサーチップの開発	中間	4	3.1	継続 (H16終了)
23	NEDO産業技術研究助成事業	鋳鉄の機械的特性に及ぼす基地組織の定量的評価	事前	4	3.1	採択
24	地域新生コンソーシアム研究開発事業	鋳造複合材料の製造技術開発	事前	4	3.7	採択 (申請予定)

岩手県工業技術センター業務年報(H16)

事業名		テーマ名	区分	所内評価	委員評価	総合判定
25	産廃再資源化技術開発事業	県境不法投棄物溶融スラグの骨材利用	事前	4	4.2	採択
26	ものづくり基盤技術集積促進事業	次世代精密金型の高付加価値化技術の開発	事前	4.5	3.8	採択
◆食品技術部会						
27	県産大豆生産販売緊急対策事業	県産大豆加工特性調査	中間	4	3.8	継続 (H16終了)
28	地球環境保全試験研究事業	生分解性プラスチックの適正使用のための分解菌データベース作成	中間	3	3.2	継続 (H16終了)
29	県産小麦使用加工品開発事業	ナンブコムギに適したパン加工技術の開発	中間	3	3.1	継続 (H16終了)
30	ブランド・ニッポン創生事業	東北地域の硬質小麦を用いた高品質パン製品の開発	中間	3	3.1	継続
31	いわて新ブランド食品創生事業	バイオテクノロジーによる食品機能性解明と加工技術開発	中間	5	4.6	継続
32	先端技術を活用した農林水産高度化事業	多機能性新規ベリーの産地化技術の確立と新加工品の開発	中間	3.5	3.9	継続
33	先端技術を活用した農林水産高度化事業	冷害被害米の新用途開発	中間	3.5	3.4	継続
34	県産清酒品質向上研究推進事業	県産清酒の品質向上に関する研究	中間	4	3.7	継続 (35へ展開)
35	「吟ぎんが」、「ぎんおとめ」ブランド支援と新ブランド開発事業	「吟ぎんが」、「ぎんおとめ」ブランド支援と新ブランド開発	事前	4.5	3.4	採択

部会	平均点	最小～最大
生産技術部会	3.7	2.9～4.5
材料技術部会	3.7	3.1～4.3
食品技術部会	3.6	3.1～4.6

検討課題の区分	所内評価平均点	委員評価平均点
全35課題	3.9	3.7
事後3課題	4.2	4.0
中間22課題	3.7	3.6
事前10課題	4.2	3.7

評価基準	内容
5点	効果・妥当性が極めて高い
4点	効果・妥当性が高い
3点	効果・妥当性がある
2点	効果・妥当性が低い
1点	効果・妥当性が極めて低い

(4) 評価結果への所内対応

所内評価及び外部評価を踏まえ、特に部会での評価が「3」未満と外部評価が所内評価より1点前後低い下記5テーマについて、センターとして以下のとおり対応することとし、3月の全体会議で各委員に対し報告・説明した。

1) マイクロマシニングによる高機能製品開発(生産:中間):3.0(所内) → 2.9(外部)

(主な意見) ・達成手段の優位性やメリットが不明確、特許取得を断念すべきではない

(対応策) この研究の目的は、委員の御指摘のとおり、放電加工を利用した小径の工具(ドリル、リーマ)や打ち抜き金型(パンチ、ダイス)の創製であり、そのメリットは従来の研削工具と比較して熟練技能を必要としない点(技能の技術化)と、非接触という放電の加工特性を活用した微細加工の高度化である。全く新しい試みであり、しかも取り組みを開始して間もないことから、放電による工具の製作時間が長くかかったり、製作した工具を用いた加工穴精度が従来の研削品より劣ることは、現段階ではむしろ当然であるにもかかわらず、今回の外部評価発表で単純にこれらと比較してしまったことに問題があった。今後は、微細穴加工を中心に非接触の加工特性を活用した放電加工の優位性を明確にするデータをそろえ、研究年度終了までには高い評価が得られるよう努力する。特許の申請に関しては、製造ノウハウを公開することになることから、本アイデアを発案した共同研究企業の意向を重視したい。

(処置) 継続

2) 工業技術センター発開発技術・製品の市場化支援(生産:事前):4.5 → 3.6

(主な意見) ・センターのミッションか?、県全体として支援すべき、市場規模と狙うシェアを明確に、一人責任者を専任させるべき

・意欲的な新しい有意義な試み

(対応策) 従来、当センターの開発や支援の内容は技術に特化し、技術自体は素晴らしいものであっても、その後のフォローが足りないために製品として企業に貢献できないものが多々あった。これまでは工業技術センターのミッションが技術開発と技術支援による県内企業への貢献であるとの認識から、あえて販売等の支援には積極的な対応を行っては来なかったが、現在の企業の状況を考えたとき、総合的に企業の発展に対する支援を行うことが必要であると考え。もちろん他の関係機関との連携は必要であり、マーケティングに関するノウハウの蓄積を進めるためには、マーケティングの専門会社等への委託等も考慮しなければいけないと考えているが、当センターでは技術に熟知しているという強みがあり、効率の良い支援が期待できると考える。同時に、当センターが市場化支援を実施することは将来の技術開発等についても、市場を念頭に入れた開発ができ、より実現性の高い研究につながることを期待できる。よって、必要性・経済効果・新しい試みへの期待等を考慮して、所としての重点課題としての位置づけから、所内評価4.5とした。今回お諮りした事業テーマでは、緊急性を勘案して、既に開発が終了した製品を選定したが、今後、マーケティングに関するノウハウの蓄積を進め、当センターが行う技術開発の段階から、マーケティング技術を反映していきたいと考えている。

(処置) 継続

3) 100円無酸素雰囲気センサーチップの開発(材料:中間):4.0 → 3.1

(主な意見) ・開発要素の少ない依頼分析的テーマ、トリアジンを何に使用するのか不明確、次の開発実用化につながるネタは?

・実用化に期待

(対応策) ご指摘のとおり、独自開発性が無く委託解析(依頼分析)的性格が強いテーマである。しかし、プロジェクト全体としての目標は県内企業の製品開発(製品化)でありその成果は経済効果が高いと予想される。また、プロジェクトにおける当センターの役割である膜構造の解析等については、製品性能や製造技術にも関連する重要な部分であるものの企業単独で実施することが困難であり、本テーマの必要性は大きいものと考え。さらに、本テーマは単年度で終了するもので、既に(県費を使わないで)外部資金を導入して実施している。よって、必要性・費用対効果等が高いため、所内評価4.0とした。トリアジンを何に使用するかは企業秘密の部分であるので、明確にすることはできない。

(処置) ある程度の成果が見込まれたため、平成14年度で予定を繰り上げ終了。

4) 鋳鉄の機械的特性に及ぼす基地組織の定量的評価(材料:事前):4.0 → 3.1

(主な意見) ・研究計画の綿密なすりあわせが必要、測定原理が曖昧、先行事例としての建築材料(炭素鋼)での試みを参考に
・今までにない新しい評価技術

(対応策) ご指摘のとおり、研究計画等説明不足の部分があった。プロジェクト全体の目標は電磁特性を利用した自動車用薄肉鋳鉄の新しい評価方法の確立であるが、当センターの役割は、基地組織やチル化率などを変えたサンプルを作製し機械的強度等を測定して定量的な評価を行うとともに、このデータ及びサンプルを提供することにある。北海道大学の役割はこれらの機械的特性と電磁特性の相関を追及するところであり、東北大学の役割はこれらのデータを基に評価モデルの確立と数値解析、評価装置の設計と試作を行うことであるが、当センターとしては事業終了後の成果を県内企業へ移転するためにも数値解析や装置の設計等にも参加していく予定である。プロジェクト全体の成果は鋳物製造業の自動車関連分野への市場を拡大すると予測され、当センターがこのプロジェクトに参加することは他県に先駆けて県内鋳物製造業の自動車分野への参入を促進すると考える。このように本テーマの必要性は大なるものであるから所内評価4.0としたが、委員のご指摘にあったように、当センターの役割は基礎的なものであり、データの蓄積が主たる仕事となる。また、特に県の予算措置はなく、NEDOの予算も東北大学が一括で受け当センターには現物支給となる。

(処置) 実施

5) 「吟ぎんが」、「ぎんおとめ」ブランド支援と新ブランド開発(食品:事前):4.5 → 3.4

(主な意見) ・民間ではできないことに集中すべき、ブレンド酒など新規発想の研究も、客観的な評価法の導入と低コスト化がポイント、清酒本来の特徴をより強調できる醸造が必要
・岩手の清酒のブランド化に向け業界と一体となった取り組みは大いに評価

(対応策)

当センターの立場からすると、酒造組合、企業との連携を進めていくことで、存在意義がある。業界が抱えている技術的課題は「吟ぎんが」という米をいかに使いこなすか、これが出来れば(出来ているところもある)、岩手ブランド確立に拍車がつくと思われる。このような目標と味覚センサを利用する新規性から所内評価4.5とした。両ブランドは消費者の評価は高くないという意見があるからこそ、ブランド確立のため取り組む必要性がある。

(処置) 実施

(5) 委員名簿

部会名	氏名	所属	担当部
会長	丹野和夫	(財)いわて産業振興センター 研究開発センター長	共通
副会長	岩渕 明	岩手大学大学院工学研究科フロンティア材料機能工学専攻 教授	工業系共通
生産技術部会	名須川 利通	リコー光学(株) 取締役事業本部長	電子機械 技術部
	千田伏二夫	(株)千田精密工業 代表取締役	
	長野克則	北海道大学大学院工学研究科都市環境工学専攻 助教授	
	及川 雄	(有)藤里木工所 専務取締役	特産開発 デザイン部
	青木弘行	千葉大学大学院自然科学研究科人間環境デザイン科学専攻 教授(博士課程専攻長)	
	森山明子	武蔵野美術大学造形学部デザイン情報学科 教授	
材料技術部会	山田 元	美和ロック(株) 盛岡工場長	材料技術部 (金属系)
	千葉晶彦	岩手大学工学部福祉システム工学科 教授	
	阿部利彦	東北大学流体科学研究所 産学連携研究員	
	佐々木八重子	(株)東亜電化 開発技術部長	材料技術部 (化学系)
	中澤 廣	岩手大学工学部建設環境工学科 教授	
	板橋 修	(独)産業技術総合研究所東北センター 所長代理	
副会長	小林昭一	岩手大学農学部農業生命科学科 教授	食品系共通
食品技術部会	府金秀忠	府金製粉(株) 代表取締役	食品技術部
	小野伴忠	岩手大学農学部応用生物学科 教授	
	津志田藤二郎	(独)食品総合研究所 食品機能部長	
	佐藤智博	(株)あさ開 醸造チームマネージャー	醸造技術部
	浅沼和男	(株)浅沼醤油店 代表取締役	
	藤館昌弘	(株)エーデルワイン 副社長	

〔参考資料〕

1 主要設備機器

(取得価格100万円以上)

(1) 日本自転車振興会補助事業(平成7年度以降取得分)

年度	機 器 名	メーカー名	型 式
7	電源切換式真空溶解炉	富士電波工業(株)	FTH-50-3VM
	サンドミキサー	(株)キタニ	MSU-2E型
	デジタル式微小硬度計	(株)アカシ	MVK-H100A2
	精密切断機	中外機工(株)	HS-100
8	ノイズ解析装置	ヒューレット・パッカート社	8753
	三次元表面解析顕微鏡	ZYGO(株)	New View100
9	放射電磁界イミュニティ試験設備	日本オートマチックコントロール(株)	IEC1000-4-3, ENV50140, CISPR
10	水銀圧入式細孔分布測定装置	(株)島津製作所	155353500350
	レーザー光散乱式粒度分布測定装置	マルバーン社	33544/345
11	300KN精密材料試験機	(株)エー・アンド・デイ	テンシロン万能試験機
	金属用光学顕微鏡	ライカ(株)	ライカDMR/DC12
	精密切断機	リファインテック(株)	リファインテックRCO-270
12	量子計測システム	Tristan Technology Inc.	Model 601-NDT-M他
	不良解析前処理システム	カスケードマイクロテック(株)	プローブステーションRF-1他
	構造解析システム	SDRC社	I-DEASシステム他
13	炭素硫黄同時分析装置	LECO社	CS-200-SC-144DR
	キャピラリー電気泳動装置	アジレント・テクノロジー社	G1600A
	小型万能試験システム	(株)オリエンテック	テンシロン RTC1210A
14	高温ビッカース硬さ試験機	アカシ	アカシAVK-HF
	高温摩耗試験機	インストロン	インストロン8802
15	表面粗さ等測定器	テーラーホブソン	PGI1240
	超軽元素分析装置	日本電子(株)	XM-UDS81

岩手県工業技術センター業務年報(H16)

年度	機 器 名	メーカー名	型 式
16	高品位溶接加工システム	日鐵溶接工業(株)	SWPS-1
	特性評価システム	アクザクト社	TFA-1000
	超微小硬さ試験機	(株)エリオニクス	ENT-1100
	バンドソーマシン	(株)ニコテック	SCP-25SA II

(2) 国庫補助事業(平成7年度以降取得分)

年度	機器名	メーカー名	型式	事業名
7	真空ミキサー	(株)橋市	大竹式	地域食品
7	ガス分析ユニット	共立医科機械	GC390型	地域食品
7	マイクロフォーカスX線装置	東芝岩手電機(株)	TOSMICRON-6125	広域
7	データ収集装置		POWAERMIC	広域
7	酵母発酵力測定システム	(株)サカワサイエンス	フォーモグラフSS, サーマルタンク, ミキサー, 高沸点成分抽出装置	
7	窒素分析システム	(株)成瀬器械	ケルダール窒素、タンパク質分析装置	
7	調味食品製造装置	銘醸機械(株)	洗米機、チョコパー、ろ過機	
7	三次元自動変角光度計	(株)成瀬理工	GP-200	国際創造
7	薄膜物性評価装置	(株)成瀬理工	MHA-400	国際創造
7	表面界面物性測定装置	(株)成瀬理工	AN型	国際創造
8	CD-ROM公報編集機器	日立製作所	FLORA-DM2	知的所有
8	CCDマイクロスコープ	キーエンス	VH-620	戦略的
8	信号解析装置	(株)ツートップ	VIEW	戦略的
8	大型精密定盤	ナベヤ	GP-011-0	戦略的
8	横切り丸鋸盤	協和機工	PW-1000A-H	国際創造
8	加工木材物性評価用制振性能解析装置	松下インターテクノ	ブリュー&ケアー	国際創造
8	家具デザイン用パソコンシステム	Apple	PowerMacintosh9500/200	国際創造
8	自動一面かんな盤	桑原製作所	KU-N600	国際創造
8	手押かんな盤	桑原製作所	KPN-400	国際創造
8	鋳込み形成装置	高木製作所	CVP050LS	指導
8	高速ガス溶射装置	スルサーメテコジャパン	DJC型	地域先端
8	焼成試験装置	デンケン	KDF1700KDF7	指導
8	窯業原料精製装置	日陶科学	ALM-300W他	指導
8	O ₂ -CO ₂ 細胞培養装置	ヒラサワ	CPO2-17	地域先端
8	純水/超純水製造装置	日本ミホア	RFG-40	地域先端
8	マイクロミニピュレータ	TPI	フォンブランタイプ	基盤強化
8	画像DBサーバー装置	INDYSYUDIO他		広域
8	微弱光検査装置	浜松ホトニクス	C2400-4	広域
8	香り認識装置	アルファMOS	FOX3000	地域食品
9	ジーンパルサー II	日本バイオラット	2626	広域共同

岩手県工業技術センター業務年報(H16)

年度	機器名	メーカー名	型式	事業名
9	蛍光イメージアナライザー	宝酒造(株)	2979113	広域共同
9	アミノ酸分析システム	日本ウォーターズ	D97SHC217M	指導
9	インテグリティシステム	日本ウォーターズ	F97TMD035P	指導
9	クリーンベンチ	(株)日立製作所	G204467001	指導
9	変角分光測色システム	(株)村上色彩研	0680	国際創造
9	総合型熱変形解析システム	NEC三栄(株)	7070283	戦略的
9	広帯域記録8mmテープレコーダ	TEAC(株)	641010	戦略的
9	3成分動力計	日本キスラー(株)		戦略的
9	有機薄膜形成装置	日本真空技術(株)	MF97-1131	集積活性
9	レーザー顕微鏡	オリンパス光学工	802001	集積活性
9	フレームレス原子吸光分光光度計	バリアンシヤパン	EL98023316	集積活性
9	ケルミネッセンスアナライザー	(株)東北電子産	059	集積活性
9	熱衝撃試験器	エタック(株)	139802005	集積活性
9	特許情報検索システム	新日本製鐵(株)	735MCIF2	知的所有
9	3次元CAD補助処理装置	住商エレクトロニクス	D800690B9CBO	産学官
9	サンド・エロージョン摩耗試験装置	佐々木電気(株)	SDH-9701	産学官
9	ピンオンディスク摩耗試験装置	神鋼造機(株)	88	産学官
9	ダイヤモンド溶射装置用アダプター	スルサーメテコシヤパン	DJ-2700	地域先導
10	恒温恒湿器	ヤマト科学(株)	91004544	広域3
10	パルスフィールド電気泳動システム	日本バイオラットラボラトリーズ(株)	275BR14118	広域3
10	スポンジングマシン	(株)アハレルマシンセンター	880007	指導
10	オシロスコープ	横河電機(株)	7008GA086H	戦略的
10	動ひずみ測定器	日本キスラー	911575	戦略的
10	メモリハイコーダ	日置電機(株)	0732099	戦略的
10	試料研磨装置	丸本ストルアス(株)	15173150	地域先導
10	プラズマ重合装置	日本真空技術(株)	MF98-1009	集積活性
10	電子回路温度測定システム	日本アビオニクス(株)	705ST	集積活性
10	高压連続成形装置	大塚鉄工(株)	5873	集積活性
10	電気化学測定システム	ビービーエス(株)	ALS660	集積活性
10	溶融混練機	(株)テクノバル	KZW25-50MG	公設試
10	コンプット蒸気加熱システム	コンプット社(株)	CWM-2	づくり
10	コンプット圧縮プレスシステム	コンプット社(株)	CW98/1	づくり

岩手県工業技術センター業務年報(H16)

年度	機器名	メーカー名	型式	事業名
10	CNCパイプヘンダー	日進精機(株)	980130	づくり
10	油圧式プレスブレーキ	(株)ニコテック	35120137	づくり
10	メカニカルシャーリンクマシン	(株)ニコテック	45120016	づくり
10	形網加工機	日東工器(株)	800019	づくり
10	アーク溶接ロボット	(株)ダイヘン	1L6510Y457307	づくり
10	三次元動作解析装置	(株)ナック	VICON512	づくり
10	重心特性解析装置	(株)ナック	9286A	づくり
10	人間工学的評価装置	日本光電工業(株)	WEB-5000	づくり
10	体形応用モデリングシステム	(株)浜野エンジニアリング	HEV-600PS	づくり
10	多加水生地圧延機	大竹麵機販売(株)	特1	フード
10	ひつつみ成型分割機	レオン動機(株)	特1	フード
10	ガスクロデーター処理器	ジューエルサイエンス(株)	0D534853	フード
11	YAGレーザー装置	(株)日鉄溶接工業	iLS-YC-25CLAY-806H	集積活性
11	微小部X線回折装置	(株)リガク	RINT-2550/PC	集積活性
11	放電プラズマ焼結装置	(株)イズミテック	SPS-3.20K-VI	集積活性
11	原子間力顕微鏡	セイコーインスツルメンツ	セイコーSPA-50	集積活性
11	高速比表面細孔分布測定装置	島津製作所	アサップ°2010	集積活性
11	三次元データ入力装置	住商エレクトロニクス	モデルメーカーTypeH	集積活性
11	平坦度測定装置	TOROPEL	TOROPEL社FM200XR	集積活性
11	高周波プラズマ分析システム	パーキンエルマー・ジャパン	パーキンエルマー・ジャパン製	集積活性
11	金属材料結晶育成炉	(有)マテルス	マテルスMAT-130KS	集積活性
11	衝撃試験装置	(株)東洋精機製作	(株)東洋精機製作所DG-U	公設試
11	携帯用滑り抵抗測定器	(株)藤原製作所	SS-A-172	公設試
11	超微粒摩砕機	増幸産業(株)	セレンデピターMKC	公設試
11	超臨界流体抽出システム	ISCO日本分光	ISCO社SFX2-1	公設試
11	SQUID弱磁場検出装置	トリスタンテクノロジー	トリスタンテクノロジー	公設試
11	発光分光分析装置	SpectroAnalytical	スペクトロ・ラフ°X7ZUV	公設試
11	誘電率測定実験装置(アンテナ増幅器)	HP	HP製 マイクロ波増幅機	公設試
11	誘電率測定実験装置(ネットワークアナライザ)	HP	HP製 タイムドメイン010	公設試
11	電波無響箱	トーキン	トーキン	公設試
11	自動コロニーカウンター	PROTOCOL	PROTOCOL	地域先端
11	小型醗酵ジャータンク	ヤスタ°ファインテ	ヤスタ°ファインテ	地域先端

岩手県工業技術センター業務年報(H16)

年度	機器名	メーカー名	型式	事業名
11	麺類製造装置(麺用縦型ミキサー)	大竹麵機	大竹麵機	指導
11	麺類製造装置(研究室用麵機)	大竹麵機	大竹麵機	指導
11	麺類製造装置(高速GPC/LCシステム)	東ソー(株)	東ソー(株)	指導
11	麺類分析装置(ガスクロ質量分析システム)	ヒューレット・パッカート社	ヒューレット・パッカート社	指導
11	麺類分析装置(ガスクロケミステーション)	ヒューレット・パッカート社	ヒューレット・パッカート社	指導
11	オクトラサイクロンドライア	三共エンジニアリング	三共エンジニアリング	指導
11	ブラベンダー・ヒスコプラフ	ブラベンダー社	ブラベンダー社	指導
12	高せん断レオメーター	東洋精機製作所	ハシエアキエピログラフNo.634	産業集積
12	樹脂圧力・比容積・温度特性測定	島津製作所	PVT-200測定装置	産業集積
12	設計解析支援システム	HP他	HPNT LH3000他	産業集積
12	走査イオン顕微鏡	セイコーインスツルメンツ(株)他	SMI9200他	産業集積
12	圧力分布測定器	ニッタ(株)	F-SCAN α (カフユニット2+スーパーレシーバーボード1+ソフトウェア1)	公設試
12	電磁界シミュレーションソフトウェア	REMCOM社	XFDTD 5.1Pro +RPS Support Pro	公設試
12	マイクロスコープ	(株)キーエンス	VH-7000C他	公設試
12	簡易3次元計測・加工装置	ミルタ他	計測器:Vivid700+加工機:NC-5RX	公設試
12	周波数測定アップグレードキット	アジレント・テクノロジー社	8719DU#020	公設試
12	オープンCNC旋盤	(株)森精機製作所他	SL-153MC他	公設試
12	レーザー	イオナ オプティック社他	JOL-D 8P他	公設試
12	CAD/CAMデータ修正システムソフトウェア	ITI	ITI CADfix	産業集積
12	CAD/CAMデータ修正システムハードウェア	HP他	HP Visualize Workstation X866他	産業集積
12	電界放射型電子顕微鏡	(株)エリオニクス	ERA-8800FE他	産業集積
12	真空アーク溶解炉	日本特殊機械(株)	AF-102-134	公設試
12	小型高温高圧調理器	鳥取三洋電機(株)	鳥取三洋電機 クックロボ75L	フード
13	3次元振動解析装置	グラフテック(株)	AT7300他	産業集積
13	超微細放電加工機	三菱電機(株)	EDSCAN8E	産業集積
13	製品解析用3次元モデル試作装置	シーメット(株)	SOUP II 600GS	産業集積
13	万能材料強度試験システム	(株)島津製作所	UH-F1000kN I	産業集積
13	溶接接合部内部欠陥評価システム	コントロールビジョン	MWI- I	産業集積
13	コーティングテスター	高橋エンジニアリング	ACT-JP 3型	産業集積
13	蛍光X線分析装置	フリップス社	Magix PRO-S	産業集積
13	複合腐食評価装置	PRODUCTS社	Q-FOG CCT1100他	産業集積

岩手県工業技術センター業務年報(H16)

年度	機器名	メーカー名	型式	事業名
13	リニアモーターステージ	(株)中央精機	ALD-105-H1L	公設試
13	光電界センサー	京都セミコンダクタ(株)	EFST13	公設試
13	RF信号発生器	ローテ・シュワルツ社	SMR-20	公設試
13	スペクトラム・アナライザ	アドバンテス社	R3172	公設試
13	小型乳酸菌培養システム	エイブル(株)	BMJ-1型他	フード
13	ブドウ糖自動測定装置	東洋紡績(株)	ダイヤゲルカHEK-60	フード
14	精密磁化測定装置	米国カンタムデザイン	MPMS	産業集積
14	ウォータージェット加工機	北川工業	APL-120C	産業集積
14	樹脂金型評価システム	モールドフロー	モールドフローMPA	産業集積
14	熱分析システム	ネッチケレイテハウ	STA409C	産業集積
14	レーザー三次元測定器	三鷹光器	NH-3PS	産業集積
14	振動装置	富士工業(株)	FUM-1	素材
14	高硬度粉末造粒成型装置	(株)ハウレック	FD-MP-0	素材
15	ガス分析装置	LECO	RH-402・TC-500	ものづくり
15	シャルピー衝撃試験機	JTトーン	C1-300	ものづくり
15	EMI測定装置	R&S	ESIB26他	ものづくり
15	カラーマイクロスコープ	オムロン	VC4500	ものづくり
15	画像処理測定顕微鏡	ミツヨ	HYPER-QV404	ものづくり
15	摩擦摩耗試験器	A&D	AZT-CA90	ものづくり
15	CADデータ加工装置	SensAble technologies	FreeForm Plus	ものづくり
15	鋳物原型製作用旋盤	北進産業	WL-S6C	ものづくり
15	脱ガス装置	後藤金属	TK-023	高品質
15	サーメット粉砕装置	後藤金属	GT-1500C	素材
16	ICP反応性エッチング装置	アルカテル	MS100SE	ものづくり
16	電子線照射表面改質装置	アルバックテクノ	EBX-60K	ものづくり
16	雰囲気調整炉	(株)モトヤマ	SKM-3035F	ものづくり
16	CVD装置	ユーテック社	13-305PZ-4	ものづくり

(注) 補助事業の名称

指導:技術指導施設費補助金

広域:技術開発研究費補助金(広域共同研究)(H3~H11)

流動:生活地域流動研究事業(H5~H7)

地域食品:地域食品産業高度化総合推進事業(H7~H9)

国際創造:国際技術創造研究推進事業(H7~H9)

知的所有:知的所有権センター管理運営事業(H8~H11)

戦略的:戦略的地域技術形成事業(H8~H10)

地域先端:地域先端技術共同研究開発促進事業(H8~H10)

基盤強化:中小企業経営基盤強化事業(H8)

産業集積:特定産業集積活性化関連機関連強化事業(H9~H14)

産学官:地域産学官共同研究推進事業(H8~H10)

地域先導:地域先導研究事業(H10~H12)

公設試:公設試共同研究推進事業(H10~H14)

づくり:ものづくり試作開発支援センター整備事業(H10)

フード:フードシステム高度化対策事業

素材:素材再利用による新材料製造技術開発事業(H14~H16)

ものづくり:ものづくり基盤技術集積促進事業(H15~H19)

高品質:高品質鋳鉄製造技術開発事業(H15)

岩手県工業技術センター業務年報(H16)

(3) 県単独事業(平成7年度以降取得分)

年度	機 器 名	メ ー カ ー 名	型 式
7	プレゼンテーションソフトウェア	東芝岩手電機(株)	Netscape
	インターネットサーバー	東芝岩手電機(株)	AS4035/85FX1
	米品質判定装置	静岡製機(株)	RS-200型
	小型超高温炉	(株)アドバンテック	マップル方式標準仕様
	パソコン(指導用)	東芝岩手電機(株)	東芝PV3538CW
	スクラッチテスタ	(株)島津製作所	SST-101
8	光造形装置樹脂交換用小型樹脂槽	シーメット	SP400用
	焼成炉	シンコー科学	MGH-DP-150S
	精密鑄造装置	東京ロストワックス工業	TLW-9610
	超精密成形研削盤	長島精工	NP515-F
	方向性凝固装置	佐々木電機本店	SNO-961
9	真空蒸着装置	日本電子(株)	JK130132-1039
	溶射用ブース	第一開明(株)	KAIMEI11
	純水製造装置	(株)ヤマト科学	35600703
	ワックス射出成形機	(株)東京ロストワックス工業	46809
	透磁率測定装置	愛知製鋼(株)	98011
	湯流れ解析装置	(株)コマツソフト	3647J00549
	精密ラム形ソフトフライス盤	長島精工(株)	P5-9702-56
	循環ファン付き箱型電気炉	中外エンジニアリング	EQ19-2606
	灼熱加熱炉	中外エンジニアリング	EQ19-2623
ラボラトリーディスクミル	BUHLER・MIAG	20353952	
20リットル醗酵タンク	ヤスタフラインテ(株)	14082-01,02	
10	ペンスキーマルテンス密閉式自動引火点試験器	田中科学機器製作(株)	APM-6形
	塗装面測定装置	ミノルタ(株)	22711016
15	スプレードライヤー	ヤマト科学	ADL310
	ガス分析装置	テストー	350L
	スガ式摩耗試験機	スガ試験機	NUS-ISO3
	半導体パラメータアナライザー	ケースレイインズツルメツ	4200-SCS
マニュアルウェッジワイヤーボンダー	ウエストボンド	7476D	
16	エアーコンプレッサー	アネスト岩田	
	高周波成型プレス	山本ビニター	MR-5B
	紫外線特性評価システム	日本分光	IUV-25
	フォトマスク製作装置	(株)アオバサイエンス	PR-MR1
	熱処理装置	アルバック理工	VHC-P610/39H
ダイシングソー	(株)東京精密	A-WD-10A	

2 知的財産権の取得・出願状況

(1) 取得

(a) 特許

No.	名 称	登録年月日	登録番号	発 明 者	
				所属(出願時)	氏 名
1	使用済みコンクリート型枠からの炭化物	H17.3.11	3654644	化学部	佐々木陽
2	速乾性漆液の加工装置	H17.3.4	3653512	特産開発デザイン部 産業技術短大	町田俊一 小林正信
3	近接場光励起スクイド顕微鏡装置	H17.2.18	3647818	電子機械部 岩手大学	大坊真洋 吉澤正人
4	廃プラスチック担持体及び製造方法	H16.4.23	3547726	特産開発デザイン部 ジェイテイトーシ(株) (株)ウェルテック	浪崎安治、有賀康弘 草薙義勝 佐藤文昭
5	部分炭化木製品	H16. 3.19	3535486	化学部	佐々木陽
6	磁気測定装置及び磁気測定方法	H16. 2.20	3522703	電子機械部	大坊真洋
7	スクイド磁気画像化装置	H15.11.14	3491017	電子機械部 岩手医科大学	大坊真洋 志子田有光
8	レーザー加熱装置及びレーザー加熱方法	H15.10.10	3481215	電子機械部	大坊真洋
9	刃物及びその製造方法	H15. 8. 15	3462549	管理部 特産工業部 木材工業部 岩手鋳機工業(株) 釜定本店	勝負沢善行 町田俊一 有賀康弘 石川健壽、及川吉道、 加藤敬二、渡辺史彦 宮 伸穂
10	鋳鉄溶湯からの脱リン方法	H15. 6.20	3442054	金属材料部 企画情報部	高川貫仁、勝負沢善行、 茨島 明 池 浩之
11	3次元形状計測システム	H15. 6. 6	3436929	電子機械部 岩手県立大学	長谷川辰雄 土井章男
12	リンゴジュースの製造方法	H15. 5. 2	3425404	醸造技術部 (有)阿部農園	櫻井 廣、平野高広 阿部皓夫
13	単板積層材	H15. 5.23	3432198	化学部 木工特産部	穴沢 靖 高橋民雄、浪崎安治、 有賀康弘
14	廃棄物を用いたコンクリート組成物	H14.12.13	3379644	化学部 岩手大学	佐々木秀幸 藤原忠司、江 東

岩手県工業技術センター業務年報(H16)

No.	名 称	登録年月日	登録番号	発 明 者	
				所属(出願時)	氏 名
15	鋳鉄の熱処理方法	H14.10.25	3364193	金属材料部 企画情報部	勝負澤善行、茨島 明、 高川貫仁 池 浩之
16	石鹼含有体及び石鹼含有体の製造方法	H14.10.11	3359059	特産工業部 木材工業部 松川温泉(株)	佐々木陽 高橋民雄 高橋 晟
17	走査型スクイド顕微鏡	H14.4.26	3302344	電子機械部	大坊真洋
18	軟質木材用塗料組成物	H14.3.1	3283429	化学部 特産開発デザイン部 産業技術短大 特産開発デザイン部 斉藤(株)	穴沢 靖 浪崎安治 高橋民雄 有賀康弘 東 達弥
19	木材の熱処理方法	H13.7.19	3212708	化学部 松川温泉(株) 産業技術短大	佐々木陽 高橋 晟 高橋民雄
20	物体の透視装置	H12.5.19	3068823	電子機械部 岩手大学	大坊真洋 田山典男
21	鋳造製品の製造方法	H12.3.24	3049055	企画情報部 金属材料部	池 浩之 勝負澤善行、茨島 明、 高川貫仁
22	CT装置	H11.6.11	2936391	電子機械部 岩手大学	大坊真洋、南幅留男、 藤澤 充、熊谷隆美、 長谷川辰雄 田山典男
23	物体の透視装置	H11.6.4	2934858	電子機械部 岩手大学	大坊真洋 田山典男
24	象嵌装飾体の製造方法	H9.7.4	2668191	木工特産部 (有)一戸チップ工業所	浪崎安治、有賀康弘、 高橋民雄 田村邦彦
25	被測定物の位置検出方式	H8.8.23	2082336	機械金属部 計量研究所 ラピマス電気(株)	南幅留男、佐々木淳 切田 篤 大島千里、中島敦弘
26	鋳物砂の水分調整方法 鋳物砂の水分調整装置	H6.6.21	1851652	機械金属部	米倉勇雄、南幅留男、 高橋正明、藤澤 充、 菊池浩之、佐々木淳

(b) 意匠

No.	名 称	年月日	登録番号	創 作 者	
				所属(出願時)	氏名
1	温風暖房機	H15. 6. 6	1180595	特産開発デザイン部 電子機械部	東矢恭明 堀田昌宏、園田哲也、 田中慎造
2	温風暖房機	H15. 6. 6	1180594	特産開発デザイン部 電子機械部	東矢恭明 堀田昌宏、園田哲也、 田中慎造
3	温風暖房機	H15.12. 8	2003-36390	特産開発デザイン部	東矢恭明
4	温風暖房機	H15. 9.12	2003-26804	特産開発デザイン部	東矢恭明
5	机	H14.10.4	1159049	特産開発デザイン部 産業技術短大	有賀康弘、浪崎安治 高橋民雄
6	学校用家具(イス)	H14.3.27	2002-7985	特産開発デザイン部 産業技術短大	有賀康弘、浪崎安治 高橋民雄

岩手県工業技術センター業務年報(H16)

(2) 出願

(a) 特許

No.	名称	年月日	出願番号	発 明 者	
				所属(出願時)	氏名
1	紫外線センサ素子及びその製造方法	H17.3.28	特願 2005-092223	電子機械技術部	遠藤 治之
2	金属表面の処理方法	H17.3.28	特願 2005-091205	材料技術部	鈴木一孝
3	金属と被着材との接着方法及び電鍍金型の製造方法	H17.3.28	特願 2005-092972	材料技術部	佐々木英幸
4	非加圧方式防腐処理方法による不燃木材の製造方法	H17.2.24	特願 2005-048318	特産開発デザイン部	穴沢靖
5	固形燃料燃焼装置	H17.1.25	特願 2005-017454	電子機械技術部	園田哲也、米倉勇雄
6	空気清浄装置	H16.12.24	特願 2004-374236	企画情報部	山本忠
7	石膏粒状特殊肥料の製造方法	H16.10.26	特願 2004-310382	材料技術部	平野高広、佐々木秀幸、 藤原智徳
8	コンクリート用増粘剤及びコンクリート製品	H16.4.23	特願 2004-127666	材料技術部	佐々木秀幸
9	トリアジンジチオール誘導体の高分子薄膜生成方法	H16. 3.31	2004-103932	材料技術部	鈴木一孝
10	光触媒被覆材及び光触媒被覆材の製造方法	H16. 2.26	2004-051803	材料技術部	桑嶋孝幸
11	臨界電流密度の高い酸化物超電導体	H15. 6.17	2003-171811	材料技術部	齋藤 貴、小野 元
12	コンクリート用増粘剤及びコンクリート製品	H15. 4.23	2003-117805	材料技術部	佐々木秀幸
13	金属複合材の製造方法	H15.3.26	2003-84733	金属材料部 企画情報部	池 之、勝負澤善行、 高川貫仁 次島 明
14	断熱路盤構造	H15.3.24	2003-79449	化学部 環境保健研究センター 岩手大学 岩手建工(株)	佐々木秀幸 酒井晃二 藤原忠司 下家正治、大沼一人
15	ペレット燃料燃焼装置	H.14.12.13	2002-362461	特産開発デザイン部 電子機械部	東矢恭明、 堀田昌宏、園田哲也、 田中慎造
16	木質ペレット燃料燃焼装置	H.14.12.13	2002-362460	特産開発デザイン部 電子機械部	東矢恭明、 堀田昌宏、園田哲也、 田中慎造
17	臨界電流密度の高い酸化物超電導体	H14.11. 8	2002-325504	金属材料部	齋藤 貴、小野 元
18	生体内の障害を緩和する機能性組成物	H14. 9.20	2002-313481	応用生物部	小浜恵子、山口佑子
19	臨界電流密度の高い酸化物超電導体	H14. 7. 8	2002-198284	金属材料部 企画情報部	齋藤 貴、小野 元 鎌田公一
20	水系下塗材用組成物	H14.3.28	2002-91215	化学部 (社)日本塗装工業会 (株)セブンケミカル	穴沢 靖 木村光徳、吉田勇太郎、 高橋孝治 久保田信二、小貫真裕
21	表面処理剤、表面処理方法、及び表面処理された製品	H14.2.26	2002-49753	化学部 (株)共立 (株)日本パーカライジング	穴沢 靖 丹野信一、軽部健志 大下賢一郎、綾野幸彦

岩手県工業技術センター業務年報(H16)

No.	名 称	年月日	出願番号	発 明 者	
				所属(出願時)	氏名
22	トリアジニチオール誘導体の薄膜形成方法	H13.10.26	2001-329030	化学部 岩手大学	鈴木一孝 森邦夫、馬場守
23	アスファルト混合物及びその製造方法	H13.7.5	2001-204652	岩手建工(株) 企画情報部 環境保健研究センター	下家正治、大沼一人 佐々木秀幸 酒井晃二
24	地盤形成方法	H13.7.5	2001-204651	岩手建工(株) 企画情報部 環境保健研究センター 岩手大学	下家正治、大沼一人 佐々木秀幸 酒井晃二 藤原忠司
25	針葉樹用紫外線硬化塗料組成物	H12.11.9	2000-341850	化学部 木工特産部 齊藤(株)	穴沢 靖、 高橋民雄、浪崎安治、 有賀康弘 小宮山健二
26	木材の炭化処理法	H11.9.30	平11-277719	化学部 岩手大学 日本エコシステム(株)	佐々木陽 成田榮一、蓬田 茂 大久保和男
27	微生物担体及びこれを利用した生ごみ処理装置	H11.7.16	平11-203729	応用生物部 化学部 日本エコシステム	山本 忠 佐々木陽 大久保和男
28	ワイン酵母の交雑育種方法	H11.2.25	平11-48404	醸造技術部 前:醸造技術部 (財)岩手生物工学研究センター	櫻井 廣、中山繁喜 小林麻由美 中沢信重、大川久美子、 佐藤利次、江井 仁
29	臨界電流密度の高い酸化物超電導体	H10.7.1	平10-186629	化学部 金属材料部 (財)国際超電導産業技術 研究センター	瀬川晃児 鎌田公一、齋藤 貴 村上雅人、 ミリヤラムラリダ
30	鋳鉄の複合材及び鋳鉄の複合材の製造方法	H10.2.20	平10-56148	金属材料部	勝負澤善行、茨島 明、 池 浩之、高川貫仁
31	生ゴミ処理用多孔質酸性化木材チップ及びその製造方法	H9.8.28	平9-247911	応用生物部 木工特産部 松川温泉(株) (株)日本エコシステム	山本 忠 佐々木陽 高橋 晟 大久保和夫

(b) 意匠

No.	名 称	年月日	出願番号	創 作 者	
				所属(出願時)	氏名
1	温風暖房機	H16.11.9	2004-34097	特産開発デザイン部	東矢恭明

Ⅱ 計量検定業務編

1 計量検定部の概況

1-1 沿革

岩手県工業技術センター計量検定部は、明治8年に度量衡取締条例が公布されて以来、岩手の計量(度量衡)行政を担当しております。明治24年には度量衡法が公布され、翌25年に常設の度量衡検定所が設置されました。その後、昭和26年の旧「計量法」公布に伴って昭和27年に岩手県計量検定所、その後平成16年3月に県の機構改革により検定所が廃止、新たに岩手県工業技術センターに計量検定部が設置され現在に至っております。主な沿革は次のとおりです。

- 明治 8年 度量衡取締条例が制定され、度量衡行政を開始
- 〃 24年 度量衡法の公布
- 〃 25年 常設度量衡検定所を設置
- 〃 36年 度量衡検定所が落成(県庁舎竣工と同時)
- 〃 42年 岩手県度量衡検定所と改称
- 昭和20年 戦争末期の建物疎開で工業試験場一室に移転
- 〃 22年 元の場所に新築移転(県庁構内)
- 〃 26年 旧「計量法」の公布
- 〃 27年 岩手県計量検定所と改称(地方機関)
- 〃 31年 必置地方行政機関となる(地方自治法改正)
- 〃 32年 内丸通りに庁舎新築移転(県庁向い)
- 〃 36年 都市計画のため、工業指導所2階に移転
- 〃 39年 指導係、検定係の2係制になる
- 〃 40年 県庁舎地階に移転(県庁舎新築落成)
- 〃 46年 盛岡地区合同庁舎に移転
- 〃 50年 岩手県計量100年記念式典を挙行
- 〃 63年 盛岡市向中野(現所在地)に新築移転
- 平成 4年 新「計量法」の公布
- 〃 5年 必置地方行政機関から削除される(地方自治法改正)
- 〃 〃 新「計量法」の施行
- 〃 12年 機関委任事務が廃止され、計量業務は自治事務となる
- 〃 16年 岩手県計量検定所が廃止され、岩手県工業技術センターに計量検定部が設置される
- 〃 〃 社団法人計量計測技術センターを、指定定期検査機関に指定し、特定計量器の定期検査を委託

1-2 施設

名称	所在地	電話及びFAX
岩手県工業技術センター 計量検定部	盛岡市向中野一丁目12番10号	電話 019(651)3111(内7029) FAX 019(635)6693

1-3 主要な設備

特定計量器の検定・検査及び精度確認等を行う場合は基準あるいは標準となるもの、その他設備や用具が必要ですが、現在、当部で保有しているものは、次表のとおりです。

これらの基準器や設備は、更に上級の標準と比較したり、常に手入れを続けて、その精度を保持するように管理しています。

(1) 基準器

分類	品名	能力	数量
長さ	基準巻尺	5m	1個
	〃	20m	1〃
	タクシーメーター装置検査用基準器	周長50cm	3台
質量	基準台手動はかり	1t/50g	1〃
	〃	50kg/10g	1〃
	特級基準分銅	1mg～20kg(31個)	1組
	1級基準分銅	1kg～10kg(4個)	1〃
	〃	1mg～10kg(31個)	1〃
	〃	2mg～1kg(12個)	1〃
	〃	1mg～200g(9個)	1〃
体積	基準燃料油メーター	口径50mm	1個
	基準水道メーター	口径13mm	1〃
	基準ガスメーター	20L	1台
	〃	2L	1〃
	液体メーター用基準タンク(燃料油)	200L	1個
	〃	100L	1〃
	〃	50L	1〃
	〃	20L	1〃
	〃	10L	3〃
	〃	5L	2〃
	基準フラスコ	10L	2個
	〃	5L	1〃
	〃	2L	1〃
	〃	1L	1〃
〃	500mL	1〃	
密度	液化石油ガス用基準浮ひょう型密度計	0.50～0.65g/cm ³	2本
比重	基準密度浮ひょう	0.70～1.85(19個)	1組
温度	基準ガラス製温度計	-56～0℃	1本
	〃	-2～52℃	2〃
	〃	34～43℃	1〃
	〃	150～200℃	1〃
	〃	200～250℃	1〃
圧力	基準液柱型圧力計	0～300mmHg	1台

(2)主要検査設備

設備器具名	数量
計量検定検査車 (定期検査用 車内検査設備付)	1台
走行クレーン 2t	1式
タクシメーター装置検査用回転数計	5台
大型車載燃料油メーター用検査設備	1式
ガスメーター検査設備	1 "
水道メーター検査設備	1 "
電子天びん (実用基準分銅校正用) 60kg/10mg	1台
" 5.1kg/1mg	1 "
" 210g/0.1mg 41g/0.01mg	1 "
" (量目用) 3.1kg/10mg	2 "
メスシリンダー 500・200・100mL	各2個
実用基準分銅 1t	11個
" 500kg	15個
" その他	各種

1-4 資料展示室

主に県内における計量に関する歴史的な資料や昔の計量器を展示しています。

展示資料		内容
度量衡	パネル	度・量・衡の解説
初期の計量機器	パネル・現物	ガソリン量器、ガスマーター、タクシメーター
岩手の計量史を巡る年表	パネル	県内外の計量史との比較年表
明治初期の県関係文書	現物	明治8年から25年の度量衡関係文書
旧度図	パネル・資料	古代中国および日本の尺度を表わす現寸図
尺度の種類と変遷	パネル	変遷をグラフ化して説明
江戸時代のはかり	パネル・現物	構造の説明
度量衡検定証印の変遷	パネル	
明治の先端を行った「はかり」	現物	ばね式はかり、改良型はかり、書状掛はかり他
平泉の文化は何で計られたか	パネル	残された記録から当時の尺度を巡る
国際度量衡委員田中館愛橋博士	〃	田中館愛橋博士の度量衡との関係資料
金森家の度量衡関係文書	〃	明治時代の保存文書説明
あわびゲージ	パネル・現物	工業用限界ゲージの原点・気仙村漁業組合製
「マタギ」のはかり	パネル	重要有形民俗文化財・碧祥寺のはかり紹介
枡	パネル・現物	繭用折りたたみ(携帯用)枡・検知(権知)枡等紹介
高野長英と驗温官略説	パネル	幕末の蘭学者長英がしるした著書の説明
両替屋の天びんと分銅	現物	江戸時代に使われたもの
明治から大正時代の棒はかり	〃	主として県内で生産されたものを展示紹介
物資不足時代のはかり	〃	木管式のはかり、磁器製のおもり
各種原器と模型	パネル・現物	メートル、キログラム、尺、貫の原器紹介
度量衡法の制定情報所簡	現物	明治25年、県の職員が上司に出したもの
度量衡の歴史	〃	昭和13年県職員が大日本租税誌を基に書いたもの
経年変化調査用温度計	〃	明治34年～大正7年製
棒はかり目盛りつけ用具	〃	
ゲレーン棒はかり	〃	明治22年製1ゲレーン
オンス、ゲレーン分銅	〃	8オンス以下、4000ゲレーン以下
岩手の計量史を巡るマップ	パネル	計量関係資料を展示している県内資料館紹介
日本度量衡協会発行誌	現物	明治44年からの「度量衡」全巻 30年分

1-5 所掌事務

計量法に基づき、適正な計量の実施を確保するため必要な次の事業を実施しています。

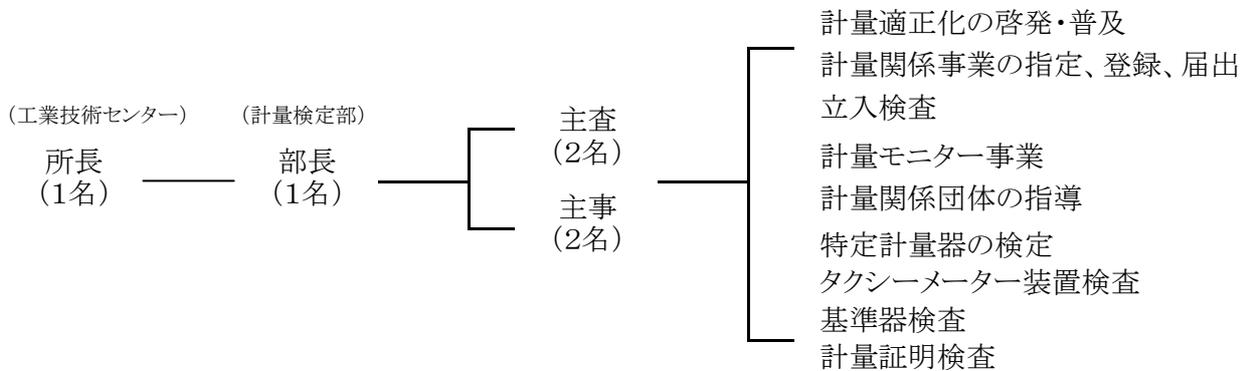
所掌事務は次のとおりです。

- (1) 特定計量器等の検定、検査、審査等に関すること。
- (2) 計量検定に係る報告の徴収、立入検査等に関すること。
- (3) 上記目的を達成するために必要な業務。

管轄区域は岩手県全域ですが、盛岡市域においては、盛岡市が計量法上の特定市町村であることから、同市が特定計量器の定期検査や立ち入り検査および計量に関する指導・啓発を行っています。

1-6 組織と事務分掌

計量検定部の組織と事務分掌の概要は、次のとおりです。(平成17年4月1日現在)



2 業務実績

2-1 決算額

(1) 歳入

(単位:円)

種別	14年度決算額	15年度決算額	16年度決算額
計量器検定・装置検査手数料	6,895,660	6,052,090	5,239,080
基準器検査手数料	68,450	131,970	250,050
定期検査手数料	1,941,760	1,983,470	0
証明事業検査手数料	0	0	0
事業登録関係手数料	165,430	5,250	286,500
証明手数料	1,200	400	400
小計	9,072,500	8,173,180	5,776,030
諸収入(検定、検査旅費等)	2,325,582	2,546,199	2,199,827
合計	11,398,082	10,719,379	7,975,857

(2) 歳出

(単位:円)

科目	14年度決算額	15年度決算額	16年度決算額
報酬	0	0	0
共済費	390,169	225,711	208,060
賃金	2,765,340	1,836,725	1,829,440
報償費	300,000	300,000	275,000
旅費	3,412,661	2,458,332	1,919,844
需用費	4,083,331	3,917,892	4,158,217
役務費	587,999	569,649	592,256
委託料	1,567,272	1,833,972	10,527,471
使用料及び賃借料	401,118	471,118	441,645
備品購入費	265,074	33,526	1,332,555
負担金、補助及び交付金	62,000	50,000	50,000
償還金、利子及び割引料	2,100	0	0
公課費	46,600	59,200	65,500
小計	13,883,664	11,756,125	21,399,988
人件費	69,660,491	67,718,313	24,574,510
合計	83,544,155	79,474,438	45,974,498

2-2 特定計量器の検定・装置検査

正確な特定計量器を供給するために、計量法の規定に基づいて、新しく作られた特定計量器や修理されたものの検定や装置検査を行っています。基準に適合し、合格したものには検定証印、タクシメーターには装置検査証印を付し、取引や証明用に使用することができることとなります。（計量法第16条）

この検定や装置検査は、製造事業者あるいは修理事業者からの検定申請や装置検査申請に基づいて行うものが大部分であります。

なお、指定製造事業者が製造した特定計量器は検定が免除され、指定製造事業者が基準適合証印を付します。

(1) 主な検定・装置検査申請者

器 種	申 請 事 業 者
タクシメーター	(有) 計 電 社
	(有) 藤 村 企 画 社
	(株) 城 北 自 動 車
	南 部 電 機 (株)
	ト ヨ ペ ッ ト 商 事 (株)
	(有) 駒 形 商 会
はかり	(株) デ ジ ア イ ズ
	北 日 本 計 量 器 (株)
	岩 手 イ シ ダ (株)
	(株) 寺 岡 シ ス テ ム
燃料油メーター	ト キ コ テ ク ノ (株)
	日 本 エ ン ジ ニ ヤ ー ・ サ ー ビ ス (株)
	北 日 本 計 量 器 (株)
	朝 日 技 研 (株)
液化石油ガスメーター	日 本 エ ン ジ ニ ヤ ー ・ サ ー ビ ス (株)
	ト キ コ テ ク ノ (株)

(2) 検定証印・装置検査証印の有効期間

計量法第71条に基づいて行われた、検定及び同法第75条に基づいて行われた装置検査に合格した次表の特定計量器については、検定証印及び装置検査証印の有効期間が決められています。有効期間が満了したものは、取引又は証明に使えなくなりますので、新たに検定及び装置検査を受けなければなりません。

特定計量器名	有効期間	
自動車等給油メーター	7年	
上記以外の燃料油メーター	5年	
液化石油ガスメーター	4年	
タクシーメーター(装置検査)	1年	
ガスメーター	10年又は7年	
水道メーター	8年	
電力量計	10年、7年又は5年	
温水メーター	8年	
騒音計	5年	
振動レベル計	6年	
濃度計	ガラス電極式水素イオン濃度検出器	2年
	ガラス電極式水素イオン濃度指示計	6年
	上記以外のもの	8年

(3) 検定・装置検査の実施状況

種類別	14年度(個)	15年度(個)	16年度(個)
タクシーメーター	2,883	3,043	3,131
質量計	54	81	45
体積計	2,223	1,632	1,221
計	5,160	4,756	4,397

(4) 所在場所検定・装置検査の実施状況

(所在場所検定・所在場所装置検査とは、計量器を使用する場所で検定・装置検査を行うこと。)

種類別	検定個数(個)	延実施日数(日)
タクシーメーター	1,713	50
質量計	29	45
体積計	1,174	189
計	2,916	284

(5) 種類別検定・装置検査の個数比率と手数料比率

種類	検定・装置検定 個数の割合(%)	手数料 収入の割合(%)
タクシーメーター	71.2	41.8
質量計	1.0	4.2
体積計	27.8	54.0
計	100.0	100.0

(6)特定計量器検定実績

種 別 器 種 別		製 造				修 理				合 計			
		検定個数	不合格数	不合格率	手数料	検定個数	不合格数	不合格率	手数料	検定個数	不合格数	不合格率	手数料
		(個)	(個)	(%)	(円)	(個)	(個)	(%)	(円)	(個)	(個)	(%)	(円)
タクシメータ		—	—	—	—	3,131	0	0	2,191,700	3,131	0	0	2,191,700
質 量 計	手動天びん	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	等比皿手動はかり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	皿手動はかり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	台手動はかり	—	—	—	—	3	0	0	1,380	3	0	0	1,380
	振子式指示はかり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ばね式指示はかり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ばね式懸垂指示はかり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	光電式はかり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	電気抵抗線式はかり	20	0	0	81,900	22	0	0	134,000	42	0	0	215,900
	誘電式はかり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他のはかり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	分銅	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	おもり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	20	0	0	81,900	25	0	0	135,380	45	0	0	217,280	
体 積 計	自動車等給油メーター	—	—	—	—	807	0	0	1,701,700	807	0	0	1,701,700
	小型車載燃料油メーター	—	—	—	—	268	0	0	562,800	268	0	0	562,800
	大型車載燃料油メーター	—	—	—	—	99	0	0	336,600	99	0	0	336,600
	簡易燃料油メーター	—	—	—	—	11	0	0	17,600	11	0	0	17,600
	定置燃料油メーター	—	—	—	—	5	0	0	13,000	5	0	0	13,000
	液化石油ガスメーター	—	—	—	—	31	0	0	198,400	31	0	0	198,400
	小計	0	0	0	0	1,221	0	0	2,830,100	1,221	0	0	2,830,100
合計	20	0	0	81,900	4,377	0	0	5,157,180	4,397	0	0	5,239,080	
前年度実績	63	0	0	99,750	4,693	0	0	5,952,340	4,756	0	0	6,052,090	

2-3 基準器の検査

基準器とは、検定するときや計量器が製造又は修理されたときにその計量器が正確なものかどうかの判断の基準となるもので、その一部を都道府県で検査を行うこととなっています。

当部において検査を行うことができる基準器の種類は「1、2、3級基準分銅」、「基準台手動はかり」、「タクシーメーター装置検査用基準器」、「液体メーター用基準器」などです。16年度の検査実績は、次のとおりです。

基準器の種類	検査件数	検査個数	不合格数	手数料
1級基準分銅	1	29	0	121,000
2級基準分銅	1	2	0	1,560
3級基準分銅	6	55	1	32,690
液体メーター用基準タンク(燃料)	4	5	0	68,000
タクシーメーター装置検査用基準器	2	2	1	26,800
計	14	93	2	250,050

2-4 はかりの定期検査・代検査

取引又は証明に使用するはかりは、2年に1回知事が行う定期検査を受けるよう計量法で規定されています。

定期検査は、指定した場所で行う集合検査で実施しています。

はかりの検査は構造と性能について行い、合格したはかりには消費者にもよくわかるように合格シールを貼り、一方、不合格のはかりについては検定証印を抹消し、不合格票を交付するとともに修理・廃棄等の処理について報告を求め、不合格となったはかりの使用防止をはかっています。

なお、盛岡市は通商産業大臣から特定市町村の指定を受け、市で定期検査を行っています。

このほか、知事が行う定期検査に代わって、計量士が行う代検査制度があり、スーパーマーケット等多くの事業者がこの制度を活用しています。

平成16年度には7市15町5村について定期検査を行いました。その実施状況等は次表のとおりです。

なお、岩手県では平成16年度より定期検査事務を指定定期検査機関である計量計測技術センターに委託しています。

(1)地域別・年度別定期検査実施状況

地域 \ 年度	13	14	15	16
県南7市		○		○
県北5市	○		○	
岩手郡(4町3村)	○		○	
紫波郡(2町)	○		○	
稗貫郡(2町)		○		○
和賀郡(2町1村)		○		○
胆沢郡(3町1村)		○		○
西磐井郡(2町)		○		○
東磐井郡(4町2村)		○		○
気仙郡(1町)		○		○
上閉伊郡(1町1村)		○		○
下閉伊郡(3町4村)	○		○	
九戸郡(2町4村)	○		○	
二戸郡(3町)	○		○	

(注) 特定市町村の盛岡市は除く。

(2)年度別定期検査の状況

年 度	13	14	15	16
市 町 村 数	5市14町11村	7市15町5村	5市14町11村	7市15町5村
事 業 者 数	3,340	3,113	3,147	2,972
検 査 個 数	14, 378個	13, 741個	13, 782個	12,725個
不 合 格 個 数	110個	106個	124個	94個
不 合 格 率	0.8%	0.8%	0.9%	0.7%

(注1) 個数には代検査分を含む。

(注2) 盛岡市における定期検査等は含まない。

(3) 平成16年度特定計量器定期検査及び代検査の実施状況

市町村	区分	受検者数	抗電線式抵	誘電式	電磁式	電式その他	天手動 びん	皿手動 等比	棒	のそ 手動 他	ばね式	示併 手動 用指	のそ 指の 示他	不 合格	はかり 小計	おも り 分銅	合計	期間及 び日数
大船渡市	集合検査	247	81	0	9	6	0	1	2	43	230	5	17	15	409	224	633	9/27)
	計量士代検	98	125	41	10	7	0	0	10	31	127	5	2	4	362	138	500	10/1
	計	345	206	41	19	13	0	1	12	74	357	10	19	19	771	362	1,133	4.5日
水沢市	集合検査	140	33	1	14	7	0	4	0	33	106	12	11	3	224	243	467	8/30)
	計量士代検	90	222	16	13	8	2	1	0	53	143	12	2	2	474	256	730	9/2
	計	230	255	17	27	15	2	5	0	86	249	24	13	5	698	499	1,197	3.0日
花巻市	集合検査	156	26	0	5	13	0	4	1	26	132	10	6	4	227	228	455	11/16)
	計量士代検	129	178	17	22	4	0	1	0	83	184	14	0	2	505	390	895	11/19
	計	285	204	17	27	17	0	5	1	109	316	24	6	6	732	618	1,350	4.0日
北上市	集合検査	126	20	1	10	13	0	3	0	23	138	13	13	1	235	216	451	10/18)
	計量士代検	162	247	9	10	9	0	0	0	88	197	7	0	4	571	353	924	10/21
	計	288	267	10	20	22	0	3	0	111	335	20	13	5	806	569	1,375	3.5日
一関市	集合検査	117	20	1	8	11	0	1	0	34	89	8	7	5	184	219	403	7/14)
	計量士代検	136	179	15	20	5	0	0	0	85	261	10	0	4	579	376	955	7/15
	計	253	199	16	28	16	0	1	0	119	350	18	7	9	763	595	1,358	2.0日
陸前高田市	集合検査	290	30	14	4	2	0	1	43	33	296	5	33	9	470	230	700	6/28)
	計量士代検	28	58	14	4	1	0	0	0	3	29	2	0	2	113	14	127	7/2
	計	318	88	28	8	3	0	1	43	36	325	7	33	11	583	244	827	4.0日
江刺市	集合検査	98	15	0	0	6	0	2	2	23	97	3	7	1	156	146	302	11/8)
	計量士代検	62	61	1	11	4	0	0	0	64	62	1	0	2	206	256	462	11/10
	計	160	76	1	11	10	0	2	2	87	159	4	7	3	362	402	764	2.5日
大迫町	集合検査	28	8	1	0	1	0	0	0	3	37	1	2	0	53	20	73	11/11
	計量士代検	10	27	1	1	0	0	1	0	5	12	0	0	0	47	30	77	
	計	38	35	2	1	1	0	1	0	8	49	1	2	0	100	50	150	1.0日

市町村	区分	受検者数	抗電線式抵	誘電式	電磁式	電気その他	天びん手動	皿手動等比	棒	のその他	のその他	ばね式	示併動指	のその他	不合格	はかり小計	おもり分銅	合計	期間及び日数
石鳥谷町	集合検査	28	6	0	1	1	0	0	0	9	16	3	2	1	39	50	89	11/15	
	計量士代検	39	88	14	2	3	0	0	0	33	63	2	0	0	205	142	347		
	計	67	94	14	3	4	0	0	0	42	79	5	2	1	244	192	436	1.0日	
東和町	集合検査	29	3	0	1	1	0	0	0	4	26	0	3	0	38	20	58	11/12	
	計量士代検	13	21	0	2	0	0	0	0	8	28	0	0	0	59	21	80		
	計	42	24	0	3	1	0	0	0	12	54	0	3	0	97	41	138	1.0日	
湯田町	集合検査	17	3	0	0	0	0	0	0	2	18	2	1	1	27	18	45	10/28	
	計量士代検	9	13	0	0	0	0	0	0	0	17	2	0	0	32	0	32		
	計	26	16	0	0	0	0	0	0	2	35	4	1	1	59	18	77	0.5日	
沢内村	集合検査	20	1	0	0	0	0	0	0	0	23	0	1	1	26	0	26	10/29	
	計量士代検	9	11	0	0	0	0	0	0	11	14	1	1	0	38	30	68		
	計	29	12	0	0	0	0	0	0	11	37	1	2	1	64	30	94	0.5日	
金ヶ崎町	集合検査	27	8	0	0	1	0	0	0	13	19	0	2	1	44	61	105	7/13	
	計量士代検	33	57	16	3	1	0	0	0	35	36	1	0	2	151	124	275		
	計	60	65	16	3	2	0	0	0	48	55	1	2	3	195	185	380	1.0日	
前沢町	集合検査	88	23	0	3	2	0	1	4	18	90	1	24	1	167	104	271	7/26	
	計量士代検	33	66	2	0	3	0	0	0	40	21	1	1	1	135	159	294	7/28	
	計	121	89	2	3	5	0	1	4	58	111	2	25	2	302	263	565	2.0日	

市町村	区分	受検者数	抗電線式抵	誘電式	電磁式	電気その他	天びん手動	皿手動等比	棒	のその他	のその他	ばね式	示併動指	のその他	不合格	はかり小計	おもり分銅	合計	期間及び日数
胆沢町	集合検査	35	18	0	0	2	0	0	0	6	31	0	7	2	66	30	96	7/28	
	計量士代検	22	59	0	0	3	0	0	0	62	47	0	0	0	171	239	410	7/29	
	計	57	77	0	0	5	0	0	0	68	78	0	7	2	237	269	506	1.0日	
衣川村	集合検査	14	4	0	0	0	0	0	0	1	11	0	0	2	18	10	28	7/16	
	計量士代検	5	3	0	0	0	0	0	0	11	7	1	0	0	22	37	59		
	計	19	7	0	0	0	0	0	0	12	18	1	0	2	40	47	87	0.5日	
花泉町	集合検査	52	11	1	0	1	0	1	0	7	46	2	7	0	76	51	127	9/21	
	計量士代検	20	21	14	1	0	0	0	0	32	25	1	0	0	94	119	213	9/22	
	計	72	32	15	1	1	0	1	0	39	71	3	7	0	170	170	340	2.0日	
平泉町	集合検査	23	11	0	1	0	0	0	1	5	15	1	4	2	40	32	72	7/12	
	計量士代検	9	22	0	0	0	0	0	0	10	4	0	0	0	36	48	84		
	計	32	33	0	1	0	0	0	1	15	19	1	4	2	76	80	156	0.5日	
大東町	集合検査	79	20	0	1	3	0	1	3	10	64	4	7	4	117	91	208	9/8	
	計量士代検	24	46	0	2	1	0	0	0	17	45	2	0	2	115	40	155		
	計	103	66	0	3	4	0	1	3	27	109	6	7	6	232	131	363	1.0日	
藤沢町	集合検査	36	6	0	0	1	0	0	2	8	31	1	8	2	59	44	103	9/9	
	計量士代検	17	22	0	0	0	0	0	0	6	15	0	0	0	43	23	66		
	計	53	28	0	0	1	0	0	2	14	46	1	8	2	102	67	169	1.0日	
千厩町	集合検査	44	4	0	3	4	0	1	3	6	30	2	4	5	62	53	115	9/14	
	計量士代検	22	47	0	3	0	0	1	0	15	49	0	0	0	115	68	183	9/15	
	計	66	51	0	6	4	0	2	3	21	79	2	4	5	177	121	298	1.0日	
東山町	集合検査	26	3	0	1	0	0	1	0	2	29	2	6	0	44	38	82	9/7	
	計量士代検	25	28	0	1	0	0	0	0	13	13	0	0	0	55	41	96		
	計	51	31	0	2	0	0	1	0	15	42	2	6	0	99	79	178	0.5日	

市町村	区分	受検者数	抗電線式抵	誘電式	電磁式	電式その他	天びん手動	皿手動等比	棒	のその他	ばね式	示併動指	のその他	不合格	はかり小計	おもり分銅	合計	期間及び日数
室根村	集合検査	24	5	0	0	1	0	1	1	3	19	0	2	0	32	26	58	9/15
	計量士代検	6	9	0	0	0	0	0	0	2	8	0	0	0	19	7	26	9/16
	計	30	14	0	0	1	0	1	1	5	27	0	2	0	51	33	84	1.0日
川崎村	集合検査	19	3	0	1	0	0	0	0	4	19	0	4	0	31	15	46	9/10
	計量士代検	7	7	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	14	29	43	9/10
	計	26	10	0	1	0	0	0	0	10	20	0	4	0	45	44	89	0.5日
住田町	集合検査	41	9	2	0	0	0	0	0	6	31	2	7	2	59	40	99	11/2
	計量士代検	18	41	3	1	2	0	0	0	2	16	0	0	0	65	0	65	
	計	59	50	5	1	2	0	0	0	8	47	2	7	2	124	40	164	1.0日
大槌町	集合検査	63	15	0	0	2	0	0	2	10	63	1	5	3	101	53	154	10/25
	計量士代検	43	77	33	1	4	0	0	0	9	31	1	0	0	156	46	202	10/27
	計	106	92	33	1	6	0	0	2	19	94	2	5	3	257	99	356	2.0日
宮守村	集合検査	28	7	0	0	1	0	0	0	4	26	1	3	4	46	24	70	11/1
	計量士代検	8	9	0	0	0	0	0	0	3	4	0	0	0	16	5	21	
	計	36	16	0	0	1	0	0	0	7	30	1	3	4	62	29	91	1.0日
県計	集合検査	1,895	393	21	62	79	0	22	64	336	1,732	79	193	69	3,050	2,286	5,336	
	計量士代検	1,077	1,744	196	107	55	2	4	10	727	1,459	63	6	25	4,398	2,991	7,389	
	計	2,972	2,137	217	169	134	2	26	74	1,063	3,191	142	199	94	7,448	5,277	12,725	

※検査個数には、他市町村での受検を含まず……他市町村での計量器受検数 18台(合格15台 不合格3台)

2-5 立入検査

正しい特定計量器が適正に使用されているか、また、商品量目が適切であるかどうかなどについて計量法第148条の規定により工場、事業場、店舗等に立ち入って検査を行うものです。直接県民の消費生活に影響を及ぼすものであり、特に消費者保護行政の面からも重視され、きめ細かな、しかも、より効果的な施策が強く望まれています。立入検査の結果、不適正(計量法違反など)のあった事業所、店舗に対しては、その事業所等の責任者に直接指導を行ない、場合によっては改善状況の報告を求めたり、改善勧告書を発行するなどして適正な計量の確保のため厳しい指導を行っています。

(1) 立入検査実施市町村

① ガスメーター	宮古市、安代町、浄法寺町、千厩町、山田町、大野村、川崎村
② 水道メーター	大船渡市、陸前高田市、大迫町、住田町、大東町、浄法寺町、湯田町 岩泉町、川崎村、松尾村、九戸村、山形村、普代村、田野畑村
③ 燃料油メーター等	全市町村
④ 計量器製造事業者	前沢町
⑤ 計量証明事業者	宮古市、二戸市
⑥ 電気子メーター	一関市、水沢市、江刺市、紫波町、千厩町
⑦ 商品量目	一関市、水沢市、江刺市、宮古市、陸前高田市、大船渡市、遠野市 北上市、紫波町、石鳥谷町、大槌町、山田町、千厩町

(2) 立入検査集計表

① 特定計量器の立入検査(注:()内は台帳検査であって外数とする。)

項目	立入事業所数	検査個数	不正個数			処置件数				
			有効期限	器差	その他	指導	勧告	警告	告発	その他
タクシーメーター	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ガスメーター	都市ガス	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	LPG	7	(1,703)	(166)	0	0	0	3	0	0
水道メーター	14	(46,936)	(5,588)	0	0	0	6	0	0	0
燃料油メーター	401	2,425	0	0	0	0	0	0	0	0
液化石油ガスメーター	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
質量計	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
電気子メーター	7	12	0	0	0	0	0	0	0	0
計	429	2,437 (48,639)	(5,754)	0	0	0	9	0	0	0

② 計量士に対する立入検査

項目	立入人数	検査回数
計 量 士	0	0

③ 製造事業者等の立入検査

項目	立入事業所数	不正戸数		告発件数	備考
		設備	その他		
計量器製造事業	1	0	0	0	—
計量器修理事業	0	—	—	—	—
計量器販売事業	0	—	—	—	—
計量証明事業	一 般	3	0	0	—
	環 境	0	—	—	—
適正計量管理事業所	0	—	—	—	—
計	4	0	0	0	—

④ 量目の立入検査

項目	立入事業所数	検査個数	不正個数	処理件数				
				指導	勧告	警告	告発	その他
商品量目	19	667	44	10	0	0	0	0

2-6 計量モニター事業の実施

計量モニター事業は、県と各市が協力して毎年実施しているもので、消費者の方に計量モニターを依頼して、消費生活物資の流通過程における計量について、その現状を認識していただくとともに、計量制度の啓発・普及と消費者保護を推進し、併せて本事業の実施により得られるデータ、意見、苦情等を計量行政の推進の資料として活用することを目的として実施しました。

(1) 計量モニターの配置及び実施期間等

実施地域	人員			説明会	実施期間	報告会
	県	市	計			
二戸市	5	0	5	5月18日(火) 午後	5月19日～6月18日	7月13日(火) 午後
久慈市	5	5	10	5月19日(水) 午前	5月20日～6月19日	7月14日(水) 午前
宮古市	5	0	5	5月25日(火) 午後	5月26日～6月25日	7月21日(水) 午後
釜石市	5	5	10	5月26日(水) 午前	5月27日～6月26日	7月22日(木) 午前
水沢市	5	5	10	8月19日(木) 午後	8月20日～9月19日	10月7日(木) 午後
江刺市	5	5	10	8月20日(金) 午後	8月21日～9月20日	10月8日(金) 午後
陸前高田市	5	5	10	8月24日(火) 午後	8月25日～9月24日	10月19日(火) 午後
大船渡市	5	5	10	8月25日(水) 午前	8月26日～9月25日	10月20日(水) 午前
花巻市	5	5	10	10月14日(木) 午後	10月15日～11月14日	12月3日(金) 午後
遠野市	5	0	5	10月26日(火) 午後	10月27日～11月26日	12月14日(火) 午後
一関市	5	5	10	10月27日(水) 午後	10月28日～11月27日	12月15日(水) 午後
合計	55	40	95			

(備考)「人員」の「県」と「市」の内訳は、県と市がそれぞれ委嘱した計量モニター数です。

(2) 調査対象商品分類

粉・めん類	粉類、めん類、穀類加工品
食肉	食肉類
肉製品	肉製品
魚介類	魚介類
野菜類	野菜、野菜つけもの、乾燥野菜、海藻
果物類	果物
調理食品類	調理食品類
そう菜類	そう菜、つくだに
乳製品	乳製品
嗜好類	し好品、菓子類、茶

(3) 計量モニターの結果

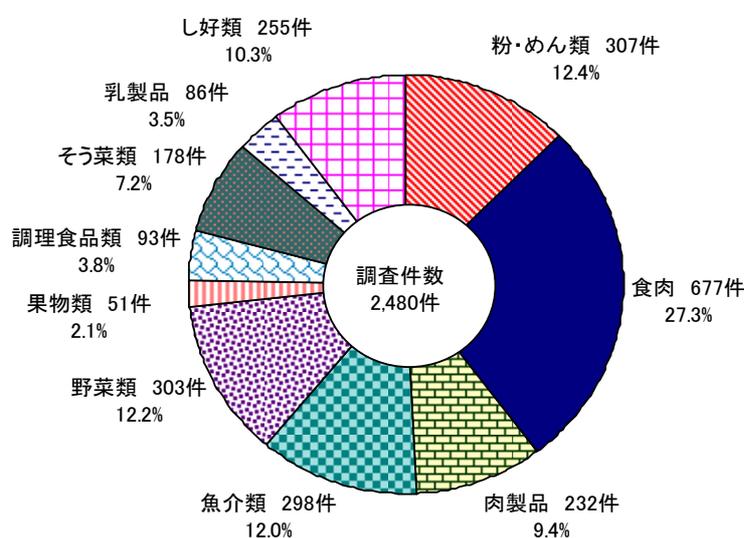
① 量目検査件数等

計量モニター95名から提出された計量日誌を集計した結果、調査件数は、次のとおりです。

	調査件数	総重量(g)	総金額(円)	モニター1人あたりのデータ		
				件数	重量(g)	金額(円)
今年度	2,480	649,767	629,007	26	6,840	6,621
昨年度	3,549	907,443	830,953	30	7,626	6,983

(注)昨年度の計量モニター数は119名。
今年度の量目調査件数は、総数で2,480件で昨年度に比較し、1,069件の減少です。
モニター1人あたりの調査件数は26件でした。

② 商品別調査件数



この円グラフは、商品別の調査件数の割合を表したものです。
調査件数2,480件のうち、食肉が一番多くて677件、ついで、めん類307件、野菜類303件の順となっています。

③ 量目調査結果

総件数 2,480件		
超過	正量	不足
339件	1,936件	205件
13.7%	78.0%	8.3%

このグラフは計量の正確度を表わしたもので、正量(+4%～-2%)、超過(+4%を超える)、不足(-2%を超える)の割合を表しています。

調査件数2,480件中、正量は1,936件(78.0%)、超過は339件(13.7%)、不足は205件(8.3%)でした。

不足の原因については、主に風袋の引き忘れ、風袋量の設定ミスがあげられますが、これ以外に計量後の商品管理の不徹底による自然減量も原因の一つにあげられます。

不足は直接消費者のマイナスになりますが、超過についても、商品の製造者及び販売者の量目管理やそのチェック体制作り、なお一層の努力の必要があるように思われます。

2-7 計量指導・普及・啓発

県民の皆様に適正計量の認識を深めていただくことを目的に、関係市町村及び関係団体の協力を得て、平成16年度は次の指導、啓発・普及事業を実施しました。

(1) 計量器使用事業者に対する指導

計量器使用者には定期検査の受検徹底について、また、水道事業者及びガス事業者には期限切れ計量器の使用防止等について、文書による啓発を行いました。

① 質量計使用者	事業者数	2,972	事業所		
② 水道事業者	〃	60	〃	調査器物数	353,029 個
③ ガス事業者	〃	373	〃	〃	371,499 〃

(2) 商品量目適正化の指導

① 特定商品販売事業者指導

中元期及び年末年始の量目立入検査において指導を行ったほか、特に不適正であった事業者については、改善報告書の提出を求め、適正計量の指導を行いました。

② 特産品、観光土産品等の審査、指導

県内で生産される特産品、観光土産品等の向上を図るため、次の審査会等に参加して、計量法に関わる事項の審査、指導を行いました。

岩手産業まつり特産品コンクール審査会 10月 遠野市

(3) 計量パネルの展示等

平成16年 9月 10日～12日の3日間、プラザおでつで開催された「第24回盛岡消費者まつり」において、盛岡市、及び(社)計量計測技術センターとともに、計量パネルの展示、計量ゲーム及び計量クイズなどを行い、消費者に適正計量思想の啓発・普及を図りました。

(4) 計量記念日及び計量月間の啓発・普及

県民に適正計量思想の啓発・普及を図るため、盛岡市及び(社)計量計測技術センターとの共催で、11月1日の計量記念日とともに11月1日～11月30日を計量月間に設定し、次の事業を実施しました。

ア) 計量記念日事業

- ① 岩手日報に広告を掲載
- ② 盛岡市内2か所の適正計量管理事業所において計量ゲームの実施及び計量パネルの掲示
- ③ IBCラジオを通して記念日の広報

イ) 計量月間事業

- ① 計量記念ポスターを県内一円に掲示
- ② 計量標語を募集して知事賞等を選定し、入賞作品の標語ステッカーを県内関係事業所に掲示
- ③ 県庁舎前の電光掲示板で広告
- ④ 計量モニター報告会において啓発・普及

(5) ホームページによる広報

岩手県のホームページである「銀河系岩手情報スクエア」内に岩手県工業技術センター計量検定部のホームページを開設し、計量行政に関する最新情報、計量検定所の仕事の内容、定期検査の日程、検定検査の手数料、各種申請書様式等をお知らせしています。

- ・銀河系いわて情報スクエア (<http://www.pref.iwate.jp/>)
- ・岩手県工業技術センター計量検定部ホームページ (<http://www.pref.iwate.jp/~hp1316/>)

3 計量関係事業者等

3-1 製造事業者

特定計量器(計量法第2条第4項に定められた器種)の製造事業を行うには、定められた区分毎に経済産業大臣(知事経由)に製造事業の届出をしなければならない。

製造事業届出者名	事業の区分	住所
株式会社デジアイズ	質量計第1類 質量計第2類	胆沢郡前沢町字高畑31番地
横河電子機器株式会社	排水積算 体積計等	盛岡市上飯岡第1地割字鞍掛15-8 【本社】 神奈川県秦野市曾屋500番地
エンペックス気象計株式会社	圧力計第2類	水沢市卸町3番地16 【本社】 東京都品川区西五反田七丁目22番 17号 デーオーシービル
トキコテクノ株式会社	自動車等給油メーター 小型車載燃料油メーター 定置燃料油メーター 大型車載燃料油メーター	岩手郡滝沢村鶴飼字上高柳48番地 【本社】 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央3 丁目9番27号
日本エンジニアサービス株式会社	自動車等給油メーター 小型車載燃料油メーター 定置燃料油メーター 大型車載燃料油メーター	【盛岡出張所】 盛岡市東仙北一丁目9-12 【釜石駐在所】 釜石市甲子町第10字割589-1 【本社】 東京都港区三田三丁目2-6

○ 指定製造事業者

前記製造事業者のうち計量法第90条に基づき経済産業大臣の指定を受けた事業者は次のとおりです。

指定製造事業者名	指定番号	指定年月日	事業区分
株式会社 デジアイズ	020301	H7.10.25	質量計第1類

3-2 修理事業者

修理事業者は定められた区分の特定計量器毎に県知事に修理事業の届出をしなければならない。これら修理事業者は設備すべき基準器や検査設備が決められており、それらを備えなければならない。

修理事業届出者名	事業の区分	住所	工場の所在地
ヒノヤ商事株式会社	タクシーメーター	盛岡市中央通一丁目8番18号	紫波郡紫波町桜町字中屋敷73
トヨペット商事 株式会社	〃	盛岡市乙部5地割326番	住所に同じ
有限会社計電社	〃	盛岡市名須川町21番31号	〃
岩手トヨペット株式会社	〃	盛岡市上田二丁目19番40号	〃
南部電機株式会社	〃	八戸市沼館一丁目18番37号	盛岡市上堂三丁目21番4号
有限会社藤村企画社	〃	盛岡市手代森16地割23番地	住所に同じ
株式会社城北自動車	〃	盛岡市みたけ五丁目18番26号	〃
有限会社駒形商会	〃	水沢市佐倉河字車堂67番地2	〃
北日本計量器株式会社	質量計第1、2類	盛岡市みたけ六丁目13番17号	〃
岩手イシダ株式会社	〃	盛岡市前九年三丁目5番22号	〃
株式会社寺岡システム	〃	仙台市若林区御町三丁目6番地の5	盛岡市手代森14地割16-398
テックエンジニアリング株式会社	質量計第1類	東京都江東区木場5丁目8番40号	盛岡市本宮三丁目32番1号
株式会社テクノサービス	質量計第1、2類	盛岡市津志田26-7-10	住所に同じ
合名会社岩手計量機器	〃	盛岡市向中野一丁目11番16号	〃
日産ディーゼル岩手販売株式会社	自重計	紫波郡矢巾町大字高田第15地割字幅101番地	〃
有限会社遠野車輛工業	〃	遠野市松崎町白岩地森40番地の2	〃
日乃出自動車株式会社	〃	一関市赤萩字境85番地2	〃
北上自動車株式会社	〃	北上市堤ヶ丘一丁目8番33号	北上市堤ヶ丘一丁目57番地7
有限会社共栄車輛工業	〃	水沢市佐倉河字十文字23番地	住所に同じ
有限会社松原自動車整備工場	〃	岩手郡岩手町大字江刈内第3地割43番の5	〃
有限会社山善自動車工業	〃	二戸市金田一字八ッ長182番地1	〃
岩手いすゞ自動車株式会社	〃	盛岡市津志田15地割22番地	〃(久慈営業所有り)
サン物産株式会社	〃	宮古市藤原一丁目1-1	宮古市大字津軽石第13地割字大判川401番地の1
久慈モーター工業株式会社	〃	久慈市中央一丁目62番地	住所に同じ

修理事業届出者名	事業の区分	住所	工場の所在地
日東自動車工業株式会社	自重計	釜石市両石町第4地割117番地1	住所に同じ
三菱マテリアル株式会社	〃	東京都千代田区大手町一丁目5番1号	東磐井郡東山町長坂字羽根堀50
大船渡自動車整備事業協同組合	〃	大船渡市大船渡町地の森62番地10	住所に同じ
株式会社大船渡自動車	〃	大船渡市大船渡町字新田37番地6	〃
有限会社 遠野自動車整備工場	〃	遠野市松崎町白岩20地割33番地3	〃
有限会社胆沢自動車工業	〃	胆沢郡胆沢町南都田字鶴田374番地1	〃
岩手三菱ふそう 自動車販売株式会社	〃	岩手郡滝沢村大釜字中道38番地2	〃
盛岡市水道部	水道メーター第1類	盛岡市内丸12番2号	〃
日立計測器サービス株式会社	水道メーター第1、2類	東京都新宿区四谷四丁目28番8号	〃
北日本計量器株式会社	自動車等給油メーター 小型車載燃料油メーター 大型車載燃料油メーター 定置燃料油メーター	盛岡市みたけ六丁目13番17号	住所に同じ
株式会社サガワサイエンス	濃度計第1、2、3類	盛岡市上田四丁目13番30号	〃
共立医科器械株式会社	濃度計第1、2、3類 血圧計第1、2類	盛岡市愛宕町15番地9号	盛岡市東山二丁目3-15 (ノアテックサポートセンター)
株式会社成瀬理工	濃度計第1、2、3類	盛岡市上田三丁目8番29号	住所に同じ
株式会社成瀬器械	〃	盛岡市厨川一丁目17-2	〃

3-3 販売事業者

非自動はかり(家庭用特定計量器を除く)、分銅及びおもり(特定計量器)を販売する事業者は、知事に販売事業の届出をしなければならない。また、販売事業者は、販売に必要な知識の習得に努めなければならない。

届出販売事業者数

(平成17年3月31日現在)

市 部	事業者数(質量計)
盛岡市	52
花巻市	22
北上市	13
水沢市	18
江刺市	5
一関市	9
陸前高田市	7
大船渡市	10
遠野市	5
釜石市	5
宮古市	7
久慈市	5
二戸市	8
計	166

郡 部	事業者数(質量計)
岩手郡	20
紫波郡	18
稗貫郡	5
和賀郡	4
胆沢郡	3
西磐井郡	1
東磐井郡	16
気仙郡	4
上閉伊郡	7
下閉伊郡	12
九戸郡	9
二戸郡	11
県外	49
計	159
総計	325
前年度総計	326

注 質量計……………非自動はかり、分銅、おもり

3-4 計量証明事業者

計量証明事業には、運送委託又は売買の目的である貨物を計量して、その結果を証明する一般の計量証明事業及び物質の濃度、音圧レベル、振動加速度レベルを計量して、その結果を証明する環境計量証明事業があります。この事業を行うためには県知事の登録が必要です。

(1) 一般

(平成17年3月31日)

登録者名	事業の区分	住所	事業所所在地
株式会社丸久商店	質量	盛岡市新庄町1番1号	住所と同じ
有限会社協力資源	〃	岩手郡滝沢村滝沢字穴口201番地3	〃
株式会社佐々兼商店	〃	盛岡市大通り二丁目5番15号	盛岡市津志田第25地割 字川久保9
成田産業株式会社	〃	釜石市小佐野町二丁目1番16号	釜石市甲子町4地割163番地
有限会社釜石資源商事	〃	釜石市定内町3-10-38	住所と同じ
株式会社今弘商店	〃	花巻市鍛冶町12番16号	花巻市材木町5番5号
水沢鋳物工業協同組合	〃	水沢市羽田町字明正121番地	住所と同じ
有限会社生内企画サービス	〃	二戸市福岡字五日町60番地	二戸市金田一海老田15-1
株式会社マルサ	〃	北上市成田26-83-12	住所と同じ
宮古港湾運送株式会社	〃	宮古市藤原三丁目64-67	〃
有限会社志和商店	〃	胆沢郡前沢町字長壇3番1	〃
同和鍛造株式会社	〃	東京都太田区京浜島二丁目6番19号	釜石市釜石12地割138番地
関東商事株式会社岩手営業所	〃	胆沢郡金ヶ崎町西根森山4番17	住所と同じ
株式会社高良	〃	福島県原町市南町1丁目93	岩手郡滝沢村滝沢 字高屋敷平11番地38
株式会社北日本環境保全	〃	北上市常盤台四丁目11番116号	北上市鬼柳第6地割28番
有限会社マルサ商会	〃	北上市前九年橋三丁目14番56号	住所と同じ
白竜石灰加工株式会社	〃	紫波町赤沢字女牛42-3	〃
フジメタルリサイクル株式会社	〃	東京都太田区蒲田本町2-33-8	北上市流通センター24-33
第一物産株式会社	〃	山形県酒田市卸町1-12	北上市相去町山根梨の木43-81
有限会社共同産業	〃	金ヶ崎町西根荒屋敷3-1	金ヶ崎町西根街道下49-3
有限会社マルサ商会成田営業所	〃	北上市前九年橋三丁目14番56号	北上市成田26-83-10
有限会社一般公害集配センター	〃	一関市萩荘字本郷149番地7	住所と同じ
株式会社東北ターボ工業	〃	盛岡市下太田田中1-2	紫波郡矢巾町広宮沢1-2-113
株式会社丸重	〃	北上市村崎野15-312-8	北上市成田2-4-3
盛岡産資源有限会社	〃	盛岡市乙部5地割158-1	住所と同じ
有限会社志和商店 (再生資源リサイクルセンター)	〃	前沢町字長壇3番地1	前沢町字五合田63-5
有限会社田中内装	〃	岩手町大字土川1-207	岩手町大字土川第1地割 字浮島153-66

(2) 環境

(平成17年3月31日現在)

登録者名	事業の区分	住所	事業所所在地
有限会社オーガニック金ヶ崎	〃	胆沢郡金ヶ崎町西根駒沢3番地	住所に同じ
エヌエス環境株式会社	濃度・特定濃度	東京都港区新橋6丁目14-5	盛岡市みたけ二丁目7番10号
地熱エンジニアリング株式会社	濃度	東京都中央区日本橋小網町8番4号	岩手郡滝沢村鶴飼字細谷地101-1
株式会社北日本環境保全	〃	北上市常盤台四丁目11番116号	住所に同じ
社団法人岩手県薬剤師会	〃	盛岡市馬場町3番12号	盛岡市上堂四丁目5番34号
株式会社大東環境科学	〃	盛岡市津志田西一丁目2番23号	住所に同じ
株式会社ニッテツ・ファイン・プロダクツ	濃度・特定濃度	釜石市鈴子町23番15号	〃
有限会社アセス	濃度	北上市流通センター6番45号	〃
有限会社サンヨー研究所	〃	宮古市実田一丁目1番15号	〃
株式会社テルム	〃	神奈川県横浜市鶴見区寛政町20番1号	北上市北上工業団地6番6号 岩手東芝エレクトロニクス(株)内
エヌエス環境株式会社	音圧レベル	東京都港区新橋6丁目14-5	盛岡市みたけ二丁目7番10号
株式会社大東環境科学	〃	盛岡市津志田西一丁目2番23号	住所に同じ
株式会社ニッテツ・ファイン・プロダクツ	〃	釜石市鈴子町23番15号	〃
株式会社北日本環境保全	〃	北上市常盤台四丁目11番116号	〃
株式会社大東環境科学	振動加速度レベル	盛岡市津志田西一丁目2番23号	〃
エヌエス環境株式会社	〃	東京都港区新橋6丁目14-5	盛岡市みたけ二丁目7番10号
株式会社ニッテツ・ファイン・プロダクツ	〃	釜石市鈴子町23番15号	住所に同じ
株式会社北日本環境保全	〃	北上市常盤台四丁目11番116号	〃

○ 計量証明検査

証明事業者の所有する設備については計量法第116条により知事が検査を行うことになっているが、その検査は計量士による代検査によってもよいことになっており、本県では計量士の代検査を受けている。

3-5 計 量 士

計量士は、計量器の整備、計量の正確の保持、計量法方の改善、その他適正な計算の実施を確保することを職務とする者で、計量士になろうとする者は経済産業大臣(知事経由)の登録を受けなければならない。また計量士が所定の基準器を備え、知事に届出をすると、定期検査又は計量証明事業の計量器の検査(代検査)ができる。

○ 代検査を行う旨の届出をした計量士

(平成17年3月31日現在)

登録者名	事業の区分	住所
古 舘 俊 一	定 期 検 査 代 検 証 明 事 業 代 検	稗貫郡石鳥谷町中寺林4地割53番地
川 村 正 人	//	盛岡市新庄町7番10号
池 田 秀 和	//	盛岡市上堂一丁目12-22
早 坂 弘	//	盛岡市北松園四丁目6-9
藤 原 正 光	//	紫波郡矢巾町字煙山11-13-1
大 澤 敦	//	盛岡市高松三丁目3-39
鈴 木 明	//	釜石市鈴子町2-14 太洋商事株式会社
大 黒 常 雄	//	神奈川県横浜市泉区上飯田町4666-4
加 藤 和 大	//	福島県郡山市深沢二丁目15-13
佐 藤 智 宏	//	盛岡市浅岸字具田43-146
熊 谷 猛	//	釜石市鈴子町23-15 (株)ニッテツ・ファイン・プロダクツ 釜石エンジニアリングセンター
佐 々 木 綱 紀	//	稗貫郡石鳥谷町上口3-3-3
伊 藤 和 也	//	埼玉県さいたま市緑区東浦和7丁目32番18

3-6 適正計量管理事務所

工場、事業所における計量管理は、製品の均一化、品質の向上を図り、企業経営上合理化の面からも極めて重要なこととあります。

特定計量器を使用する者は、その適正計量管理事業所について経済産業大臣または都道府県知事の指定を受けることができると定められており(計量法第127条)、指定を受けた事業所は都道府県知事が行う定期検査が免除されます。

本県における適正計量管理事業所の指定を受けた事業所は、次のとおりです。

(1) 適正計量管理事業所の数

経済産業大臣指定	444事業所
岩手県知事指定	23事業所

(2) 適正管理事業所

(平成17年3月31日現在)

指 定 権 者 指 定 年 月 日	名 称	住 所	事 業 所 の 名 称 (主たる)	事 業 所 の 所 在 地 (主たる)	事業者数	定期検査に 該当する 計量器の数
経済産業 大臣 29. 1. 26	日本郵政公社 東北支社	仙台市青葉区一番町 一丁目34号	東北支社盛岡郵政 局他	盛岡市中央通 一丁目13番45 号	444	755
岩手県 知事 29. 3. 31	新日本製鉄 株式会社	東京都千代田区大手 町二丁目6番3号	新日本製鉄株式会 社棒線事業部釜石 製鉄所	釜石市鈴子町 23番15号	1	5
岩手県 知事 36. 5. 26	森永乳業 株式会社	東京都港区芝五丁目 33番1号	森永乳業株式会社 盛岡工場	盛岡市青山二 丁目3番14号	1	21
岩手県 知事 58. 5. 21	株式会社 川徳	盛岡市菜園一丁目10- 1	名称に同じ	住所に同じ	2	166
岩手県 知事 59. 2. 8	東北日本電気 株式会社	一関市柄貝1番地	〃	〃	1	9
岩手県 知事 60. 6. 27	日本たばこ産業 株式会社	東京都港区虎の門二 丁目2番1号	日本たばこ産業株 式会社	九戸郡軽米町大 字軽米第3地割字 中坪43-1	5	5
岩手県 知事 60. 6. 5	デンカアゾミン 株式会社	東京都中央区日本橋 小網町8番4号	デンカアゾミン(株)	花巻市二枚橋 5-118	1	21
岩手県 知事 62. 2. 3	岩手県 オイルターミナル 株式会社	釜石市大平町四丁目1 番4号	名称に同じ	住所に同じ	1	1
岩手県 知事 62. 3. 27	株式会社 ジョイス	盛岡市東安庭五日市 川原62番地5号	ジョイス本町店	盛岡市本町通 一丁目5番10号	3	53
岩手県 知事 60. 6. 6	東日本旅客鉄道 株式会社	盛岡駅前通1番41号	盛岡駅外	盛岡駅前通1番 41号	2	35
岩手県 知事 62. 12. 1	株式会社 岩手畜産 流通センター	紫波町犬渕字南谷地 120番地	名称に同じ	住所に同じ	1	132
岩手県 知事 3. 12. 11	株式会社 ベルセンター	紫波郡矢巾町流通セン ター南2丁目7番9号	ベルマート都南プラ ザ	盛岡市永井22 地割字久保3	1	13
岩手県 知事 5. 4. 12	株式会社 純情米岩手	盛岡市湯沢15-1-2	いわて純情米セン ター	紫波郡矢巾町 流通センター南 二丁目5番2号	1	67
岩手県 知事 5. 4. 13	北日本くみあい 飼料 株式会社	宮城県石巻市三河町4 番地	名称に同じ	花巻市二枚橋5 地割165番地	1	71
岩手県 知事 8. 10. 11	小岩井乳業 株式会社 小岩井工場	東京都千代田区丸の 内二丁目4番1号	名称に同じ	岩手郡雫石町 丸谷地36番地1	1	36
岩手県 知事 9. 9. 16	松下電器産業 株式会社	大阪府門真市大字門 真1006番地	松下電器産業(株)パナ ニックオートモーティブシ ステム社オートモーティブ システムビジネス	花巻市大畑第9 地割92番4号	1	11

3-7 計量関係事業の登録及び届出等

計量関係事業の登録及び届出等状況

種 類	14年度	15年度	16年度
製 造 事 業 者 届 出	0	0	0
〃 変 更	0	0	0
修 理 事 業 者 届 出	2	1	1
〃 変 更	1	2	2
販 売 事 業 者 届 出	4	2	0
〃 変 更	3	9	1
証 明 事 業 者 登 録	3	0	5
〃 変 更	1	3	0
〃 再交付	0	0	0
〃 登録簿謄本交付	3	0	0
〃 登録簿閲覧	0	0	0
計 量 士 の 登 録	5	5	5
〃 登録事項訂正	1	0	0
適 正 計 量 管 理 事 務 所 の 指 定	0	0	0
〃 指定事項訂正	17	23	1
計	40	45	15